佐 水 財 第 年 月 日

御中

佐賀市上下水道事業管理者

(公印省略)

# 工事成績評定通知書

貴社が受注した工事について、工事完成と認め検査を終了しましたので、佐賀市上下 水道事業工事成績評定要領に基づき評定した結果を通知します。

なお、評定の結果に疑問があるときは、この通知書を受け取った日から起算して14 日以内(この期間には休日を含み、末日が休日に当たるときはその次の休日でない日が 末日となります。)に、書面により、佐賀市上下水道事業管理者に対して説明を求める ことができます。疑問に対する説明は、書面により郵送します。

契約番号	
工事名	
工期	
成工検査年月日	
合否の判定	
評定の結果	

点 ※評定点合計を四捨五入により整数とする。

## 評定結果の内訳

項目	細別	評定点 /	満点
1. 施工体制	I. 施工体制一般	/	3.3 点
	Ⅱ. 配置技術者	/	4.1 点
2. 施工状況	I. 施工管理	/	13.0 点
	Ⅱ. 工程管理	/	8.5 点
	Ⅲ. 安全対策	/	9.2 点
	Ⅳ. 対外関係	/	3.7 点
3. 出来形	I. 出来形	/	14.9 点
及び	Ⅱ. 品 質	/	17.4 点
出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ	/	8.5 点
4. 工事特性(施工条件	等への対応) ※加点のみ	/	6.5 点
5. 創意工夫	※加点のみ	/	5.7 点
6. 社会性等(地域への	貢献等) ※加点のみ	/	5.2 点
7. 法令遵守等	※減点のみ		点
評定点合計		/	100 点
備考			

説明請求に関する問い合わせ先

〒849-8558 佐賀市上下水道局 水循環部 財務課 TEL

佐賀市若宮三丁目6番60号 0952-33-1331

様式第1号

#### 工事成績採点表

工事番号		- 母注	者名								相相	易代理人	<b>斤</b> 夕					Ħ	青負代金額	酒			
工事名		<u> </u>		!		Т	期				267	別で生人	~	!					食査完了				
<u> </u>				一般	監督員		791				主任詞	<b>監督員</b>						12	検査				
	考査項目	所 属						所	属							所	属		123 -				
		職氏名					EΠ	職氏名    印					職氏名							印			
項目	細別	а	b	С	d	е	評定	а	a'	b	b'	С	d	е	評定	а	a'	b	b'	С	d	е	評定
1. 施工体制	I. 施工体制一般	+1.0	+0.5	0	-5.0	-10.0																	
	Ⅱ. 配置技術者	+3.0	+1.5	0	-5.0	-10.0																	
2. 施工状況	I. 施工管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10.0										+5.0	+3.5	+2.5	+1.5	0	-7.5	-15	
	Ⅱ. 工程管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10.0		+4.0	+3.0	+2.5	+1.0	0	-7.5	-15	С								
	Ⅲ. 安全対策	+5.0	+2.5	0	-5.0	-10.0		+5.0	+4.0	+3.5	+2.0	0	-7.5	-15	С								
	Ⅳ. 対外関係	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5.0																	
3. 出来形及び 出来ばえ	I. 出来形	+4.0	+2.0	0	-5.0	-5.0										+10	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10.0	-20.0	
	Ⅱ. 品質	+5.0	+2.5	0	-5.0	-5.0	0									+15	+12	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25.0	
	Ⅲ. 出来ばえ															+5.0	+3.5	+2.5	+1.5	0	-5.0		
4. 工事特性	I. 施工条件等の対応※2								+ (	(16)		0			0								
5. 創意工夫	I. 創意工夫※3	+	(7)	0			0																
6. 社会性等	I. 地域への貢献等							+10	+7.5	+5.0	+2.5	0			С								
加減点合計(1+	2+3+4+5+6)			0.0	点							0.0	点							0.0	点		
評定点(65+加源	域点合計)※1		1	65.0	点					2		65.0	点					3		65.0	点		
評定点計		(1)	65	点)×	0.4 + (2)	65.0	)点) ×	0.2+(3	)	65.0		点)×	0.4 =	65.0	点								
7. 法令遵守等	<b>%</b> 6											0	点										
評定点合計			(6	3. 評定点計	65	点)	(7. 法令	今遵守等 0 点) = <b>65</b> 点					評 伍	<u> </u>			D						
8. 総合評価 技術提案	技術提案履行確認※9								履行		不履行		対象外										
所見※5																							

- ※1 65点+1. ~3. の評定(加減点合計) + 4. ~6. の評定(加合点計) = 評定点 各評定点(①~④)は小数第1位まで記入する。
- ※2 工事特性は、当該工事特有の難度の高い条件(構造物の特殊性、特殊な技術、都市部等の作業環境・社会条件、厳しい自然・地盤条件、長期工事における安全確保等)に対して適切に対応したことを評価する項目である。 評価に際しては、一般監督員からの報告を受けて主任監督員が評価するものとする。
- ※3 創意工夫は、工事特性の対応事項のような難度を伴わない工事において、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき便益があった場合に評価する項目である。
- ※4 4.5.6.は加点評価のみとする。また、法令遵守等は減点のみとする。
- ※5 所見欄には改善を指導した項目について、客観的な根拠を示し簡潔に記載すること。
- ※6 各考査項目の採点は、考査項目別運用表によるものとし、検査員の評価に先立ち、一般及び主任監督員が行う。
- ※7 法令遵守等の評価は、主任監督員が行う。
- ※8 評定点合計は、四捨五入により整数とする。
- ※9 総合評価技術提案は、技術提案の履行が確認できない場合は『不履行』を選択する。

## 「施工プロセス」チェックリスト(公共土木工事)

工事名: ○○××工事 工期: 令和元年6月1日 工事担当課: ■■課 から 受注者名: △△建設 株式会社 令和元年7月31日 まで 一般監督員: 佐賀 花子

- 1 施工プロセスチェックリストは、共通仕様書、契約書等に基づき、施工に必要なプロセスが適切に実施されているかについて、監督員が確認を行う。
- 2 チェックの対象とならない項目については、対象欄にチェックを入れず、空欄とする。
- 3 確認欄の入力については、以下のとおりとする。

  - ( / ) ⇒ (上段) 現場もしくは書類等で確認した月日を入力。
    - ⇒ (下段) プルダウンメニューから選択して下さい。
      - ○:確認を行った結果、指示事項が無い。又は指示事項に対する改善が速やかに実施されている。
      - ×:確認することができなかった。又は指示事項に対する改善が実施されなかった。
- 4 記録欄には、指示の具体的な内容及び改善がどのように実施されたかを記入する。※現地でしか確認できない項目について、(現)と記入している。
- 5 判定は、最終的に改善が図られた場合はO、改善されなかった場合は×とする。判定が「×」となった項目が一つでもあった場合、考査項目別運用表における評価対象項目の「施工プロセ ス」チェックリストの該当欄は「×」とする。

1/3

考査項目	細別	確認項目	チェックリスト一覧表(チェックの目安)	チェック時期の目安	対象					完成時	記録欄 - (指示事項及びその改善等)	判定	
1	I	1 工事実績情報 (CORINS登録)	契約締結後等の10日以内に適正に登録申請した。	受注時契約後、変更後、 訂正時、完成時		( /	) (	/ )	( /	) ( /	)(/		
施 工 体	施 工 体	2 建設業退職金共済 制度	1)掛金収納書の写しを提出した。もしくは、提出しない理由を書 面で提出した。	契約後1ヶ月以内、 追加購入時		( /	) (	/ )	( /	) ( /	)		
制	制一		2)建設業退職金共済証紙の配布を、受け払い簿等により適切に 管理している。	施工中適宜			(	/ )	( /	) ( /	)		
	般		3)「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を現場に掲示している。	施工中1回程度			(	/ )	( /	) ( /	)	(現)	
			労災保険関係成立票を工事現場の見やすい場所に掲示してい る。	施工中1回程度			(	/ )	( /	) ( /	)	(現)	
		4 建設業許可標識	建設業法に定められた標識を正しく記載し、公衆の見やすい場所 に設置し、主任技術者等を正しく記載している。	施工中1回程度			(	/ )	( /	) ( /	)	(現)	
			1)施工体制台帳及び施工体系図を現場に備え付け、かつ、同一 のものを提出した。	施工時の当初 変更時			(	/ )	( /	) ( /	)		
			2)施工体制台帳に下請負契約書(写)、再下請負通知書及び 必要書類を添付している。	施工時の当初 変更時			(	/ )	( /	) ( /	)		
			3)施工体制台帳に社会保険等の加入状況を記載している。	施工時の当初 変更時			(	/ )	( /	) ( /	)		
			4)施工体系図を現場の工事関係者及び公衆の見やすい場所に 掲げている。	施工時の当初 変更時			(	/ )	( /	) ( /	)	(現)	
			5)施工体系図に記載のない業者が作業していない。	施工中適宜			(	/ )	( /	) ( /	)	(現)	
			6)一部下請負通知書を提出し、承諾を得た下請負業者が施工している。	施工中適宜			(	/ )	( /	) ( /	)	(現)	
			7)元請が下請工事の施工に実質的に関与している。	施工中適宜			(	/ )	( /	) ( /	)	(現)	

考査項目	細別	確認項目	チェックリストー覧表(チェックの目安)	チェック時期の目安	対象	着手前		欄(現場 施 エ	<b>・</b> 書類) 中	完成時	記録欄 (指示事項及びその改善等)	判定
1	П	 ○現場代理人	  1)現場に常駐している。	施工中適宜				) ( /	<del>-</del>	)	(現)	
施工体	(現場代理人		2)監督員への協議及び報告等を書面(工事打合簿)で行っている。	施工中適宜				) ( /		)		
制	/ 彻	〇監理技術者(主任技術 者)の専任制等	1)技術者としての要件が資格者証等により確認できた。 ※監理技術者は講習修了証を含む。	着手前		( / )	(/	) ( /	) ( /	)		
	技術者		2)配置予定、施工体制台帳等に記載された本人であることを資格者証等で確認した。	着手前		( / )	(/)	) ( /	) ( /	)		
	/主任技術者		3)現場に常駐している(主任(監理)技術者の専任性が求められる場合)。	施工中適宜			(/)	) ( /	) ( /	)	(現)	
	術者		4)施工計画や工事に係る工程、技術的事項を把握し、主体的 に係わっている。	施工中適宜			(/)	) ( /	) ( /	)		
		○専門技術者の選任	専門技術者を選任し、配置している。	施工計画時、施工中適 宜		( / )	(/)	) ( /	) ( /	)	(現)	
		〇作業主任者の選任	作業主任者を選任し、配置している。	施工計画時、施工中適 宜		( / )	(/)	)(/	)(/	)	(現)	
2	I	○設計図書の照査等	1)契約書第18条第1項第1号から第5号に係わる設計図書の 照査を行っている。	着手前 施工中適宜		( / )	( / ]	) ( /	)(/	)		
施 工 状	施工管		2)現場との相違事実がある場合、その事実が確認できる資料を提示して確認を受けた。	着手前 施工中適宜		( / )	( / ]	) ( /	)(/	)		
況	理	〇施工計画書	1)施工(変更を含む)に先立ち、提出した。	着手前 変更時		( / )	( / ]	)(/	)(/	)		
			2)記載内容が、設計図書・現場条件等を反映している。	着手前 変更時		( / )	(/)	) ( /	) ( /	)		
			3)記載内容と現場施工方法が一致している。	施工中適宜			(/)	) ( /	) ( /	)	(現)	
			4)記載内容と現場施工体制が一致している。	施工中適宜			(/)	) ( /	) ( /	)	(現)	
		〇施工管理	1)工事材料の品質に影響がないよう保管している。	施工中適宜			(/	) ( /	) ( /	)	(現)	
			2)日常の出来形、品質管理を適時、的確に実施し、整理している。	施工中適宜			(/)	) ( /	)(/	)		
			3)現場内の整理整頓を日常的に行っている。	施工中適宜			(/	) ( /	) ( /	)	(現)	
			4) 工事全般において、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型の 建設機械及び車両を使用している。	施工中適宜			(/	) ( /	) ( /	)	(現)	
		〇段階確認	1)段階確認書により段階確認の予定時期を監督員に協議している。	施工中適宜			(/	) ( /	) ( /	)		
			2)段階確認の時期・内容・頻度が適切である。	施工中適宜			(/	)(/	)(/	)		
		○現場環境改善	施工計画書に記載した現場環境改善を実施している。	施工中適宜			(/)	)(/	)(/	)	(現)	

2 施 工	細別	確認項目	チェックリスト一覧表(チェックの目安)	チェック時期の目安	対象	確認欄(現場·書類) 着手前 施工中 完成問		記録欄 (指示事項及びその改善等)	判定
状況	I	〇建設副産物及び	1)受注者は、産業廃棄物を産業廃棄物管理票(マニフェスト)に	施工中適宜		古手前   施工甲    (/)(/)(/			
	施	建設廃棄物	より適正に処理していることを監督員に提示し、確認を受けた。						
	工 管 理		2) 再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を所定の様式に基づき作成し、施工計画書に含め提出した。	施工計画時、施工中適  宜 			)		
		〇工程管理	1)施工前に工事工程表(クリティカルパスを含む)を提出している。	着手前 施工中適宜			)		
	程管		2)工程の把握に努め、必要に応じ、フォローアップを行っている。	施工中適宜		(/)(/)(/	)		
	理		3)作業員の休日の確保を行った記録が整理されている。	施工中適宜		(/)(/)(/	)		
			4)計画工程以外の時間外作業がほとんどない。	施工中適宜		(/)(/)(/	)		
	Ш	○安全活動	  1)災害防止協議会等を設置し、定期的に開催し、活動記録がある。	施工中適宜		(/)(/)(/	)		
	安全対		2) 店社パトロールを実施し、活動記録がある。	施工中適宜		(/)(/)(/	)		
	策		3)安全教育、訓練等を実施し、活動記録がある。	施工中適宜		(/)(/)(/	)		
			4)安全巡視、TBM、KY等を実施し、記録がある。	施工中適宜		(/)(/)(/	)		
			5)新規入場者教育を実施し、活動記録がある。	施工中適宜		(/)(/)(/	)		
			6)佐賀市発注工事におけるダンプトラック過積載防止対策要領 等に基づき、点検している記録がある。	施工中適宜		(/)(/)(/	)		
			7)使用機械・車両等の点検整備等が管理され、点検記録がある。	施工中適宜		(/)(/)(/	)		
			8) 重機操作で、誘導員の配置や重機との行動範囲の分離措置がなされた点検記録がある。	施工中適宜		(/)(/)(/	)		
			9)足場や支保工の組立完了時や使用中、また山留め、仮締切等の設置後の点検及び管理がチェックリスト等により実施され、記録がある。	施工中適宜			)		
			10)保安施設の設置及び管理を各種基準及び関係者の協議に 基づき実施している。	施工中適宜		(/)(/)(/	)		
			11)地下埋設物及び架空線等に関する事故防止に取り組んでいる。	施工計画時、施工中適 宜		(/)(/)(/)(/	)		
		〇安全パトロールの 指摘事項の確認	各種安全パトロールでの指摘事項や是正事項について、速やかに 改善を図り、かつ関係者に是正報告した記録がある。	施工中適宜		(/)(/)(/	)		
		○関係機関等	1)関係官公署等との協議及び調整を行い、その記録が整備されている。	着工前 施工中適宜		(/)(/)(/)(/	)		
	対 外 関			着工前 施工中適宜		(/)(/)(/)(/	)	(現)	
	係		3)近隣住民(施設管理者等を含む)と施工上必要な交渉、苦情対応を適切に行っている記録ある。	着工前 施工中適宜		(/)(/)(/)(/	)		
				着工前 施工中適宜		(/)(/)(/)(/	)		

「記入方法」評価する項目に○、評価しない項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする) (一般監督員) 考查項目 評価 評価 評価 適切である 1. 施工体制 I. 施工体制一般 ほぼ適切である 他の評価に該当しない やや不適切である 不適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェックリストのうち、施工体制一般について判定が「×」の項目がない。 施工体制一般に関し 必須 施工体制一般に関し ②施工計画書を、工事着手前に提出している。 必須 て、監督員が文書に て、監督員からの文 下請ある場合 必須 ③作業分担の範囲を、施工体制台帳及び施工体系図に明確に記載している。 書による改善指示に よる改善指示を行っ ④社内検査員が関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって適切に実施し、その記録 従わなかった。 た。 必須 を保管している。 ⑤元請が下請の作業成果を検査している。 下請ある場合 必須 上記該当事項が 上記該当事項が ⑥施工計画書の内容と現場施工方法が一致している。 必須 あれば・・・d あれば・・・e ⑦緊急指示、災害、事故等が発生した場合の対応が速やかである。 必須 ⑧現場に対する本店や支店による支援体制を整えている。 ⑨工場製作期間における技術者を適切に配置している。 ⑩機械設備、電気設備等について、製作工場における社内検査体制(規格値の設定や確認方法 必須項目をすべて評価すること!! 等)を整えている。 ①その他 (理由: ●判断基準 ○:該当する 評価値が90%以上・・・・ a × : 該当しない 評価値が80%以上90%未満・・・・・ b 空白:評価対象外 評価値が80%未満・・・・・ c ①評価数 (○) ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は評価しない。 ②対象項目 (○、×) 不足 ② 対象としない項目を除いた評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評定する。 ③評価値 (①/②) ③ 評価値 (%) =評価数 () /評価対象項目数 ( 4)評定 Ⅱ.配置技術者 評価 評価 (現場代理人等) 適切である ほぼ適切である 他の評価に該当しない やや不適切である 不適切である 「評価対象項目」 【全体を評価する項目】 配置技術者に関し 配置技術者に関し 必須 ①「施工プロセス」チェックリストのうち、配置技術者について判定が「×」の項目がない。 て、監督員が文書に て、監督員からの文 ②作業に必要な作業主任者及び専門技術者を選任及び配置している。 書による改善指示に よる改善指示を行っ た。 従わなかった。 【現場代理人を評価する項目】 必須 ④現場代理人が、工事全体を把握している。 必須項目をすべて評価すること!! ⑤設計図書と現場との相違があった場合は、監督員と協議するなどの必要な対応を行っている。 上記該当事項が 上記該当事項が あれば・・・d あれば・・・e ⑥監督員への報告を適時及び的確に行っている。 ⑦その他 (理由: 【監理(主任)技術者を評価する項目】 ⑧書類を共通仕様書及び諸基準に基づき適切に作成し、整理している。 必須 必須 必須 ⑩重要施工上の課題となる条件(作業環境、気象、地質等)への対応を図っている。 下請ある場合 必須 ①下請の施工体制及び施工状況を把握し、技術的な指導を行っている。 ②監理(主任)技術者が、明確な根拠に基づいて技術的な判断を行っている。 (3)その他 (理由: ●判断基準 ○:該当する 評価値が90%以上・・・・・ a ×:該当しない 評価値が80%以上90%未満・・・・・ b 空白:評価対象外 評価値が80%未満・・・・・ c ①評価数 (○) ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は評価しない。 ②対象項目(〇、×) ② 対象としない項目を除いた評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評定する。 ③評価値 (①/②) ③ 評価値( %) =評価数( )/評価対象項目数( ) ④評定

別紙-1② **考査項目別運用表** [記入方法] 評価する項目に〇、評価しない項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする)。 (一般監督員)

		0.61	ALL CHEVE OF CHILD OF CHILD OF CHILD	トの項目は空日とする)。					
考査項目	細別	評価	a	b	С	評価	d	評価	e
2. 施工状況	I. 施工管理	н і Ііші	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	нішц	やや不適切である	н і Ішц	不適切である
			「評価対象項目」						
	必須		①「施工プロセス」チェックリン	ストのうち、施工管理について	判定が「×」の項目がない。		<b>極工管理に関して、</b>		施工管理に関して、
	必須	Į	②施工計画書が、設計図書及び野		ている。		监督員が文書による		監督員からの文書に
			③現場条件の変化に対して、適切	刃に対応してい <mark>る。</mark>		Ę	<b>女善指示を行った。</b>		よる改善指示に従わ
			④工事材料は品質に影響がない。	よう保管している。					なかった。
	必須	Ę	⑤日常の出来形管理を、設計図	書及び施工計画書に基づき適時	及び的確に行っている。	T		_	
	必須	Į	⑥日常の品質管理を、設計図書	及び施工計画書に基づき適時及	び的確に行っている。		上記該当事項が		上記該当事項が
	必須		⑦現場内の整理整頓を日常的に				エ記該当事項が あれば・・・d		上記めヨ事項が あれば・・・e
必須項目	をすべて評価すること!	!	⑧指定材料の品質証明書及び写真				0)4014 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		W)4U/4 E
	必須	Į	⑨工事打合せ簿を、不足なく整理					_	
			⑩建設副産物の再利用等への取	り組みを適切に行っている。					
	必須	Ę	⑪工事全般において、低騒音型、	低振動型、排出ガス対策型の建	設機械及び車両を使用している。				
			⑫その他(理由:		)				
			●判断基準		7				
	○:該当する		評価値が90%以上・・・・	• • • a					
]	<u>ン: 該当/ \$</u> ×:該当しない	1	評価値が80%以上90%未満						
1	空白:評価対象外	<del>                                     </del>	評価値が80%未満・・・・						
-	主口, 肝固对象/		計画區が30/0不過・・・	6					
]		+	① 火劫「並体対角項目」のこと	対色し1 おい百日は部年1よ	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	1			
]		7.0	① 当該「評価対象項目」のうち						
	②対象項目(〇、×)	不足			(%) 計鼻の値で評定する。				
1	③評価値 (①/2)		③ 評価値( %)=評価数(	( ) / 評価対象項目数(	)	<u> </u>			
	<ul><li>④評定</li></ul>		4						
		1	1			1			
	TT	+		1			,		
	Ⅱ. 工程管理	評価	a A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	b )エ) が英国	C (Mの部件に対火しま)、	評価	d abat 英国宏生 7	評価	e <b>T</b> 英国本本 7
[	Ⅱ. 工程管理	評価	適切である	b ほぼ適切である	c 他の評価に該当しない	評価	d やや不適切である	評価	e 不適切である
			適切である 「評価対象項目」	ほぼ適切である	他の評価に該当しない		やや不適切である	評価	不適切である
	Ⅱ. 工程管理 必須		適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェックリン	ほぼ適切である ストのうち、工程管理について	他の評価に該当しない 判定が「×」の項目がない。		やや不適切である 「程管理に関して、		不適切である 工程管理に関して、
			適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェックリン ②工程に与える要因を的確に把持	ほぼ適切である ストのうち、工程管理について 屋し、それらを反映した工程表	他の評価に該当しない 判定が「×」の項目がない。 を作成している。		やや不適切である 工程管理に関して、 監督員が文書による		不適切である 工程管理に関して、 監督員からの文書に
			適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェックリン ②工程に与える要因を的確に把担 ③実施工程表の作成及びフォロ・	ほぼ適切である ストのうち、工程管理について 屋し、それらを反映した工程表 ーアップを行っており、適切に	他の評価に該当しない 判定が「×」の項目がない。 を作成している。 工程を管理している。		やや不適切である 「程管理に関して、		不適切である 工程管理に関して、 監督員からの文書に よる改善指示に従わ
			適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェックリン ②工程に与える要因を的確に把打 ③実施工程表の作成及びフォロー ④現場条件の変化への対応が迅	ほぼ適切である ストのうち、工程管理について 屋し、それらを反映した工程表 ーアップを行っており、適切に 速であり、施工の停滞が見られ	他の評価に該当しない 判定が「×」の項目がない。 を作成している。 工程を管理している。 ない。		やや不適切である 工程管理に関して、 監督員が文書による		不適切である 工程管理に関して、 監督員からの文書に
	必須	1	適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェックリン ②工程に与える要因を的確に把抗 ③実施工程表の作成及びフォロー ④現場条件の変化への対応が迅過 ⑤時間制限や片側交互通行等の	ほぼ適切である ストのうち、工程管理について 屋し、それらを反映した工程表 ーアップを行っており、適切に 速であり、施工の停滞が見られ 各種制約への対応が適切であり	他の評価に該当しない 判定が「×」の項目がない。 を作成している。 工程を管理している。 ない。		やや不適切である 工程管理に関して、 監督員が文書による		不適切である 工程管理に関して、 監督員からの文書に よる改善指示に従わ
	必須   <b>をすべて評価すること!</b>		適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェックリン ②工程に与える要因を的確に把打 ③実施工程表の作成及びフォロー ④現場条件の変化への対応が迅込 ⑤時間制限や片側交互通行等の4 ⑥工事の進捗を早めるための取	ほぼ適切である ストのうち、工程管理について 屋し、それらを反映した工程表 ーアップを行っており、適切に 速であり、施工の停滞が見られ 各種制約への対応が適切であり り組みを行っている。	他の評価に該当しない 判定が「×」の項目がない。 を作成している。 工程を管理している。 ない。		やや不適切である 工程管理に関して、 監督員が文書による 女善指示を行った。		不適切である 工程管理に関して、 監督員からの文書に よる改善指示に従わ なかった。
	必須 <b> をすべて評価すること!</b> 必須		適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェックリン ②工程に与える要因を的確に把打 ③実施工程表の作成及びフォロー ④現場条件の変化への対応が迅込 ⑤時間制限や片側交互通行等の ⑥工事の進捗を早めるための取 ⑦適切な工程管理を行い、工程	ほぼ適切である ストのうち、工程管理について 屋し、それらを反映した工程表 ーアップを行っており、適切に 速であり、施工の停滞が見られ 各種制約への対応が適切であり り組みを行っている。 の遅れがない。	他の評価に該当しない 判定が「×」の項目がない。 を作成している。 工程を管理している。 ない。		やや不適切である 工程管理に関して、 監督員が文書による 女善指示を行った。 上記該当事項が		不適切である 工程管理に関して、 監督員からの文書に よる改善指示に従わ なかった。  上記該当事項が
	必須   <b>をすべて評価すること!</b>		適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェックリン ②工程に与える要因を的確に把抗 ③実施工程表の作成及びフォロー ④現場条件の変化への対応が迅い ⑤時間制限や片側交互通行等の4 ⑥工事の進捗を早めるための取 ⑦適切な工程管理を行い、工程6 ⑧休日の確保を行っている(週4	ほぼ適切である ストのうち、工程管理について 屋し、それらを反映した工程表 ーアップを行っており、適切に 速であり、施工の停滞が見られ 各種制約への対応が適切であり り組みを行っている。 の遅れがない。 10時間労働を基準とする)。	他の評価に該当しない 判定が「×」の項目がない。 を作成している。 工程を管理している。 ない。		やや不適切である 工程管理に関して、 監督員が文書による 女善指示を行った。		不適切である 工程管理に関して、 監督員からの文書に よる改善指示に従わ なかった。
	必須 <b> をすべて評価すること!</b> 必須		適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェックリン ②工程に与える要因を的確に把打 ③実施工程表の作成及びフォロー ④現場条件の変化への対応が迅込 ③時間制限や片側交互通行等の名 ⑥工事の進捗を早めるための取 ⑦適切な工程管理を行い、工程 ③休日の確保を行っている(週4 ⑨計画工程以外の時間外作業が	はぼ適切である ストのうち、工程管理について、 屋し、それらを反映した工程表 ーアップを行っており、適切に、 速であり、施工の停滞が見られ。 各種制約への対応が適切であり。 り組みを行っている。 の遅れがない。 10時間労働を基準とする)。 まとんどない。	他の評価に該当しない 判定が「×」の項目がない。 を作成している。 工程を管理している。 ない。 、大きな工程の遅れがない。		やや不適切である 工程管理に関して、 監督員が文書による 女善指示を行った。 上記該当事項が		不適切である 工程管理に関して、 監督員からの文書に よる改善指示に従わ なかった。  上記該当事項が
	必須 <b>1をすべて評価すること!</b> 必須 必須 必須	im' - tm' tm' tm'	適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェックリン ②工程に与える要因を的確に把打 ③実施工程表の作成及びフォロー ④現場条件の変化への対応が迅込 ③時間制限や片側交互通行等の名 ⑥工事の進捗を早めるための取 ⑦適切な工程管理を行い、工程 ③休日の確保を行っている(週4 ⑨計画工程以外の時間外作業が	はぼ適切である ストのうち、工程管理について、 屋し、それらを反映した工程表 ーアップを行っており、適切に、 速であり、施工の停滞が見られ。 各種制約への対応が適切であり。 り組みを行っている。 の遅れがない。 10時間労働を基準とする)。 まとんどない。	他の評価に該当しない 判定が「×」の項目がない。 を作成している。 工程を管理している。 ない。		やや不適切である 工程管理に関して、 監督員が文書による 女善指示を行った。 上記該当事項が		不適切である 工程管理に関して、 監督員からの文書に よる改善指示に従わ なかった。 上記該当事項が
	必須 <b>1をすべて評価すること!</b> 必須 必須	im' - tm' tm' tm'	適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェックリン ②工程に与える要因を的確に把抗 ③実施工程表の作成及びフォロー ④現場条件の変化への対応が迅 ⑤時間制限や片側交互通行等の名 ⑥工事の進捗を早めるための取り ⑦適切な工程管理を行い、工程の ⑧休日の確保を行っている(週名 ⑨計画工程以外の時間外作業がど ⑩工期が完了する7日前(1,000 れた。	はぼ適切である ストのうち、工程管理について、 屋し、それらを反映した工程表 ーアップを行っており、適切に、 速であり、施工の停滞が見られ。 各種制約への対応が適切であり。 り組みを行っている。 の遅れがない。 10時間労働を基準とする)。 まとんどない。	他の評価に該当しない 判定が「×」の項目がない。 を作成している。 工程を管理している。 ない。 、大きな工程の遅れがない。		やや不適切である 工程管理に関して、 監督員が文書による 女善指示を行った。 上記該当事項が		不適切である 工程管理に関して、 監督員からの文書に よる改善指示に従わ なかった。 上記該当事項が
	必須 <b>1をすべて評価すること!</b> 必須 必須 必須	im' - tm' tm' tm'	適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェックリン ②工程に与える要因を的確に把打 ③実施工程表の作成及びフォロー ④現場条件の変化への対応が迅込 ⑤時間制限や片側交互通行等の名 ⑥工事の進捗を早めるための取り ⑦適切な工程管理を行い、工程の ⑧休日の確保を行っている(週4 ⑨計画工程以外の時間外作業がし ⑩工期が完了する7日前(1,000	はぼ適切である ストのうち、工程管理について、 屋し、それらを反映した工程表 ーアップを行っており、適切に、 速であり、施工の停滞が見られ。 各種制約への対応が適切であり。 り組みを行っている。 の遅れがない。 10時間労働を基準とする)。 まとんどない。	他の評価に該当しない 判定が「×」の項目がない。 を作成している。 工程を管理している。 ない。 、大きな工程の遅れがない。		やや不適切である 工程管理に関して、 監督員が文書による 女善指示を行った。 上記該当事項が		不適切である 工程管理に関して、 監督員からの文書に よる改善指示に従わ なかった。  上記該当事項が
	必須 <b>1をすべて評価すること!</b> 必須 必須 必須	im' - tm' tm' tm'	適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェックリン ②工程に与える要因を的確に把抗 ③実施工程表の作成及びフォロー ④現場条件の変化への対応が迅 ⑤時間制限や片側交互通行等の名 ⑥工事の進捗を早めるための取り ⑦適切な工程管理を行い、工程の ⑧休日の確保を行っている(週名 ⑨計画工程以外の時間外作業がど ⑩工期が完了する7日前(1,000 れた。	はぼ適切である ストのうち、工程管理について、 屋し、それらを反映した工程表 ーアップを行っており、適切に、 速であり、施工の停滞が見られ。 各種制約への対応が適切であり。 り組みを行っている。 の遅れがない。 10時間労働を基準とする)。 まとんどない。	他の評価に該当しない 判定が「×」の項目がない。 を作成している。 工程を管理している。 ない。 、大きな工程の遅れがない。		やや不適切である 工程管理に関して、 監督員が文書による 女善指示を行った。 上記該当事項が		不適切である 工程管理に関して、 監督員からの文書に よる改善指示に従わ なかった。 上記該当事項が
	必須 <b>1をすべて評価すること!</b> 必須 必須 必須	im' - tm' tm' tm'	適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェックリン ②工程に与える要因を的確に把抗 ③実施工程表の作成及びフォロー ④現場条件の変化への対応が迅 ⑤時間制限や片側交互通行等の名 ⑥工事の進捗を早めるための取り ⑦適切な工程管理を行い、工程の ⑧休日の確保を行っている(週名 ⑨計画工程以外の時間外作業がど ⑩工期が完了する7日前(1,000 れた。	はぼ適切である ストのうち、工程管理について、 屋し、それらを反映した工程表 ーアップを行っており、適切に、 速であり、施工の停滞が見られ。 各種制約への対応が適切であり。 り組みを行っている。 の遅れがない。 10時間労働を基準とする)。 まとんどない。	他の評価に該当しない 判定が「×」の項目がない。 を作成している。 工程を管理している。 ない。 、大きな工程の遅れがない。		やや不適切である 工程管理に関して、 監督員が文書による 女善指示を行った。 上記該当事項が		不適切である 工程管理に関して、 監督員からの文書に よる改善指示に従わ なかった。  上記該当事項が
	必須 <b>!をすべて評価すること!</b> 必須 必須 必須	im' - tm' tm' tm'	適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェックリン ②工程に与える要因を的確に把抗 ③実施工程表の作成及びフォロー ④現場条件の変化への対応が迅対 ⑤時間制限や片側交互通行等のイ ⑥工事の進捗を早めるための取り ⑦適切な工程管理を行い、工程の ③計画工程以外の時間外作業が 例、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	はぼ適切である ストのうち、工程管理については 屋し、それらを反映した工程表 一アップを行っており、適切に 速であり、施工の停滞が見られ 各種制約への対応が適切であり り組みを行っている。 の遅れがない。 10時間労働を基準とする)。 まとんどない。 10万円以下の工事は3日前)まで	他の評価に該当しない 判定が「×」の項目がない。 を作成している。 工程を管理している。 ない。 、大きな工程の遅れがない。		やや不適切である 工程管理に関して、 監督員が文書による 女善指示を行った。 上記該当事項が		不適切である 工程管理に関して、 監督員からの文書に よる改善指示に従わ なかった。 上記該当事項が
必須項目	必須 <b>Lをすべて評価すること!</b> 必須  必須  必須  必須	im' - tm' tm' tm'	適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェックリン ②工程に与える要因を的確に把抗 ③実施工程表の作成及びフォロー ④現場条件の変化への対応が迅 ⑤時間制限や片側交互通行等のイ ⑥工事の進捗を早めるための取り ⑦適切な工程管理を行い、工程の ③計画工程以外の時間外作業が 例、 ・・・・ ・・・・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	はぼ適切である ストのうち、工程管理については 屋し、それらを反映した工程表 一アップを行っており、適切に 速であり、施工の停滞が見られ 各種制約への対応が適切であり り組みを行っている。 の遅れがない。 10時間労働を基準とする)。 まとんどない。 10万円以下の工事は3日前)まで	他の評価に該当しない 判定が「×」の項目がない。 を作成している。 工程を管理している。 ない。 、大きな工程の遅れがない。		やや不適切である 工程管理に関して、 監督員が文書による 女善指示を行った。 上記該当事項が		不適切である 工程管理に関して、 監督員からの文書に よる改善指示に従わ なかった。 上記該当事項が
必須項目	必多 <b>!をすべて評価すること!</b> 必多 必多 必多 必多 必多 べる ×・・ 該当する ×・ 該当しない	im' - tm' tm' tm'	適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェックリン ②工程に与える要因を的確に把打 ③実施工程表の作成及びフォロー ④現場条件の変化への対応が迅 ⑤時間制限や片側交互通行等の ⑥工事の進捗を早めるための取り ⑦適切な工程管理を行い、工程の ⑧休日の確保を行っている(週4 ⑨計画工程以外の時間外作業が 10・10・10・10・10・10・10・10・10・10・10・10・10・1	はぼ適切である ストのうち、工程管理について 屋し、それらを反映した工程表 ーアップを行っており、適切に 速であり、施工の停滞が見られ 各種制約への対応が適切であり り組みを行っている。 の遅れがない。 10時間労働を基準とする)。 まとんどない。 0万円以下の工事は3日前)まで	他の評価に該当しない 判定が「×」の項目がない。 を作成している。 工程を管理している。 ない。 、大きな工程の遅れがない。		やや不適切である 工程管理に関して、 監督員が文書による 女善指示を行った。 上記該当事項が		不適切である 工程管理に関して、 監督員からの文書に よる改善指示に従わ なかった。  上記該当事項が
必須項目	必須 <b>Lをすべて評価すること!</b> 必須  必須  必須  必須	im' - tm' tm' tm'	適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェックリン ②工程に与える要因を的確に把抗 ③実施工程表の作成及びフォロー ④現場条件の変化への対応が迅 ⑤時間制限や片側交互通行等のイ ⑥工事の進捗を早めるための取り ⑦適切な工程管理を行い、工程の ③計画工程以外の時間外作業が 例、 ・・・・ ・・・・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	はぼ適切である ストのうち、工程管理について 屋し、それらを反映した工程表 ーアップを行っており、適切に 速であり、施工の停滞が見られ 各種制約への対応が適切であり り組みを行っている。 の遅れがない。 10時間労働を基準とする)。 まとんどない。 0万円以下の工事は3日前)まで	他の評価に該当しない 判定が「×」の項目がない。 を作成している。 工程を管理している。 ない。 、大きな工程の遅れがない。		やや不適切である 工程管理に関して、 監督員が文書による 女善指示を行った。 上記該当事項が		不適切である 工程管理に関して、 監督員からの文書に よる改善指示に従わ なかった。  上記該当事項が
必須項目	必多 <b> をすべて評価すること!</b> 必多 必多 必多 必多 必多 必多 必多 必多 必多 必多	im' - tm' tm' tm'	適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェックリン ②工程に与える要因を的確に把打 ③実施工程表の作成及びフォロー ④現場条件の変化への対応が迅減 ⑤時間制限や片側交互通行等の ⑥工事の進捗を早めるための取り ⑦適切な工程管理を行い、工程の ⑧休日の確保を行っている(週4 ⑨計画工程以外の時間外作業が 10・10・10・10・10・10・10・10・10・10・10・10・10・1	はぼ適切である ストのうち、工程管理について 屋し、それらを反映した工程表 ーアップを行っており、適切に 速であり、施工の停滞が見られ 各種制約への対応が適切であり り組みを行っている。 の遅れがない。 10時間労働を基準とする)。 まとんどない。 0万円以下の工事は3日前)まで ・・・・ a ・・・・ b	他の評価に該当しない 判定が「×」の項目がない。 を作成している。 工程を管理している。 ない。 、大きな工程の遅れがない。 に検査関係書類が監督員に提出さ		やや不適切である 工程管理に関して、 監督員が文書による 女善指示を行った。 上記該当事項が		不適切である 工程管理に関して、 監督員からの文書に よる改善指示に従わ なかった。  上記該当事項が
必須項目	必多 <b>Lをすべて評価すること!</b> 必多 必多 必多 必多 必多 必多 必多 必多 必多 必多		適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェックリン ②工程に与える要因を的確に把打 ③実施工程表の作成及びフォロー ④現場条件の変化への対応が迅 ⑤時間制限や片側交互通行等の ⑥工事の進捗を早めるための取り ⑦適切な工程管理を行い、工程の ⑧休日の確保を行っている(週4 ⑨計画工程以外の時間外作業が 1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・	はぼ適切である ストのうち、工程管理については 屋し、それらを反映した工程表 一アップを行っており、適切に 速であり、施工の停滞が見られる 各種制約への対応が適切であり。 り組みを行っている。 の遅れがない。 10時間労働を基準とする)。 まとんどない。 0万円以下の工事は3日前)まで ・・・・。 ・・・・・。 、対象としない項目は評価しな	他の評価に該当しない 判定が「×」の項目がない。 を作成している。 工程を管理している。 ない。 、大きな工程の遅れがない。  に検査関係書類が監督員に提出さ		やや不適切である 工程管理に関して、 監督員が文書による 女善指示を行った。 上記該当事項が		不適切である 工程管理に関して、 監督員からの文書に よる改善指示に従わ なかった。  上記該当事項が
必須項目	必須    をすべて評価すること!  必須  必須  必須  必須  必須  必須  必須  必須  必須  必		適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェックリン ②工程に与える要因を的確に把打 ③実施工程表の作成及びフォロー ④現場条件の変化への対応が迅減 ⑤時間制限や片側交互通行等のイ ⑥工事の進捗を早めるための取り ⑦適切な工程管理を行い、工程の ⑧休日の確保を行っている(週4 ⑨計画工程以外の時間外作業が 10・10・10・10・10・10・10・10・10・10・10・10・10・1	はぼ適切である ストのうち、工程管理について 屋し、それらを反映した工程表 ーアップを行っており、適切に 速であり、施工の停滞が見られ 各種制約への対応が適切であり り組みを行っている。 の遅れがない。 10時間労働を基準とする)。 まとんどない。 0万円以下の工事は3日前)まで ・・・・ ・・・・・ ・・・・・ ・・・・・ ・・・・・ ・・・・・ ・・・・	他の評価に該当しない 判定が「×」の項目がない。 を作成している。 工程を管理している。 ない。 、大きな工程の遅れがない。  に検査関係書類が監督員に提出さ		やや不適切である 工程管理に関して、 監督員が文書による 女善指示を行った。 上記該当事項が		不適切である 工程管理に関して、 監督員からの文書に よる改善指示に従わ なかった。  上記該当事項が
<u>必須項</u> 目	<b>をすべて評価すること!</b>		適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェックリン ②工程に与える要因を的確に把打 ③実施工程表の作成及びフォロー ④現場条件の変化への対応が迅 ⑤時間制限や片側交互通行等の ⑥工事の進捗を早めるための取り ⑦適切な工程管理を行い、工程の ⑧休日の確保を行っている(週4 ⑨計画工程以外の時間外作業が 1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・	はぼ適切である ストのうち、工程管理について 屋し、それらを反映した工程表 ーアップを行っており、適切に 速であり、施工の停滞が見られ 各種制約への対応が適切であり り組みを行っている。 の遅れがない。 10時間労働を基準とする)。 まとんどない。 0万円以下の工事は3日前)まで ・・・・ ・・・・・ ・・・・・ ・・・・・ ・・・・・ ・・・・・ ・・・・	他の評価に該当しない 判定が「×」の項目がない。 を作成している。 工程を管理している。 ない。 、大きな工程の遅れがない。  に検査関係書類が監督員に提出さ		やや不適切である 工程管理に関して、 監督員が文書による 女善指示を行った。 上記該当事項が		不適切である 工程管理に関して、 監督員からの文書に よる改善指示に従わ なかった。  上記該当事項が
<u>必須項</u> 目	必須    をすべて評価すること!  必須  必須  必須  必須  必須  必須  必須  必須  必須  必		適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェックリン ②工程に与える要因を的確に把打 ③実施工程表の作成及びフォロー ④現場条件の変化への対応が迅減 ⑤時間制限や片側交互通行等のイ ⑥工事の進捗を早めるための取り ⑦適切な工程管理を行い、工程の ⑧休日の確保を行っている(週4 ⑨計画工程以外の時間外作業が 10・10・10・10・10・10・10・10・10・10・10・10・10・1	はぼ適切である ストのうち、工程管理について 屋し、それらを反映した工程表 ーアップを行っており、適切に 速であり、施工の停滞が見られ 各種制約への対応が適切であり り組みを行っている。 の遅れがない。 10時間労働を基準とする)。 まとんどない。 0万円以下の工事は3日前)まで ・・・・ ・・・・・ ・・・・・ ・・・・・ ・・・・・ ・・・・・ ・・・・	他の評価に該当しない 判定が「×」の項目がない。 を作成している。 工程を管理している。 ない。 、大きな工程の遅れがない。  に検査関係書類が監督員に提出さ		やや不適切である 工程管理に関して、 監督員が文書による 女善指示を行った。 上記該当事項が		不適切である 工程管理に関して、 監督員からの文書に よる改善指示に従わ なかった。  上記該当事項が

別表-1③ **考査項目別運用表** 「記入方法」評価する項目に〇、評価しない項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする) (一 帆 駐 叔 吕 )

[記入方法]	評価する項目に〇、評価	しない	項目に×を記入する(評価対象	8外の項目は空白とする)。					(一般監督員)
考査項目	細 別	評価	а	b	c	評価	d	評価	е
2. 施工状況	Ⅲ. 安全対策	6千1川	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	計刊叫	やや不適切である	計加	不適切である
			「評価対象項目」						
	必須	í	①「施工プロセス」チェック!	リストのうち、安全対策について	判定が「×」の項目がない。		ウムリケに思して		A [] [ [ [ [ ] ] ] ]
	,	1	②災害防止協議会等を1回/	月以上行っている。			安全対策に関して、		安全対策に関して、
	必須	i	③安全教育及び安全訓練等を	¥日/月以上実施している。			監督員が文書による		監督員からの文書に
	必須			当該工事の現場特性を反映している	<u> </u>		改善指示を行った。		よる改善指示に従わ
	必須			害及び公衆災害が発生しなかった。					なかった。
	北沙	<b>`</b>	⑥過積載防止に取り組んでいる			-		i i	
N 45 15 1	■ 目をすべて評価すること!!	, —		o。 チェックリスト等を用いて実施し <sup>、</sup>	Z1 \ Z		上記該当事項が		上記該当事項が
业很快!	∃をダベ└評価9のこと!!	<u>.</u>	①仮改工の点供及い官柱を、 の伊力技術の記墨及が答明さ、	ト	よべき字佐している		あれば・・・d		あれば・・・e
								<u> </u>	
				関する事故防止対策に取り組んでい	15.				
			⑩その他(理由:		)				
					<b>=</b>				
			●判断基準						
	○:該当する		評価値が90%以上・・・	• • • • a					
	×:該当しない		評価値が80%以上90%未済	<b>斮・・・・・</b> h					
	空白:評価対象外		評価値が80%未満・・・						
	王口: 肝圆对象/		計画區が300/0/八個	<u> </u>	<u> </u>				
	<b>②</b> 素 /元米。 (○)	+	(A) V21 [EGUAGE   A)	よ 1(4) ) ない (本日) (本居) な	\ .	┪			
	①評価数 (〇)			ち、対象としない項目は評価しな					
	②対象項目(〇、×)	个足		評価項目数を母数として、比率(	%)計算の値で評定する。				
	③評価値 (①/2)		③ 評価値 ( %) =評価数	( ) /評価対象項目数(	)				
	<ul><li>④評定</li></ul>								
	⊕ HI NL								
	IV. 対外関係	<b></b>	a	b	c	<b></b>	d	<b>並</b> 無	e
		評価	a 適切である	b ほぼ適切である	c 他の評価に該当しない	評価	d やや不適切である	評価	e 不適切である
		評価	適切である 「評価対象項目」	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	- 評価	d やや不適切である	評価	
			適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェック!	ほぼ適切である	他の評価に該当しない		d やや不適切である 対外関係に関して、		
	IV. 対外関係		適切である 「評価対象項目」	ほぼ適切である	他の評価に該当しない		やや不適切である		不適切である
	IV. 対外関係		適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェック! ②関係官公庁などと調整を行い	ほぼ適切である Jストのうち、対外関係について <sup>4</sup> 、トラブルの発生がない。	他の評価に該当しない		やや不適切である 対外関係に関して、		不適切である 対外関係に関して、 監督員からの文書に
	IV. 対外関係		適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェック! ②関係官公庁などと調整を行い ③地元との調整を行い、トラフ	ほぼ適切である  Jストのうち、対外関係について い、トラブルの発生がない。 ブルの発生がない。	他の評価に該当しない 別定が「×」の項目がない。		やや不適切である 対外関係に関して、 監督員が文書による		不適切である 対外関係に関して、
	IV. 対外関係 必須		適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェック! ②関係官公庁などと調整を行い。 ③地元との調整を行い、トラコ	ほぼ適切である リストのうち、対外関係についても い、トラブルの発生がない。 ブルの発生がない。 もしくは、苦情に対して適切な対応	他の評価に該当しない 別定が「×」の項目がない。		やや不適切である 対外関係に関して、 監督員が文書による		不適切である 対外関係に関して、 監督員からの文書に よる改善指示に従わ
	IV. 対外関係 必須 必須	im/	適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェック! ②関係官公庁などと調整を行い。 ③地元との調整を行い、トラス。 ④第三者からの苦情がない。 ⑤関連工事との調整を行い、ト	ほぼ適切である  Jストのうち、対外関係について半い、トラブルの発生がない。 ブルの発生がない。 もしくは、苦情に対して適切な対応 円滑な進捗に取り組んでいる。	他の評価に該当しない 別定が「×」の項目がない。 ぶを行っている。		やや不適切である 対外関係に関して、 監督員が文書による 改善指示を行った。		不適切である 対外関係に関して、 監督員からの文書に よる改善指示に従わ なかった。
必須項!	IV. 対外関係 必須	im/	適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェック! ②関係官公庁などと調整を行い。トラス。 ③地元との調整を行い、トラス。 ⑤関連工事との調整を行い、「⑥工事の目的及び内容を、工事	ほぼ適切である リストのうち、対外関係についても い、トラブルの発生がない。 ブルの発生がない。 もしくは、苦情に対して適切な対応	他の評価に該当しない 別定が「×」の項目がない。 ぶを行っている。		やや不適切である 対外関係に関して、 監督員が文書による 改善指示を行った。 上記該当事項が		不適切である 対外関係に関して、 監督員からの文書に よる改善指示に従わ なかった。  上記該当事項が
必須項!	IV. 対外関係 必須 必須	im/	適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェック! ②関係官公庁などと調整を行う。 ③地元との調整を行い、トラ・ ④第三者からの苦情がない。 ⑤関連工事との調整を行い、「 ⑥工事の目的及び内容を、工事 る。	ほぼ適切である  Jストのうち、対外関係について半い、トラブルの発生がない。 ブルの発生がない。 もしくは、苦情に対して適切な対応 円滑な進捗に取り組んでいる。	他の評価に該当しない 別定が「×」の項目がない。 ぶを行っている。		やや不適切である 対外関係に関して、 監督員が文書による 改善指示を行った。		不適切である 対外関係に関して、 監督員からの文書に よる改善指示に従わ なかった。
必須項[	IV. 対外関係 必須 必須	im/	適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェック! ②関係官公庁などと調整を行い。トラス。 ③地元との調整を行い、トラス。 ⑤関連工事との調整を行い、「⑥工事の目的及び内容を、工事	ほぼ適切である  Jストのうち、対外関係について半い、トラブルの発生がない。 ブルの発生がない。 もしくは、苦情に対して適切な対応 円滑な進捗に取り組んでいる。	他の評価に該当しない 別定が「×」の項目がない。 ぶを行っている。		やや不適切である 対外関係に関して、 監督員が文書による 改善指示を行った。 上記該当事項が		不適切である 対外関係に関して、 監督員からの文書に よる改善指示に従わ なかった。  上記該当事項が
必須項目	IV. 対外関係 必須 必須	im/	適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェック! ②関係官公庁などと調整を行い、トラン。 ④第三者からの苦情がない。 ⑤関連工事との調整を行い、「⑤ ⑥工事の目的及び内容を、工る。 ⑦その他 (理由:	ほぼ適切である  Jストのうち、対外関係について半い、トラブルの発生がない。 ブルの発生がない。 もしくは、苦情に対して適切な対応 円滑な進捗に取り組んでいる。	他の評価に該当しない 別定が「×」の項目がない。 ぶを行っている。		やや不適切である 対外関係に関して、 監督員が文書による 改善指示を行った。 上記該当事項が		不適切である 対外関係に関して、 監督員からの文書に よる改善指示に従わ なかった。  上記該当事項が
必須項目	IV. 対外関係 必須 必須 <b>3をすべて評価すること!</b>	im/	適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェック! ②関係官公庁などと調整を行い、トラス。 ③地元との調整を行い、トラス。 ⑥関連工事との調整を行い、「 ⑥工事の目的及び内容を、工る。 ⑦その他 (理由:	ほぼ適切である  Jストのうち、対外関係について当い、トラブルの発生がない。 ブルの発生がない。 ちしくは、苦情に対して適切な対応 円滑な進捗に取り組んでいる。  事看板などにより地域住民や通行者	他の評価に該当しない 別定が「×」の項目がない。 ぶを行っている。		やや不適切である 対外関係に関して、 監督員が文書による 改善指示を行った。 上記該当事項が		不適切である 対外関係に関して、 監督員からの文書に よる改善指示に従わ なかった。  上記該当事項が
必須項目	IV. 対外関係  必須  必須 <b>3をすべて評価すること!</b> ○:該当する	im/	適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェック! ②関係官公庁などと調整を行い、トラニのでは、1000円では	ほぼ適切である  リストのうち、対外関係について当い、トラブルの発生がない。 ブルの発生がない。 ちしくは、苦情に対して適切な対応 円滑な進捗に取り組んでいる。 事看板などにより地域住民や通行者	他の評価に該当しない 別定が「×」の項目がない。 ぶを行っている。		やや不適切である 対外関係に関して、 監督員が文書による 改善指示を行った。 上記該当事項が		不適切である 対外関係に関して、 監督員からの文書に よる改善指示に従わ なかった。  上記該当事項が
必須項目	IV. 対外関係 必須 必須 <b>3をすべて評価すること!</b>	im/	適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェック! ②関係官公庁などと調整を行い、トラス。 ③地元との調整を行い、トラス。 ⑥関連工事との調整を行い、「 ⑥工事の目的及び内容を、工る。 ⑦その他 (理由:	ほぼ適切である  リストのうち、対外関係について当い、トラブルの発生がない。 ブルの発生がない。 ちしくは、苦情に対して適切な対応 円滑な進捗に取り組んでいる。 事看板などにより地域住民や通行者	他の評価に該当しない 別定が「×」の項目がない。 ぶを行っている。		やや不適切である 対外関係に関して、 監督員が文書による 改善指示を行った。 上記該当事項が		不適切である 対外関係に関して、 監督員からの文書に よる改善指示に従わ なかった。  上記該当事項が
必須項目	IV. 対外関係  必須  必須 <b>3をすべて評価すること!</b> ○:該当する	im/	適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェック! ②関係官公庁などと調整を行い、トラニのでは、1000円では	ほぼ適切である  リストのうち、対外関係について当い、トラブルの発生がない。 デルの発生がない。 ちしくは、苦情に対して適切な対応 円滑な進捗に取り組んでいる。 事看板などにより地域住民や通行者	他の評価に該当しない 別定が「×」の項目がない。 ぶを行っている。		やや不適切である 対外関係に関して、 監督員が文書による 改善指示を行った。 上記該当事項が		不適切である 対外関係に関して、 監督員からの文書に よる改善指示に従わ なかった。  上記該当事項が
必須項目	IV. 対外関係 必須 必須 <b>** * * * * * * * * *</b>	im/	適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェック! ②関係官公庁などと調整を行い、トラス。 ③地元との調整を行い、トラス。 ⑤関連工事との調整を行い、「 ⑥工事の目的及び内容を、工事 る。 『その他 (理由:  ●判断基準 評価値が90%以上・・・ 評価値が80%以上90%未済	ほぼ適切である  リストのうち、対外関係について当い、トラブルの発生がない。 デルの発生がない。 ちしくは、苦情に対して適切な対応 円滑な進捗に取り組んでいる。 事看板などにより地域住民や通行者	他の評価に該当しない 別定が「×」の項目がない。 ぶを行っている。		やや不適切である 対外関係に関して、 監督員が文書による 改善指示を行った。 上記該当事項が		不適切である 対外関係に関して、 監督員からの文書に よる改善指示に従わ なかった。  上記該当事項が
必須項目	IV. 対外関係  必須  必須 <b>3をすべて評価すること!</b> ○:該当する  ×:該当しない  空白:評価対象外	im/	適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェック! ②関係官公庁などと調整を行い、トラス。 ④第三者からの苦情がない。 ⑤関連工事との調整を行い、トラス。 のその他 (理由:  ●判断基準 評価値が90%以上・・・評価値が80%よ売・・・ 評価値が80%未満・・・	ほぼ適切である  リストのうち、対外関係について当い、トラブルの発生がない。 デルの発生がない。 しては、苦情に対して適切な対応 円滑な進捗に取り組んでいる。 事看板などにより地域住民や通行者	他の評価に該当しない。 即定が「×」の項目がない。 なを行っている。 皆等に分かりやすく周知してい		やや不適切である 対外関係に関して、 監督員が文書による 改善指示を行った。 上記該当事項が		不適切である 対外関係に関して、 監督員からの文書に よる改善指示に従わ なかった。  上記該当事項が
<u>必須項</u> [	IV. 対外関係  必須  必須 <b>** **</b> ②:該当する  ※:該当しない  空白:評価対象外  ①評価数(○)		適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェック! ②関係官公庁などと調整を行い、トラス。 ④第三者からの苦情がない。 ⑤関連工事との調整を行い、トラス。 のその他 (理由:  ●判断基準 評価値が90%以上・・・評価値が80%以上90%未済評価値が80%未満・・・ ① 当該「評価対象項目」のう	ほぼ適切である  Jストのうち、対外関係について当い、トラブルの発生がない。 デルの発生がない。 しては、苦情に対して適切な対応 円滑な進捗に取り組んでいる。 事看板などにより地域住民や通行者	他の評価に該当しない。 即定が「×」の項目がない。 なを行っている。 皆等に分かりやすく周知してい い。		やや不適切である 対外関係に関して、 監督員が文書による 改善指示を行った。 上記該当事項が		不適切である 対外関係に関して、 監督員からの文書に よる改善指示に従わ なかった。  上記該当事項が
必須項目	IV. 対外関係  必須  必須 <b>3をすべて評価すること!</b> ○:該当する  ×:該当しない 空白:評価対象外  ①評価数(○) ②対象項目(○、×)	im/	適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェック! ②関係官公庁などと調整を行い、トラス。 ④第三者からの苦情がない。「 ⑤関連工事との調整を行い、トラス。 のその他 (理由:  ●判断基準 評価値が90%以上・・・評価値が80%以上90%未満・・・評価値が80%未満・・・ ② 対象としない項目を除いた	ほぼ適切である  Jストのうち、対外関係について当れ、トラブルの発生がない。 ブルの発生がない。 しくは、苦情に対して適切な対応 円滑な進捗に取り組んでいる。 事看板などにより地域住民や通行者 ・・・ a  は・・・・ b ・・・・ c  ち、対象としない項目は評価しな 評価項目数を母数として、比率(	他の評価に該当しない。 即定が「×」の項目がない。 なを行っている。 皆等に分かりやすく周知してい い。		やや不適切である 対外関係に関して、 監督員が文書による 改善指示を行った。 上記該当事項が		不適切である 対外関係に関して、 監督員からの文書に よる改善指示に従わ なかった。  上記該当事項が
必須項目	IV. 対外関係  必須  必須 <b>**</b> ②: 該当する  ※: 該当しない  空白: 評価対象外  ①評価数(○) ②対象項目(○、×) ③評価値(①/②)		適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェック! ②関係官公庁などと調整を行い、トラス。 ④第三者からの苦情がない。「 ⑤関連工事との調整を行い、「 ⑥工事の目的及び内容を、工事のものである。 ⑦その他 (理由:  ●判断基準 評価値が90%以上・・・評価値が80%よ清・・・ ② 当該「評価対象項目」のう② 対象としない項目を除いた ③ 評価値( %)=評価数	ほぼ適切である  Jストのうち、対外関係について当い、トラブルの発生がない。 ブルの発生がない。 しくは、苦情に対して適切な対応 円滑な進捗に取り組んでいる。 事看板などにより地域住民や通行者  ・・・ a  は・・・・ b ・・・・ c  ち、対象としない項目は評価しな 評価項目数を母数として、比率(	他の評価に該当しない。 即定が「×」の項目がない。 なを行っている。 皆等に分かりやすく周知してい い。		やや不適切である 対外関係に関して、 監督員が文書による 改善指示を行った。 上記該当事項が		不適切である 対外関係に関して、 監督員からの文書に よる改善指示に従わ なかった。  上記該当事項が
必須項目	IV. 対外関係  必須  必須 <b>3をすべて評価すること!</b> ○:該当する  ×:該当しない 空白:評価対象外  ①評価数(○) ②対象項目(○、×)		適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」チェック! ②関係官公庁などと調整を行い、トラス。 ④第三者からの苦情がない。「 ⑤関連工事との調整を行い、「 ⑥工事の目的及び内容を、工事のものである。 ⑦その他 (理由:  ●判断基準 評価値が90%以上・・・評価値が80%よ清・・・ ② 当該「評価対象項目」のう② 対象としない項目を除いた ③ 評価値( %)=評価数	ほぼ適切である  Jストのうち、対外関係について当れ、トラブルの発生がない。 ブルの発生がない。 しくは、苦情に対して適切な対応 円滑な進捗に取り組んでいる。 事看板などにより地域住民や通行者 ・・・ a  は・・・・ b ・・・・ c  ち、対象としない項目は評価しな 評価項目数を母数として、比率(	他の評価に該当しない。 即定が「×」の項目がない。 なを行っている。 皆等に分かりやすく周知してい い。		やや不適切である 対外関係に関して、 監督員が文書による 改善指示を行った。 上記該当事項が		不適切である 対外関係に関して、 監督員からの文書に よる改善指示に従わ なかった。  上記該当事項が

「記入方法」該当する項目 (a~e) を直接入力する。

(一般監督員) 考查項目 □出来形の測定が、測定項目、測定基 3. 出来形及び Ⅰ. 出来形 □出来形の測定が、必要な測定項目に □出来形の測定が、必要な測定項目に □出来形の測定方法又は測 □契約書第17条に基づ ついて所定の測定基準に基づき行われ ついて所定の測定基準に基づき行われ 準及び規格値を満足し、a及びbに該 出来ばえ 定値が不適切であったた き、監督員が改造請求を 評価 ており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内 01 十木一般 ており、測定値が規格値を満足し、そ のばらつきが規格値の概ね80%以内 当しない。 め、監督員が文書で改善指 行った。 (02 機械、03 電気以 示を行った。 外) である。 である。 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照 ① 出来形の評定は、工事全般を通じて評定するものとする。 上記該当事項が 上記該当事項が ② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。 あれば・・・d あれば・・・e ③ 出来形管理とは、「十木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管 理体系であるが、当該管理基準によりがたい場合等については、監督員と協議の上で出来形管理を行うものである。 「a~e」 を直接入力すること ④ 出来形管理項目を設定していない工事は「c | 評価とする。 ①評定 該当する項目 (a~e) を直接入力 別 b d 細 a е 評価 I. 出来形 適切である ほぼ適切である 他の評価に該当しない 02 機械設備工事 「評価対象項目」 契約書第17条に基 必須 ①据付に関する出来形管理が容易にできるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫している。 出来形の測定方法又は づき、監督員が改善 測定値が不適切であっ 必須 ②設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内である。 たため、監督員が文書 請求を行った。 必須 ③施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足している。 で改善指示を行った。 ④設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督員と協議の上で管理している。 ⑤不可視部分の出来形を写真撮影している。 ⑥塗装管理基準の塗装厚管理を適切にまとめている。 上記該当事項が 上記該当事項が ⑦溶接管理基準の出来形管理を適切にまとめている。 あれば・・・d あれば・・・e ⑧施工計画書等で定めた出来形の管理基準(又は社内の管理基準)に基づき、適切に管理している。 ⑨設計図書で定められている予備品に不足が無い。 ⑩分解設備における既設部分等の摩耗、損傷等について、整備前と整備後の劣化状況及び回復状況を図表等に記録して いる。 ①その他 (理由: ●判断基準 ○:該当する 評価値が90%以上・・・・・ a ×:該当しない 評価値が80%以上90%未満・・・・・ b 空白:評価対象外 評価値が80%未満・・・・・ c ①評価数(○) ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は評価しない。 ②対象項目(○、×) 不足 ② 対象としない項目を除いた評価項目数を母数として、比率 (%) 計算の値で評定する。 ③評価値(①/2) ③ 評価値 (%) =評価数 () /評価対象項目数 () ④評定

#### 別表-1⑤

#### 考查項目別運用表

[記入方法] 評価する項目に○、評価しない項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする)。

考查項目 細 b d е 3. 出来形及び Ⅰ. 出来形 適切である ほぼ適切である 他の評価に該当しない 出来ばえ 03 電気通信設備工事・ 通信設備工事・受変電設 出来形の測定方法又は 契約書第17条に基 備工事 測定値が不適切であっ づき、監督員が改善 「評価対象項目」 たため、監督員が文書 請求を行った。 必須 ①据付に関する出来形管理が容易にできるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫している。 で改善指示を行った。 ②機器等の測定 (試験) 結果が、その都度管理図表などに記録され、適切に管理している。 ③不可視部分の出来形を写真撮影している。 ④設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督員と協議の上で管理している。 上記該当事項が 上記該当事項が 必須 ⑤設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内である。 あれば・・・d あれば・・・e 必須 ⑥設備の据付及び固定方法が設計図書又は承諾図通り施工されている。 必須 ⑦配管及び配線が設計図書又は承諾図通りに敷設されている。 ⑧測定機器のキャリブレーションを定期的に実施している。 ⑨行先などを表示した名札をケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けている。 ⑩配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ⑪施工計画書等で定めた出来形の管理基準(又は社内の管理基準)に基づき、適切に管理している。 122その他 (理由: ●判断基準 ○:該当する 評価値が90%以上・・・・・ a ×:該当しない 評価値が80%以上90%未満・・・・・ b 空白:評価対象外 評価値が80%未満・・・・・ c ①評価数(○) ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は評価しない。 ②対象項目(〇、×) 不足② 対象としない項目を除いた評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評定する。 ③評価値 (①/2) ③ 評価値 ( %) = 評価数 ( ) / 評価対象項目数 ( ) ④評定

(一般監督員)

# 別紙-1⑥ 「記入方法」該当する項目(a~e)を直接入力する。

考查項目別運用表

別和 10					与重块日別連用衣					
「記入方法」	亥当する項目 (a~e)	を直接プ	人力	する。						(一般監督員)
考查項目			_		h	c.		d		P
3. 出来形及び		評	′価	a □品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われて	□品質の測定が 必要な測定項目につ	□ 品質の測定が 測定項目 測定其準	口品質	質関係の測定方法又は	口恝約	的書第17条に基づ
出来ばえ	п. ш.д	-		いて所定の測定其準に其づき行われて	いて所定の測定其準に其づき行われて	及び規格値を満足し、a及びbに該当				監督員が改造請求を
山木はん	01 土木一般			おり、測定値が規格値を満足し、その					行った	
	(02 機械、03 電気、	04		ばらつきが規格値の概ね50%以内で				でである。	11.27	<u> </u>
	維持・修繕以外)				ある。		71,51	1 7/20		
					00.00					
				※ ばらつきの判断は別紙-4参照						
			Į			<b>-</b>			4	
				<ul><li>① 品質の評定は、工事全般を通じて評</li></ul>				上記該当事項が		上記該当事項が
				② 品質とは、設計図書に示された工事	事目的物の規格である。			上記の日事項が あれば・・・d		上記め当事項が あれば・・・e
				③ 品質管理とは、「土木工事施工管理	型基準」の測定項目、測定基準及び規格			asa tra e e d		WALKE E
				値に基づく全ての段階における品質確保					1	<u>'</u>
				管理基準によりがたい場合等については	は、監督員と協議の上で品質管理をおこ					
				なうものである。						
				<ul><li>④ 品質管理項目を設定していない工事</li></ul>	E/け「。」 評価レオス					
			1	<u>は 即員自任項目を飲足していない工事</u>		1				
	①評定			該当する項目(a~e)を直接入力	1					
	UITLE			政当りの項目(a -e) を直接入り	<u> </u>					
	√m Hil				1			1		
	細 別	評	徆	<u>a</u> 適切である	b ほぼ適切である	c 他の評価に該当しない	評価	d	評価	е
	Ⅱ. 品質	-		7	はは適切である	他の評価に該当しない			-	<u> </u>
	04 維持・修繕工事	) (T		「評価対象項目」	* ** * \ Z					tn 46 - th 600 - 1 = 1 = 1
		必須		①常に緊急的な作業に対応できる体制を				品質関係の測定方法		契約書第17条に基
		必須		②緊急的な作業に対し、迅速に対応して				又は測定値が不適切		づき、監督員が改善 請求を行った。
		必須			と勘案し、施工方法や構造について提案			であったため、監督員が文書で改善指示		請水を11つた。
		必須		④施工後のメンテナンスに対する提言や	や修繕サイクル等を勘案した提案を行って	ている。		を行った。		
				⑤理由:				を11つ/c。	1	
				⑥理由:				上記該当事項が		上記該当事項が
				⑦理由:				あれば・・・d		カれば・・・e
				⑧理由:				W)AUVA · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		804012 6
									1	
	○:該当する			●判断基準		1				
	×:該当しない			評価項目が6項目以上・・・・・	· • a					
	空白:評価対象外			該当項目が4項目以上・・・・・						
				該当項目が3項目以下・・・・・・	-					
	①評価数 (○)			W XIII - XIII - XIII						
	②対象項目(〇、×)	不	、足	※ 記載の4項目を必須の評価対象項目価するものとする。ただし、評価対象項	目とし、この他に適宜項目を追加して評					
	③評定	17	~_	価するものとする。ただし、評価対象項	負目は最大8項目とする。					
	UIT/L			<del>                                     </del>		1			1	

「記入方法」評価する項目に() 評価したい項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする) (一般監督員) 評価 評価 評価 3. 出来形及び Ⅱ 品質 適切である ほぼ適切である 他の評価に該当しない 出来ばえ 02 機械設備工事 「評価対象項目」 ①材料、部品の品質照合の書類(現物照合)の内容が設計図書の仕様を満足している。 品質関係の測定方法 契約書第17条に基 必須 必須 ②設備の機能及び性能を、承諾図書のとおり確保している。 又は測定値が不適切 づき、監督員が改善 であったため、監督 請求を行った。 必須 ③設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出している。 員が文書で改善指示 必須 ④機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して成績書にまとめられている。 を行った。 ⑤溶接管理基準の品質管理項目について規格値を満足している。 ⑥塗装管理基準の品質管理項目について規格値を満足している。 上記該当事項が 上記該当事項が ⑦操作制御装置について、操作スイッチや表示灯を承諾図書のとおり配置し、操作性にすぐれている。 あれば・・・d あれば・・・e ⑧操作制御設備の安全装置及び保護装置が承諾図書のとおり布設されている。 ⑨小配管、電気配線・配管が、承諾図書のとおり敷設している。 ⑩設備の取扱説明書を工夫している。 ⑪完成図書(取扱説明書)に定期的な点検及び交換を必要とする部品並びに箇所を明示している。 ⑫機器の配置が点検しやすいよう工夫している。 必須 ③設備の構造や機器の配置が、部品等の交換作業を容易にできるように工夫している。 (4) (単二次コンクリートの配合試験及び試験練りが実施され、試験成績表にまとめられている。 ⑤バルブ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示している。 ⑩計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示している。 ⑰回転部や高温部等の危険箇所に表示又は防護をしている。 ®構造部の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 ⑪現地状況を勘案し施工方法等について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。 200その他 (理由: ●判断基準 ):該当する 評価値が90%以上・・・・・ a < ・該当しない 評価値が80%以上90%未満・・・・・ b 空白:評価対象外 評価値が80%未満・・・・・ c D評価数 (○) ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は評価しない。 2)対象項目 (〇、×) 不足 ② 対象としない項目を除いた評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評定する。 3評価値 (①/②) 評価値(%)=評価数()/評価対象項目数( 4)評定 細 別 а 評価 評価 評価 適切である ほぼ適切である 他の評価に該当しない Ⅱ.品質 03 電気通信設備工事· 「評価対象項目」 通信設備工事・受変電設 ①製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討を実施している。 品質関係の測定方法 契約書第17条に基 備工事 ②材料、部品の品質照合の結果が、品質保証書等(現物照合を含む)で確認でき、設計図書の仕様を満足している。 又は測定値が不適切 づき、監督員が改善 であったため、監督 請求を行った。 必須 ③機器の品質、機能及び性能が、設計図書を満足し、成績書にまとめている。 員が文書で改善指示 ④操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性に優れている。 を行った。 必須 ⑤ケーブル及び配管の接続などの作業が施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合がない。 必須 ⑥設備の機能及び性能が設計図書の仕様を満足している。 上記該当事項が 上記該当事項が ⑦操作制御関係の機能及び性能が、仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の動作が確認できる。 必須 あれば・・・d あれば・・・e 必須 ⑧設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足している。 ⑨現場条件によって機器(製品)の性能及び性能が確認ができない場合において、工場試験などで確認している。 ⑩設備全体についての取扱説明書を工夫し作成(修繕(改造・更新含む)の場合は、修繕又は更新)している。 ⑪完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示している。 ②設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫している。 必須項目をすべて評価すること!! 13その他 (理由: 評価値が90%以上・・・・・ a ):該当する 評価値が80%以上90%未満・・・・・ b ×:該当しない 空白:評価対象外 評価値が80%未満・・・・・ c ①評価数 (〇) 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は評価しない。 ②対象項目(○、  $\times)$ 不足 ② 対象としない項目を除いた評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評定する。 ③ 評価値 (%) =評価数 ()/評価対象項目数 ( 3評価値 (①/②) 1)評定

[記入方法] 評価する項目に〇を記入する。

(一般監督員)

	評価する項目にし		
考査項目		評価	工夫事項
5. 創意工夫	I. 創意工夫		【施工】
			①施工に伴う器具、工具、装置等に関する工夫又は設備据付後の試運転調整に関する工夫。
			②コンクリート二次製品などの代替材の利用に関する工夫。
			<ul><li>③土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工に関する工夫。</li></ul>
			④部材並びに機材等の運搬及び吊り方式などの施工方法に関する工夫。
			⑤設備工事における加工や組立等又は電気工事における配線や配管等に関する工夫。
			⑥給排水工事や衛生設備工事における配管又はポンプ類の凍結防止、配管のつなぎ等に関する工夫。
			⑦照明などの視界の確保に関する工夫。
			⑧仮排水、仮設道路、迂回路等の計画的な施工に関する工夫。
			⑨運搬車両、施工機械等に関する工夫。
			⑩支保工、型枠工、足場工、仮桟橋、覆工板、山留め等の仮設工に関する工夫。
			⑪盛土の締固度、杭の施工高さ等の管理に関する工夫。
			⑫施工計画書の作成、写真の管理等に関する工夫。
			⑬出来形又は品質の計測、集計、管理図等に関する工夫。
			⑭施工管理ソフト、土量管理システム等の活用に関する工夫。
			⑤ I C T (情報通信技術)を活用した情報化施工を取り入れた工事。
			※本項目は2点の加点とする。
			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
			⑰優れた技術力又は能力として評価する技術を用いた工事。
			®その他 〔理由:
			【品質】
			⑲土工、設備、電気の品質向上に関する工夫。
			⑩コンクリートの材料、打設、養生に関する工夫。
			21鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料に関する工夫。
			22配筋・溶接作業等に関する工夫。
			23その他 〔理由:
			【安全衛生】
			24建設業労働災害防止協会が定める指針に基づく安全衛生教育を実施している。
			※本項目は2点の加点とする。
			25安全を確保するための仮設備等に関する工夫(落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等)。
			26安全教育、技術向上講習会、安全パトロール等に関する工夫。
			27現場事務所、労務者宿舎等の空間及び設備等に関する工夫。
			28有毒ガス及び可燃ガスの処理並びに粉塵防止及び作業中の換気等に関する工夫。
			29一般車両突入時の被害軽減方策又は一般交通の安全確保に関する工夫。
			30厳しい作業環境の改善に関する工夫。
			31環境保全に関する工夫。
			32 その他 〔理由:
			33 その他 〔理由:
			34 その他 〔理由:
			35 その他 〔理由:

「記入方法] NETIS登録技術の該当技術個数及び評点について、直接入力する。

(一般監督員)

	NULLIOTNYXX	タヨ以内回数及UTTぶに フィ・C、直接バカック。
考査項目	細 別	工夫事項
5. 創意工夫	I. 創意工夫	「新技術活用」においては、以下の2項目により、複数の技術の評価を可能とするが、 <b>最大3点の加点</b> とする。
		ただし、加点対象は受注者側から新技術活用を提案した場合のみとし、発注者が指定し活用した場合は加点措置を
		行わないものとする。
	該当技術個数⇒	NETIS登録技術を活用し、活用の効果が相当程度確認できた。
		※本項目は、2点の加点とする。
	該当技術個数⇒	NETIS登録技術を活用し、活用の効果が一定程度確認できた。
		※本項目は、1点の加点とする。
	新技術関連評点	※複数の技術の評価にあたっては、活用した技術数に応じ複数の評価項目を選択することを可能とするが、 <b>最大3点の加点</b> とする。 複数の技術が同一の評価項目に該当した場合、該当技術数に対し各項目の加点点数を掛け合わせたものを評価の点数とするが、 この場合も <b>最大3点の加点</b> とする。
		【創意工夫の詳細評価】工夫の内容及び具体的内容を記載
	評点	← (直接入力)
		※新技術活用に関するもの以外の評点については、
		直接入力すること。評価した項目については、
		一 右の詳細評価欄に工夫の内容及び具体的内容を
	== b (A 31)	必ず記入すること。
	評点(合計)	← (通常の評点と新技術関連評点の合計)

- ※1. 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。
- ※2. 評価は各項目において1つの $\bigcirc$  を1点、又は2点で評価し、最大7点の加点評価とする。
- ※3. 該当する数と重みを勘案して評定する。1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上の評点(直接入力)を与えてもよい。
- ※4. 上記の考察項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他の欄に具体の内容を記載して加点する。

別紙-2①

#### 考查項目別運用表

「記入方法」評価する項目に○を記入する。 (主 任 監 督 昌) 考查項目 細 別 h' h А 評価 評価 評価 施工状況 II. 工程管理 bより優れている。 やや優れている cより優れている 他の評価に該当しない やや劣っている 劣っている 優れている 「評価対象項目」 ①隣接する他の工事などとの工程調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 工程管理に関して、 工程管理に関して、 監督員が文書による 監督員からの文書に ②地元及び関係機関との調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 改善指示を行った。 よる改善指示に従わ ③工程管理を適切に行なったことにより、休日や夜間工事の回避等を行い、地域住民に公共工事に対する好印象を与えた。 なかった。 ①工程管理に係る積極的な取り組みが見られた。 ⑤災害復旧工事など特に工期的な制約がある場合において、余裕をもって工事を完成させた。 ⑥工事施工箇所が広範囲に点在している場合において、工程管理を的確に行い、余裕をもって工事を完成させた。 上記該当事項が 上記該当事項が ⑦その他 〔理由: あれば・・・d あれば・・・e ●判断基準 ①評価数 (〇) 該当項目が4項目以上・・・・・ a 空白:評価対象外 該当項目が3項目以上・・・・・ a' 該当項目が2項目以上・・・・・ b 該当項目が1項目以上・・・・・ b' 2)評定 該当項目がなし・・・・・・c h h' А 評価 評価 Ⅲ. 安全対策 優れている bより優れている。 やや優れている cより優れている 他の評価に該当しない やや劣っている 劣っている 「評価対象項目」 D建設労働災害及び公衆災害の防止に向けた取り組みが顕著であった。 安全管理に関して、 安全管理に関して、 監督員が文書による 監督員からの文書に ②安全衛生を確保するための管理体制を整備し、組織的に取り組んだ。 改善指示を行った。 よる改善指示に従わ ③安全衛生を確保するため、他の模範となるような活動に積極的に取り組んだ。 なかった。 ④安全対策に関する技術開発や創意工夫に取り組んだ。 ⑤安全協議会での活動に積極的に取り組んだ。 ⑥安全対策に係る取り組みが地域から評価された。 上記該当事項が 上記該当事項が ⑦その他 〔理由: あれば・・・d あれば・・・e ●判断基準 ①評価数 (○) 該当項目が4項目以上・・・・・ a 空白:評価対象外 該当項目が3項目以上・・・・・ a' 該当項目が2項目以上・・・・・ b 該当項目が1項目以上・・・・・ b' 2)評定 該当項目がなし・・・・・・ c 8. 総合評価 技術提案履行確認 評価 履行 不履行 対象外 技術提案 履行 不履行 -10対象外

※総合評価技術提案は、技術提案の履行が確認できない場合は『不履行』を選択する。

評 価

評点

考查項目別運用表

「記入方法」評価する項目に○を記入する。 (主任監督員) 【事例】具体的な施工条件等への対応策 老杏項目 対応事項 評価 4. 工事特性 1.施工条件等への 構造物の特殊性への対応 (①、 について) (②)、 について) (③. について) ・砂防工事などにおいて、現 対応 ①対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模が特殊な工事 切土の土工量 3万㎡以上 その他、構造物固有の難し ②対象構造物の形状が複雑であることなどから、施工条件が特に変化する工事 盛り土の土工量 3万㎡以上 地合わせに基づいて再設計が さへの対応が特に必要な工 引その他 護岸・築堤の平均高さ 10m以上 必要な工事。 樋門・樋管の内空断面 15m3以上 鉄道に隣接した橋脚の耐震 ・その他、技術固有の難しさ ※上記の対応事項に1つ以上「○」がつけば3点の加点とする。 揚排水機場の叶出管径 2000mm以上 補強工事又は河道内の流水部 の対応が必要である工事。 地山強度が低い又は土被り における橋脚の撤去工事。 堰又は水門の最大径間長25m以上 堰又は水門の径間数25m以上 が薄いため、FEM解析など ・供用中の道路トンネルの拡 堰又は水門の扉体面積50m2/門以上 こよる検討が必要な工事。 幅工事。 トンネル (開削工法) の開削深さ 20m以上 海岸堤防、護岸、突堤又は離岸堤の推進 10m以上 浚渫工の浚渫十量 100万㎡以上 流路工の計画髙水量 500㎡以上 評定 橋梁下部工の高さ 30m以上 橋梁上部工の最大支間長 100m以上 II 都市部等の作業環境、社会条件等への対応 ④地盤の変形、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮する工事。 ⑥周辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事。 ⑥周辺程氏等に対する騒音・振動を特に配慮する工事。 (④. について) (⑥. について) (8). について) ・供用中の鉄道又は道路と交差する橋梁などの工事。 市街地での夜間工事。 緊急時の作業があり、その ・市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアン 作業のすべてに対応した工 DID地区での工事。 ダーパスする丁事. (9). について) ⑦現道上での交通規制に大きく影響する工事。 監視などの結果に基づき、工法の変更を行った工事。 (⑦、 について) 8緊急時に対応が特に必要な工事9施工箇所が広範囲にわたる工事 日交通量が概ね1万台以上 作業現場が広範囲に分布し (⑤)、について) の道路で片側交互通行の交通 ている工事。 ・ガス管、水道管、電話線等の支障物件の移設につい 規制をした工事 て、施工工程の管理に特に注意を要した工事。 ・供用している自動車専用道 (⑩、 について) ※上記の対応事項に1つ以上「○」がつけば5点の加点とする。 ・地元調整や環境対策などの制約が特に多い工事。 路等の路上工事で、交通規制 施工ヤードの広さや高さに ・そのほか各種制約があり、施工に特に厳しい制限を が必要な工事。 制限があり、機械の使用など 2)評定 受けた工事。 ・工事期間中の大半にわたっ 施工に制約を受けた工事。 て、交通開放を行うため規制 その他、周辺環境又は社会 標識の設置撤去を日々行った 条件への対応が特に必要なエ ■ 厳しい自然・地盤条件への対応 (m). について) (B). について) (⑮, について) ・河川内の橋脚工事において地下水が高く、ウェルポ その他、自然条件又は地盤 ・急峻な地形のため、作業構 ⑪特殊な地盤条件への対応が必要な工事 ⑩雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きな工事。
 ⑬急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事。
 ⑭動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事。 イント工法などによる排水や大規模な山留めなどが必 台や作業床の設置が制限され 条件への対応が必要であった る工事。もしくは、命綱を使 支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎毎に地質 用する必要があった工事(法 その他、災害等における臨 調査を実施するなど支持地盤を確認しながら再設計し 面工は除く) 機の措置のうち特に評価すべ 〔理由 ・施工不能日が多いことから、施工機械の稼働率や台 ・斜面上又は急峻な地形直下 き事項が認められる工事。 ※上記の対応事項に1つ以上「〇」がつけば3点の加点とする。 数などを的確に把握する必要が生じた工事。 での工事のため、工事に伴う 地滑り防止対策等の安全対策 (印 について) 海岸又は河川区域内のため、設計書で計上する以上 を必要とした工事。 に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船 (M). について) ③評定 を使用する工事 イヌワシ等の猛禽類などの ・潜水夫を多用した工事又は波浪や水位変動が大きい 貴重な動植物への配慮のた め、工程や施工方法に制約を ため作業構台等を設置した工事。 受けた工事。 長期工事における安全確保への対応 ※上記の対応事項に1つ以上「○」がつけば5点の加点とする。 4)評定

#### 別表-23

## 考查項目別運用表

「記入方法〕評価する項目に○を記入する。 (主任監督員) 考查項目 h' 評価 6. 社会性等 I. 地域への貢献等 優れている bより優れている。 やや優れている cより優れている 他の評価に該当しない 「評価対象項目」 ①周辺環境への配慮に積極的に取り組んだ。 ②現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせるなど、積極的に周辺地域との調和を図った。 ③定期的に広報紙の配布や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。 ④道路清掃などを積極的に実施し、地域に貢献した。 ⑤地域が主催するイベントへ積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを図った。 ⑥災害時などにおいて、地域への支援又は行政などによる救援活動への積極的な協力を行った。 ⑦その他 〔理由: ●判断基準 ①評価数(○) 該当項目が4項目以上・・・・・ a 空白:評価対象外 該当項目が3項目以上・・・・・ a' 該当項目が2項目以上・・・・ b ②評定 該当項目が1項目以上・・・・・ b' 該当項目がなし・・・・・・c

別表-2④ [記入方法]該当する項目に○を記入する。 (主任監督員)

			(工 L 皿 目 吳 /
考查項目	法令遵守等の該当項目一覧表		
7. 法令遵守等			
	措 置 内 容	点 数	
	①指名停止3ヶ月以上	-20点	
	②指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	-15点	
	③指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	-13点	
	④指名停止2週間以上1ヶ月未満	-10点	
	⑤文書注意	- 8点	
	⑥口頭注意	- 5点	
	⑦工事関係者事故又は公衆災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の不適切な程度が軽微	- 3点	
	口頭注意以上の処分が行われなかった場合	- 3点	
	⑧その他(理由:	- 点	
	⑨項目該当なし		
	点数 0 点		
	点数 U I		
	I 本考査項目 (7.法令遵守等) で評価する事例は、施工にあたって工事関係者が下記の適応事例で	上表の措置があった場	合に適用する。
	Ⅱ 「施工」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。		
	Ⅲ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、社内検査」	員、請負会社の現場従事	耳職員及び当該工事にあたって下請契約し、そ
	れを履行するために従事する者に限定する。		
	IV 総合評価落札方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった場合は、⑧その他のI	頁目で減ずる措置を行う	0 0
	【上記で評価する場合の適応事例】		
	1. 入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。		
	2. 承諾なしに権利又は義務を第三者譲渡又は承継した。		
	<ol> <li>使用人に関する労働条件に問題があり送検された。</li> <li>産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する</li> </ol>	車中が利用した	
	4. 産業廃棄物処理法に建议する不伝技業、砂利休収法に建议する無計可採収等の関係法事に建议する 5. 当該工事関係者が贈収賄等により逮捕又は公訴された。	事夫が刊明 した。	
	6. 一括下請けや技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。		
	7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検された。		
	8. 労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。		
	9. 監督又は検査の実施を、不当な圧力をかけるなどにより妨げた。		
	10. 下請代金を期日以内に支払っていない、不当に下請代金の額を減じているなど下請代金支払遅延	等防止法第4条に規定す	る親事業者の遵守事項に違反する行為があ
	る。		
	11. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕又は送検された。		
	12. 受注企業の社員に「指定暴力団」又は「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準		
	13. 下請に暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは「暴力団員による不当な行為の防」		
	手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受け入れ、土木作業員用の自動販売機の設置等を行っていた。		
	14. 安全管理が不適切であったことから死傷者を生じさせた工事関係者事故又は重大な損害を与えた。	公衆預害事故を起こした	-0

# 別表 — 3 ① **考査項目別運用表**

「記入方法」評価する項目に〇、評価しない項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする) (検査員) 考查項目 評価 評価 評価 2. 施工状況 I. 施工管理 優れている bより優れている。 やや優れている 他の評価に該当しない やや劣っている 劣っている cより優れている 「評価対象項目」 D契約書第18条第1項第1号~5号に基づく設計図書の照査を行っていることが確認できる。 施工管理に関して、 必須 施工管理に関して、 監督員が文書による 監督員からの文書に ②施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものと 必須 改善指示を行った。 よる改善指示に従わ なっていることが確認できる。 なかった。 必須 ③工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。 ④現場条件又は計画内容に重要な変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出していることが確認できる。 ⑤工事材料の品質に影響が無いよう工事材料を保管していることが確認できる。 ⑥段階確認が適時的確になされていることが確認できる。 ⑦建設副産物の再利用等への取り組みを行っていることが確認できる。 ⑧施工体制台帳及び施工体系図を法令等に沿った内容で適確に整備していることが確認できる。 下請ある場合 必須 下請ある場合 必須 ⑨下請に対する引き取り(完成)検査を書面で実施していることが確認できる。 ⑩社内検査員による関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって行っていることが確認できる。 必須 ①工事の関係書類を不足なく簡潔に整理していることが確認できる。 必須 ②社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 必須項目をすべて評価すること!! (3)その他 〔理由: ●判断基準 ○:該当する 評価値が90%以上 . . . . . . . a ×:該当しない 評価値が80%以上90%未満・・・・・ a' 空白:評価対象外 評価値が70%以上80%未満・・・・・ b 評価値が60%以上70%未満・・・・・ b' 評価値が60%未満 ・・・・・・ c ①評価数(○) ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は評価しない。 ②対象項目(○、×) 不足② 対象としない項目を除いた評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評定する。 ③評価値 (①/②) ③ 評価値( %)=評価数( )/評価対象項目数( ) 4)評定

別表-3② 「記入方法」評価する項目に○を記入する(評価対象外の項目は空白とする)

_ [記八万伝] 計画する項目にしる	:記入する	5(評価対象外の項目は空白とする)。				( 検査員 )
考 査 項 目     細 別       3. 出来形及び 日本一般ほか (02 機械、03 電以外)	気評価	a a' b b' c 出来形の測定が、必要な 出来形の測定が、必要な 出来形の測定が、必要な 出来形の測定が、必要な 出来形の測定が、必要な 測定項目について所定の 測定項目について所定の 測定項目について所定の 測定基準に基づき行われ 測定	評価	出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善させた。 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったた	評価	・ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったた
		③不可視部分の出来形が写真で確認できる。 ④写真管理基準の管理項目を満足している。 ⑤出来形管理基準が定められていない工種について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。 ⑥その他 〔理由:	ばら、	か、監督員が文書で指示 を行い改善させた。 つきの評価 はらつきが50%以内		ない、検査員が修補指示を 行った。
①評価数(○)空白:評価対象外 ②評定		①出来形は、工事全般を通じて評定するものとする。 ②出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。 ③出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来 形を確保する管理体系である。 ④出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。		ばらつきが80%以内 ばらつきが80%以内 規格値を満足し、a~b'し	こ該当	しない。
I.出来形 02 機械設備工事	評価	優れている	評価	d やや劣っている  出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	評価	e 劣っている  出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
<ul><li>○:該当する</li><li>※:該当しない</li><li>空白:評価対象外</li><li>①評価数(○)</li><li>②対象項目(○、</li><li>③評価値(①/②)</li><li>④評定</li></ul>		評価値が90%以上 ・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・・ a' 評価値が70%以上80%未満・・・・ b 評価値が60%以上70%未満・・・・ b' 評価値が60%未満・・・・・ c  ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は評価しない。 ② 対象としない項目を除いた評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評定する。 ③ 評価値( %)=評価数( ) /評価対象項目数( ) /評価対象項目数( ) /評価対象項目数が2項目以下の場合は c 評定とする。				

( 給杏昌 )

## 別表 — 3 ③ **考査項目別運用表**

③ 評価値(%)=評価数()/評価対象項目数()④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評定とする。

「記入方法」評価する項目に○、評価しない項目に×を記入する (評価対象外の項目は空白とする) (検査員) 細 別 考查項目 評価 評価 hより優れている。 他の評価に該当しない やや劣っている 3 出来形及び 1 出来形 優れている やや優れている cより優れている 劣っている 出来ばえ 03 電気通信設備工 「評価対象項目」 事·通信設備工事。 D据付に関する出来形管理が容易にできるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫していることが確認できる。 出来形の測定方法又は測 出来形の測定方法又は測 受変電設備工事 ①機器等の測定(試験)結果が、その都度管理図表などに記録され、適切に管理していることが確認できる。 定値が不適切であったた 定値が不適切であったた め、監督員が文書で指示 め、検査員が修補指示を 3)写真管理の管理項目を満足している。 を行い改善された。 行った。 ④不可視部分の出来形が写真で確認できる。 ⑤設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。 ⑥設備全般にわたり、形状、寸法の実測値が許容範囲内であることが確認できる。 ⑦設備の据付、固定方法が、設計図書又は承諾図書のとおり施工していることが確認できる。 ⑧配管及び配線が設計図書又は承諾図書通り敷設されていることが確認できる。 ⑨行先などを表示した名札をケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けている。 ⑩配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ⑪社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 12)その他 (理由: ●判断基準 該当する 評価値が90%以上 ×:該当しない 評価値が80%以上90%未満・・・・・ a' 評価値が70%以上80%未満・・・・・ b 空白:評価対象外 評価値が60%以上70%未満・・・・・ b' 評価値が60%未満 ・・・・・・・ c ①評価数(○) ②対象項目(○、×) ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は評価しない。 3評価値(①/②) 4)評定 ② 対象としない項目を除いた評価項目数を母数として、比率 (%) 計算の値で評定する。

考 査 項 目	工種		a	a'	b		b'	С	評価	d	評価	е
3. 出来形及び 出来ばえ		評価	品質関係の試験結果のばら [関連基準、土木工事施工 ※ばらつきの判断は別紙-	っつきと評価対象項 「管理基準、そのfi - 4 参照。	質目の履行状況(評値 也設計図書に定められ	西値) から <sup>3</sup> 1た試験]	判断する。<判断基準参照	照>				
Ⅱ.品質												_
	00 多工種複合工事		該当工種		各工種の評価	5値(%)	_			品質関係の測定方法又は		品質関係の測定方法又は
										測定値が不適切であった		測定値が不適切であった
										ため、監督員が文書で指示を行い改善された。		ため、検査員が修補指示 を行った。
					4-4-+	- 3T /m /-	]			ハで11~以音で40/に。		C11.2/C0
					多工種工事 #DIV/		※各工種の単純平均					
			※各工種(最大3工種)の									
			公台上性 (取八 3 上性) (A	7計価値を昇山し、	上 事 土 仲 ワ 武 瘚 和 ラ	たりはりつ						
			●判断基準									
			▼刊町基準	I#A-	つきで判断可能	ばらつきで	70					
					0%以下 80%を超える					つきの評価		
			◎ 90%以上	a	a' b	b	7.0			ばらつきが50%以下		
			評 90%以上 75%以上90%未	≒満 a′	b b'	b'				ばらつきが80%以下		
			值 60%以上75%末		p, c	С				ばらつきが80%を超える		
				p,	СС	С				ばらつきで判断不可能	1	
					きの判断ができないは	場合は評価						
	評価値		対象項目(評価値)	だけで判断する。								
	計加旭											
			1									
	評定		ー	評価を加味した	総合評定							
	H1 /4_		10.5 5 6 70 10.	, hilm 6747K 07C	THE HINL							

「記入方法]該当工種を最大3つまで選択する。

		还八丁	.a/o					
考查項目	工種	評価	<u>a</u> 優れている	a' bより優れている。	b やや優れている	b' cより優れている	c 他の評価に該当しない	d か-マいて
	6		変和 (いる	りより優れている。	でで優れている	じょり優れている	他の計画に該当しない	劣っている
	00 多工種複合工事							
出来ばえ			該当工種		各工種の評価値(%)	_	●判断基準	
							評価値が80%超	• • • • • • a
Ⅲ. 出来ばえ						1	評価値が65%超80%	以下・・・・・ a'
						1	評価値が45%超65%	以下・・・・・ b
					多工種工事の評価値	1	評価値が25%超45%	以下·····b'
					#DIV/0!	※各工種の単純平均	評価値が10%超25%	以下・・・・・ c
						•	評価値が10%以下・	d
								-
	評定							

考查項目別運用表 ( 給杏昌 )

<u> </u>	価する項目に○、評価	U121	項目に×を記入する(評価対象外の項目は空日とする)。				( 検査員 )
	工 <u>種</u> 01 コンクリート構造 物工事	評価	a a' b b' c 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]	評価 _	d	評価	е
			%ばらつきの判断は別紙 $-4$ 参照。				
Ⅱ.品質			「評価対象項目」				
			①コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、品質(強度、w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ		品質関係の測定方法又		品質関係の測定方法又は
			骨材反応抑制等)が確認できる。		則定値が不適切であっ		測定値が不適切であった
			②コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。		こめ、監督員が文書で 示を行い改善された。		ため、検査員が修補指示 を行った。
			③圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。	/1	トを11い以音された。		を11つた。
			④施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる(寒中及び暑中コンクリート等を含む)。				
			⑤コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。		きの評価		
			⑥コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。		ばらつきが50%以下		
			⑦鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。		ばらつきが80%以下		
			⑧コンクリートの打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。		ばらつきが80%を超える	-	
			⑨鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	V	<b>ばらつきで判断不可能</b>		
			⑩圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。				
			⑪コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。				
			②スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。				
			<b>⑬有害なクラックがない。</b>				
			④その他 〔理由:				
	○ =+\\\.\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\						
	<ul><li>○:該当する</li><li>×:該当しない</li></ul>		●判断基準		1.27 % I also are stollare		172
	<u>×:該ヨレない</u> 空白:評価対象外	_			ばらつきで判断 50%以下 80%以下 8		ばらつきで
1	空日: 評個对象外				a a'	UWで <u>EB</u> える h	+16)/\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
1	①評価数 (○)		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は評価しない。	0%未満		p,	p,
1	①計価数(〇) ②対象項目(〇、×)		② 対象としない項目を除いた評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評定する。		b b'	С	C
	②対象項目(○、<) ③評価値(①/②)		② 並供は ( 9/) ―並供料 ( ) /並供料毎項日粉 ( )		p, c	С	С
	O計Ⅲ阻 (U/4)		一		が少なくばらつきの 判断;	バできないち	場合は評価
1			は なわ、評価対象項目数かと項目以下の場合はC計化とする。 対象項目(評価	値)だけ	で判断する。		
ľ	④評定		<b>←</b> ばらつき及び「d」「e」評価を加味した総合評定				

[記入方法] 評価する項目に〇、評価しない項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする)

考查項目	工種	評価	a	a'	b	b'	С	d					
7 且 仅 口	工. 7里	рТ ПЩ	優れている	bより優れている。	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	劣っている					
. 出来形及び	01 コンクリート構造		「評価対象項目」										
出来ばえ	物工事		①コンクリート構造物の	表面状態が良い。			●判断基準						
			②コンクリート構造物の	通りが良い。			- 評価値が80%超 ・・・・・ a						
Ⅲ. 出来ばえ			③天端仕上げ、端部仕上				評価値が65%超80%以下・・・・・ a'						
			④クラックがない。				評価値が45%超65%以下・・・・・ b						
			⑤漏水がない。				-	以下・・・・・ b'					
			⑥全体的な美観が良い。					以下・・・・・・ c					
			⑦検査時の清掃がいきと	どいている。			評価値が10%以下・・・・・・ d						
	○:該当する			-									
			1										
İ			1										
	①評価数 (○)												
			1										
			1										
			1										
İ	O #1 /4		1										
	<ul><li>○:該当する</li><li>×:該当しない</li><li>空白:評価対象外</li><li>①評価数(○)</li><li>②対象項目(○、×)</li><li>③評価値(①/②)</li><li>④評定</li></ul>												

別表 - 3 ⑥-1 **考査** 「記入方法」評価する項目に○、評価しない項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする) ( 烩杏昌 )

記入方法」計	?価する項目に○、評価	しない	>項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする)。							( 検査員 )
出来ばえ	工 種 02 土工事(切土、盛 土、堤防等工事、残 土処分)	評価	a a' b b' c 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。	С	評価		d		評価	е
Ⅱ.品質			「評価対象項目」			口所問記	の測定方法	F T7 14	口戶戶	関係の測定方法又は
			<ul><li>①雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。</li><li>②段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。</li></ul>				の側圧力で 不適切であ			関係の側足万伝又は 値が不適切であった
			③置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないよう施工していることが確認できる。				督員が文書			、検査員が修補指示
			<ul><li>④切取面以下(法面を含む)に有害な亀裂が発生しないよう丁寧に施工していることが確認できる。</li></ul>			示を行い	改善された	-0	を行	った。
			⑤切取防護柵を確実に施工し、適切に使用していることが確認できる。 ⑥施工中の地山の挙動を確認していることが確認できる。							
			回ルエ中の地口の学期を確認していることが確認できる。 ⑦湧水処理が適切に行われていることが確認できる。							
			⑧汚濁・流出防止対策が適切に行われていることが確認できる。							
			⑨締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。							
			<ul><li>⑩一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。</li><li>⑪芝付け及び種子吹付を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。</li></ul>							
			<ul><li>□ といり及び種子外内を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。</li><li>□ の構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。</li></ul>		И'n	つきの評価	i			
			③土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。		10. 3		, が50%以下			
			@CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。				が80%以下			
			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				が80%を超			
			<ul><li>⑥搬出(処分) 土量の管理が適切に行われていることが確認できる。</li><li>⑦伐開除根・除草作業及び処分が適切に行われていることが確認できる。</li></ul>			ほりつさ	で判断不可	JE		
			®その他 〔理由:							
	○:該当する			判断基	· >#					
	×:該当しない			刊助盘	华	1£	らつきで判	新可能	ばらつ	)きで
	空白:評価対象外								える判断不	
			① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は評価しない。		<u>以上</u>	a	a'	b	_ k	
	②対象項目(〇、×)		② 対象としかい項目を除いた評価項目粉を母粉として 比索 (%) 計算の値で延定する 価	III 00000	<u>以上</u> 90%未造 以上75%未造		b b'	b'		5
	③評価値 (①/②)		③ 評価値 ( %) =評価数 ( ) /評価対象項目数 ( )	60%	未満	b'	С	С		
					結果の打点数  (評価値)だ			折ができた	ばい場合は計	平価
	<ul><li>④評定</li></ul>		 ←ばらつき及び「d」「e」評価を加味した総合評定	1 30 TH I		2 < ±16/19 €	· 0			
	⊕ HI ΛL									
							_			

別表 - 3 ⑥ - 2 **考査** 「記入方法」評価する項目に○、評価しない項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする) ( 絵本昌 )

記入方法]評	評価する項目に○、評価	しない	項目に×を記入する(	評価対象外の項目は空白と	する)。			( 検査員			
考查項目	工種	評価	a 何是一一	a' bより優れている。	b やや優れている	b' cより優れている	した。 他の評価に該当しない	<u>d</u>			
中年政立な	02-1 土工事(盛土、		優れている 「評価対象項目」	Dより優れている。	やや優れている	じょり優れている	他の評価に該目しない	劣っている			
	02-1 工工事(盈工、 築堤工事等)		①仕上げが良い。				●判断基準				
田木はん	宋处上尹守/		① 近 上 じ か 良 い。 ② 通 り が 良 い。				型刊断基準 評価値が80%超				
. 出来ばえ			③天端及び端部の仕上	げぶ白い							
<ul><li>山木はん</li></ul>			<ul><li>④人端及び端部の任工</li><li>④構造物へのすりつけ</li></ul>		評価値が45%超65%以下・・・・ b						
			⑤全体的な美観が良い。								
	O =+W.1-7		⑥検査時の清掃がいき	とといている。				下·····c			
	<ul><li>○:該当する</li></ul>						評価値が10%以下・・・	• • • • • d			
	×:該当しない										
	空白:評価対象外										
	O for health ( a )										
	①評価数 (○)										
	②対象項目(〇、×)										
	③評価値 (①/②)										
	<ul><li>④評定</li></ul>										
	02-2 切土工事、残土		「評価対象項目」								
	処分		①規定された勾配が確				●判断基準				
			②切土法面の施工にあ	たって、法面の浮き石が除	:去されているなど、適切	に施工されている。	評価値が80%超	• • • • • • a			
				ついて、干渉部を設けるな		0	評価値が65%超80%以下	- · · · · · · a'			
			④滞水などによる施工	面の損傷が発生しないよう	処理が行われている。		評価値が45%超65%以下	- · · · · · b			
				り合いが設計図書を満足す			評価値が25%超45%以下	¬b'			
			⑥全体的な美観が良い。				評価値が10%超25%以7	- · · · · · · c			
			⑦撤去範囲が適切に施	工された。			評価値が10%以下・・・	· · · · · · d			
			⑧規定された高さが確	= 1 : -0			F. 10-4 (1-2)				
			⑨端部処理がよい。	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,							
				が適切に行われている。							
			①検査時の清掃がいき								
			の水里でははいくこ								
	○:該当する										
	<ul><li>○・阪ヨッぷ</li><li>×:該当しない</li></ul>										
	空白:評価対象外										
	至日,計個対象外										
		1									
	○										
	①評価数 (〇)										
	②対象項目 (〇、×)										
	②対象項目 (○、×) ③評価値 (①/②)										
	②対象項目 (〇、×)										

考査項目別運用表

「記入方法」評価する項目に○、評価しない項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする) (検査員) 評価 評価 き 査 項 工 種 d С 3. 出来形及び 03 護岸・根固・水制 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 出来ばえ 「関連基準、十木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 Ⅱ.品質 「評価対象項目」 ①施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 品質関係の測定方法又は 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ②裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを、空隙が生じないよう十分に行っていることが確認できる。 測定値が不適切であった ため、検査員が修補指示 ため、監督員が文書で指 ③緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結を、裏込材の吸出しがないよう行っ 示を行い改善された。 を行った。 ていることが確認できる。 ④石積(張)工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ⑤護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。 ⑥遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ばらつきの評価 ⑦植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ばらつきが50%以下 ⑧根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ばらつきが80%以下 ⑨指定材料の品質が、証明書類で確認できる。 ばらつきが80%を超える ⑩基礎工において、掘り過ぎがなく施工していることが確認できる。 ばらつきで判断不可能 ⑪コンクリートブロック等を損傷なく設置していることが確認できる。 ⑩施工にあたって、床掘箇所の湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。 ⑬埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ④有害なクラックがない。 ⑤その他 〔理由: ●判断基準 〇:該当する ばらつきで判断可能 ばらつきで ×:該当しない 50%以下 80%以下 80%を超える 判断不可能 空白:評価対象外 90%以上 a b 75%以上90%未満 a b b' b ①評価数(○) ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は評価しない。 60%以上75%未満 b b С C ②対象項目(〇、×) ② 対象としない項目を除いた評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評定する。 60%未満 b' 注 試験結果の打点数が少なくばらつきの判断ができない場合は評価 ③評価値(①/②) ③ 評価値(%)=評価数()/評価対象項目数() 対象項目(評価値)だけで判断する。 ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評定とする。 4)評定 ─ばらつき及び「d」「e」評価を加味した総合評定

「記入方法」評価する項目に○、評価しない項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする)。

<b>老木百日</b>	考查項目 工種	評価	a	a'	b	b'	С	d					
与 狂 垻 日	上 俚	百十-711111	優れている	bより優れている。	やや優れている	c より優れている	他の評価に該当しない	劣っている					
0 1114777778	03 護岸・根固・水制		「評価対象項目」										
3. 出来形及び 出来ばえ	工		①通りが良い。				●判断基準						
田木はん			②材料のかみ合わせがよ	く、クラックが無い。	評価値が80%超	評価値が80%超 ・・・・・ a							
Ⅲ. 出来ばえ			③天端及び端部の仕上げ	及び端部の仕上げが良い。 評価値が65%超80%以									
			④既設構造物とのすりつ	けが良い。	評価値が45%超65%.	以下・・・・・ b							
			⑤全体的な美観が良い。				評価値が25%超45%.	以下・・・・・・ b'					
			⑥検査時の清掃がいきと	どいている。			評価値が10%超25%.	以下・・・・・・ c					
							評価値が10%以下・・・・・・・ d						
	○:該当する												
	×:該当しない												
	空白:評価対象外												
	①評価数 (○)												
	②対象項目(○、×)												
	③評価値(①/②)												
	④評定												

[記入方法] 評価する項目に○、評価しない項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする)。 ( 検査員 )

考查項目	工種		a a b b' c	評価	d	評価	e
3. 出来形及び	04 鋼橋工事(R C床	±17 (111	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照>				
出来ばえ	版工事はコンクリー	<u>Б</u> Т-1 Щ	<ul><li>【                                      </li></ul>				
	ト構造物に準じる)		※ばらつきの判断は別紙-4参照。		1		
Ⅱ.品質			「評価対象項目」		_		
			【工場製作関係】		品質関係の測定方法又は		品質関係の測定方法又は
			①鋼材の種別を、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。		測定値が不適切であった		測定値が不適切であった
			②溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。		ため、監督員が文書で指示を行い改善された。		ため、検査員が修補指示 を行った。
			③溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。		小を打い以書された。		を11つ <i>に</i> 。
			④溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。				
			⑤孔空けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細やかに製作していることが確認できる。				
			⑥欠陥部の発生が見られないことが確認できる。				
			⑦塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。				
			⑧素地調整を行う場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。				
			⑨塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。				
			⑩塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。				
			①その他 〔理由:				
			【架設関係】				
			②ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。	ばら	つきの評価	1	
			13ボルトの締付機及び測定機器のキャリプレーションを実施していることが確認できる。		ばらつきが50%以下		
			・の高力ボルトの締め付けを、中心から外側に向かって行っていることが確認できる。		ばらつきが80%以下		
			⑤高力ボルトの品質が、証明書類で確認できる。		ばらつきが80%を超える		
			(⑩支承の据付で、コンクリート面のチッピング及び仕上げ面に水切勾配がついていることが確認できる。		ばらつきで判断不可能		
			①架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。		1000-0013611 3110	<u>1</u>	
			「6条製に用いる仮設備及び架設用機材について品質、性能が確保できる規模及び強度を有していることが確認できる。				
			②元献に対しる記述は一般の記述が成立していては、15元の一部ではできる。 (19現場登装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。	0			
			勿現場塗装において、温度、湿度、風速等の確認を行っていることが確認できる。				
			207-20mm主義に400 C、1mm2人、1mm2人、1mm2年で7月12日 C V S C C C V MEDIC C V S C C V S C C V MEDIC C V S C C V MEDIC C V S C C V S C C V S C C V S C				
	<ul><li>○:該当する</li></ul>						
	<ul><li>○・阪ヨッる</li><li>×:該当しない</li></ul>		1				
	空白:評価対象外	<del>                                     </del>	→ 判Ⅰ	断基準			
	至日: 計価対象外				ばらつきで判断可能		ばらつきで
	①評価数 (○)		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は評価しない。		50%以下 80%以下 80%	17.	
	①計価数 (O) ②対象項目 (O、×)	-	一の 牡魚 1.1 ない頂口も吟いも並に頂口粉も口を しか (0/) 乳質のはっぱやナス	90%以上 75%以上90%未	a a´ b	b'	b b
	②対象項目 (○、×) ③評価値 (①/②)	-		60%以上75%未		o O	C
	3計価値 (U/2)			60%未満		C	C
			注 記		数が少なくばらつきの判断がで	きないな	場合は評価
	O THE	1		項目(評価値)な	Elナで判断する。	1	
	④評定	-	←ばらつき及び「d」「e」評価を加味した総合評定				

[記入方法] 評価する項目に○、評価しない項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする)。

考查項目	工種	評価	a	a'	b	b'	С	d			
7 年 4 日	上性	計加	優れている	bより優れている。	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	劣っている			
	04 鋼橋工事(RC床		「評価対象項目」								
出来ばえ	版工事はコンクリー		①表面に補修箇所が無い	0			●判断基準				
	ト構造物に準じる)		②部材表面に傷及び錆が	無い。	評価値が80%超・・・・・・ a						
Ⅲ. 出来ばえ			③溶接に均一性がある。		評価値が65%超80%以下・・・・・ a'						
			④塗装に均一性がある。		評価値が45%超65%以下・・・・・ b						
			⑤全体的な美観が良い。			評価値が25%超45%以下・・・・・ b'					
			⑥検査時の清掃がいきと	どいている。			評価値が10%超25%	以下・・・・・・c			
	○:該当する						評価値が10%以下・	• • • • • • d			
	×:該当しない										
	空白:評価対象外										
	①評価数 (○)										
	②対象項目(〇、×)										
	③評価値(①/②)										
	④評定										

「記入方法」評価する項目に〇、評価しない項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする) (検査員) 評価 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 05 急傾斜地崩壊対策 3. 出来形及び 出来ばえ 工事・治山構造物工 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] 事・地すべり防止工 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 事(集水井工事を含 Ⅱ.品質 「評価対象項目」 品質関係の測定方法又は 品質関係の測定方法又は 【共通】 ①コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、品質(強度、w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ 測定値が不適切であった 測定値が不適切であった 骨材反応抑制等)が確認できる。 ため、検査員が修補指示 ため、監督員が文書で指 ②コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 示を行い改善された。 を行った。 ③圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 ④運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種及び養生方法が施工条件及び気象条件に適しており、定めら れた条件を満足していることが確認できる。 (暑中及び寒中コンクリートを含む) ⑤コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 ⑥地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。 ⑦鉄筋及び鋼材の品質が、証明書類で確認できる。 ⑧有害なクラックがない。 9その他 〔理由: 【治山構造物に適用】 ばらつきの評価 ⑩コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 ばらつきが50%以下 ⑪鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ばらつきが80%以下 ⑩施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 ばらつきが80%を超える ③アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ばらつきで判断不可能 ④ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 ⑤ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 16 その他 「理由: 【地すべり防止工事(抑止杭・集水井戸工事を含む)】 即アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ®ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。 -⑲ライナープレートと地山の隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。 ②集・排水ボーリング工の方向及び角度が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。 21その他 「理由: ):該当する ●判断基準 × · 該当しない ばらつきで判断可能 ばらつきで 空白:評価対象外 50%以下 80%以下 80%を超える 判断不可能 ①評価数(○) 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 90%以上 b ②対象項目(○、 2. 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評定する。 75%以上90%未満 a b b' 3. 評価値(%)=()評価値/()対象評価項目数 価 3)評価値(①/②) 60%以上75%未満 b b C C 4. なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は c 評価とする 値 60%未満 注 試験結果の打点数が少なくばらつきの判断ができない場合は評価 4)評定 ←ばらつき及び「d」「e」評価を加味した総合評定 対象項目(評価値)だけで判断する。

「記入方法」評価する項目に〇、評価しない項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする)

考查項目	工種	評価	a	a'	b	b'	С	d				
7 且 仅 口	工 1里	рТ- ТЩ	優れている	bより優れている。	やや優れている	c より優れている	他の評価に該当しない	劣っている				
3. 出来形及び	05 急傾斜地崩壊対策		「評価対象項目」				-					
出来ばえ	工事・治山構造物工		①コンクリート構造物の	表面状態が良い。		●判断基準						
	事・地すべり防止工		②コンクリート構造物の	通りが良い。		評価値が80%超 ・・・・・ a 評価値が65%超80%以下・・・・・ a 評価値が45%超85%以下・・・・・ b						
Ⅲ. 出来ばえ	事(集水井工事を含		③天端仕上げ、端部仕上	げ等が良い。								
	む)		④クラックがない。									
			⑤漏水がない。				評価値が25%超45%.	以下・・・・・ b'				
			⑥全体的な美観が良い。				評価値が10%超25%.	以下・・・・・・ c				
			⑦地山との取り合いが良	い。			評価値が10%以下・・・・・・ d					
			⑧施工管理記録などから	不可視部分の出来ばえの	良さが伺える。							
			⑨検査時の清掃がいきと	どいている。								
	○:該当する											
	×:該当しない		1									
	空白:評価対象外		1									
	①評価数 (○)		1									
	②対象項目(〇、×)		1									
	③評価値 (①/②)		1									
	④評定		1									
			1									

[記入方法] 評価する項目に○、評価しない項目に×を記入する (評価対象外の項目は空白とする)。

考 査 項 目	工 種		a	a'	b	b'	С	評価	d	評価	е	
3. 出来形及び	06 舗装工事	評価	品質関係の試験結果のは	らつきと評価対象項目の	覆行状況 (評価値) から	判断する。<判断基準参照	長>			i i		
出来ばえ		計加	[関連基準、土木工事施	[工管理基準、その他設計]	図書に定められた試験]							
			※ばらつきの判断は別紙	- 4 参照。								
Ⅱ. 品質			「評価対象項目」						•		•	
			【路床・路盤工関係】						品質関係の測定方法又は		品質関係の測定方法又は	
			①設計図書に定められた	測定値が不適切であった		測定値が不適切であった						
				ーフローリングを行ってい					ため、監督員が文書で指		ため、検査員が修補指示	
				管理が、設計図書の仕様		:認できる			示を行い改善された。		を行った。	
		-		が均一になるよう施工し								
						<u>。</u> :してから施工していること	しが確切できる	-				
						めて施工していることが確		_				
								_				
				1 垣物の解接固所や狭い固	<b>丌にわける締直のか、タ</b>	ンパ等の小型締固め機械に	こより他上していること					
			が確認できる。 <pre>8その他 [理由:</pre>									
				(用於) 【								
			【路床改良工(Fe石灰処									
				:げられているのが写真等		3		. 10 5	). = 37* hrs			
				の証明で材料が所定の量位	仕様されたことが確認で	'きる。		はらつ	つきの評価			
			⑪改良の深さや幅が施工						ばらつきが50%以下			
				十分に行われていること					ばらつきが80%以下			
				伝票による使用量の確認	ができる。				ばらつきが80%を超える			
			④その他 〔理由:						ばらつきで判断不可能			
			【アスファルト舗装工関	<b> 係</b> 】								
			⑮アスファルト混合物の	品質が、配合設計及び試験	験練りの結果又は事前審	査制度の証明書類により確	寉認できる。					
			⑥舗装工の施工にあたっ	て、上層路盤面の浮き石	などの有害物を除去して	いることが確認できる。						
			⑩プラント出荷時、現場	到着時、舗設時等におい	て、アスファルト混合物	の温度管理を記録している	ることが確認できる。					
			®舗設後の交通開放が、	定められた条件を満足して	ていることが確認できる	0						
			(19各層の継ぎ目の位置が	、設計図書に定められた	数値以上であることが確	- :認できる。						
						:様を満足していることが確 :	<b>在認できる</b> 。					
				運搬及び舗設にあたって、			E. P. C. C. O.					
				仕様を満足していること								
		-				·分確認でき、透水性が良好	4であることが試験結里					
			及び現地試験で確認でき		ク廻りな以巨かず兵へ「	力権的でき、透水圧が及外	1 にあることが 時級 相木					
		-			今け 野設郊との段差解	消に努め、交通に影響が出	Hかい上ら配慮している					
			ことが確認できる。	る前に 久地 併放 と口 ラ 物	日は、死民間とり校定所	16亿分少、人遗仁彩音》	ロなくよう記念してくる					
			25その他 〔理由:									
			【路面切削工】									
				を与えず丁寧に施工してい	W.Z.							
						適切に対応していることか	ぶ確認できる	1				
				CC   CC   CC   CC   CC   CC   CC   C		個別に刈心 していることり	てままらている。	1				
				に11われたことが子具寺」								
						コンファールが加速でもフ		_				
				て、粉じんの発生や飛散	ど抑制する対束を取つし	いることが唯認できる。						
			31その他 〔理由:		18 do 60 640 V							
				ターロッキング、平板、								
				れているのが写真等で確認								
				は所定の表面勾配が得られ	れている。							
			34施工目地が丁寧に仕上	:げられている。								
			35その他 〔理由:									
				べり止め舗装、樹脂系舗								
				有害物を除去し、乾燥状態				_				
			37使用材料の選定は適切であることが資料等で確認できる(樹脂系バインダ、骨材、トップコート、コンクリート塗布はプ									
			ライマー有り)。 38塗布量が空袋(缶)管理状況写真及び出荷伝票等で設計図書に定められた適正量を使用していることが確認できる。									
			38塗布量が空袋(缶)管	理状況写真及び出荷伝票	等で設計図書に定められ	た適正量を使用しているこ	ことが確認できる。					
			39舗装表面に、割れ、ふ	くれ、浮き、剥がれ、骨	材の粗面等がなく良好に	仕上げられている。						
			40その他 〔理由:									

(検査員)

「記入方法」評価する項目に〇、評価しない項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする) (検査員) 考 査 項 目 工 種 評価 b' d С а 【コンクリート舗装工関係】 41コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度、w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位 水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 42舗装工の施工に先立って、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。 43コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 44圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 45運搬時間、打設方法、養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、設計図書に定められた条件を満足していること が確認できる。 46材料が分離しないようコンクリートを敷き均していることが確認できる。 47チェアー及びタイバーを損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。 48その他 「理由: ○:該当する ×:該当しない ●判断基準 空白:評価対象外 ばらつきで判断可能 ばらつきで 50%以下 80%以下 80%を超える 判断不可能 ①評価数(○) ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は評価しない。 90%以上 a' b b 75%以上90%未満 ②対象項目(○、×) ② 対象としない項目を除いた評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評定する。 b b' a b 価 60%以上75%未満 b' ③評価値(①/②) ③ 評価値 ( %) =評価数 ( ) /評価対象項目数 ( ) b С С 値 60%未満 ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評定とする。 b 注 試験結果の打点数が少なくばらつきの判断ができない場合は評価

対象項目(評価値)だけで判断する。

「記入方法」評価する項目に〇、評価しない項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする)。

←ばらつき及び「d」「e」評価を加味した総合評定

④評定

考查項目	工種	評価	a	a'	b	b'	С	d						
与 狙 垻 日	上 俚	計"川川	優れている	bより優れている。	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	劣っている						
	06 舗装工事		「評価対象項目」											
出来ばえ			①舗装の平坦性が良い。				●判断基準							
			②構造物の通りが良い。				評価値が80%超	• • • • • • a						
			③端部処理が良い。				評価値が65%超80%	以下・・・・・・ a'						
			④構造物へのすりつけ等	が良い。			評価値が45%超65%	以下・・・・・・ b						
Ⅲ. 出来ばえ			⑤雨水処理が良い。				評価値が25%超45%	以下・・・・・ b'						
			⑥舗装表面にあばたやロ	ーラーマーク等がなく良	好に仕上げられている。		評価値が10%超25%	以下・・・・・・c						
			⑦マンホール蓋等がある	場合、すり合わせが良く	むらなく(凹凸なく)仕	上げられている。	評価値が10%以下・・・・・・ d							
			⑧全体的な美観が良い。											
			⑨検査時の清掃がいきと	どいている。										
	○:該当する						_							
	×:該当しない													
	空白:評価対象外													
	①評価数 (○)													
	②対象項目(○、×)													
	③評価値(①/②)													
	④評定													

老杏項日別運用表 別表 - 3 ① 「記入方法」評価する項目に○ 評価したい項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする) ( 給杏昌 ) 評価 評価 3. 出来形及び 07 法面工事 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、十木丁事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] 出来ばえ ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 Ⅱ.品質 「評価対象項目」 【共通】 品質関係の測定方法又は 品質関係の測定方法又は D施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 (特に法枠工、コンクリート又はモルタル吹付工関係) 測定値が不適切であった 測定値が不適切であった -②施工に際して、品質に害<u>となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる</u>。 ため、検査員が修補指示 ため、監督員が文書で指 ③盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起こらないよう締固めを十分行っていることが確認できる。 示を行い改善された。 を行った。 ④雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 【種子吹付工、客土吹付工、植生基材吹付工関係】 ⑥土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。 ⑦ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。 8)ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。 ⑨吹付け厚さが均等であることが確認できる。
⑩使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ⑪施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。 ①その他 「理由: 【コンクリート又はモルタル吹付工関係】 ③使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ④金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。 ⑤金網が破損を生じていないことが確認できる。 ⑯吸水性の吹付け面において、事前に給水させてから施工していることが確認できる。 ①吹付け厚さが均等であることが確認できる。 ®吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。 ⑬圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 ②不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 21法肩の吹付けに当たり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。 ばらつきの評価 【現場打法枠工関係(プレキャスト法枠工含む)】 ばらつきが50%以下 23使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ばらつきが80%以下 24アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。 ばらつきが80%を超える 25現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。 ばらつきで判断不可能 26強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 27枠内に空隙が無いことが確認できる。 28層間にはく離が無いことが確認できる。 29不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 ●判断基準 ):該当する ばらつきで判断可能 ばらつきで ×:該当しない 50%以下 80%以下 80%を超える 判断不可能 空白:評価対象外 90%以上 a' D評価数 (○) 75%以上90%未満 ♪ 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は評価しない。 b a' h h' ② 対象としない項目を除いた評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評定する。 ②対象項目 (○, ×) 60%以上75%未満 b b' 0 0 ③評価値(①/②) 評価値(%)=評価数()/評価対象項目数() 60%未満 b' ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評定とする。 注 試験結果の打点数が少なくばらつきの判断ができない場合は評価 対象項目(評価値)だけで判断する。 4)評定 ←ばらつき及び「d」「e」評価を加味した総合評定 「記入方法」評価する項目に○、評価しない項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする) 考查項目 T. 種 評価 bより優れている。 優れている やや優れている c より優れている 他の評価に該当しない 劣っている 3. 出来形及び 07 法面工事 「評価対象項目」 出来ばえ )通りが良い ●判断基準 ②植生、吹付等の状態が均一である。 評価値が80%超 ③端部処理が良い。 評価値が65%超80%以下・・・・・ a Ⅲ. 出来ばえ ④はく離やクラック等がない。 評価値が45%超65%以下・・・・・ b ⑤全体的な美観が良い。 評価値が25%超45%以下・・・・・ b' ⑥検査時の清掃がいきとどいている。 評価値が10%超25%以下・・・・・ c 評価値が10%以下・・・・・・ d ):該当する ×:該当しない

空白:評価対象外 ①評価数(○) ②対象項目(○、) ③評価値(①/②) **考査項目別運用表** する)。 (検査員)

	m 1.9.8日160, 日 m	レルリ	具目に×を記入する(評価対象外の項目は空日とする)。			Total C			(
考 査 項 目	工_種		a a' b b'		С	_ 評価	d	評価	e
	08 基礎工事及び地盤	評価	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況 (評価値) から判断する。 <判断	<b>F基準参照</b>	[[ ]				
出来ばえ	改良工事	H I III	[関連基準、土不工事施工官埋基準、その他設計図書に定められた試験]						
			《ばらつきの判断は別紙-4参照。				<u> </u>		
Ⅱ.品質							<b>-</b>		
			【杭関係(コンクリート・鋼管・鋼管井筒、場所打、深礎等)】				品質関係の測定方法又は		品質関係の測定方法又は
			が抗に損傷及び補修痕がないことが確認できる。				測定値が不適切であった		測定値が不適切であった
			)既製杭の打止め管理の方法及び場所打杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整	理してい	ることが確認できる。		ため、監督員が文書で指		ため、検査員が修補指示
			が杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。				示を行い改善された。		を行った。
			②水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。						
			節溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。						
			う支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。						
			り場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入して施工していることが	3確認でき	きる。				
			砂掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度及び以上	上重等が、	設計図書を満足してい	1			
			ることが確認できる。						
			配筋、スペーサーの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していること	が確認て	できる。				
			のライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認で	<b>ごきる。</b>					
			D裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。						
			②強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理している。	ることが確	<b>催認できる。</b>				
			③改良柱の深さや位置が施工状況写真及び施工記録等で確認できる。						
			0施工位置(座標等)が許容範囲内であることが確認できる。			ばら	つきの評価	Ì	
			うその他 「理由:				ばらつきが50%以下		
			【地盤改良関係】				ばらつきが80%以下		
			の改良材のバッチ管理記録が整理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。				ばらつきが80%を超える		
			ウセメントミルクの比重、スラリー噴出量、強度等の管理資料を整理していることが確認で	できる。			ばらつきで判断不可能		
			8事前に土質試験を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定等を行っていることが確認で				he a a c c light the	<u> </u>	
			9施工筒所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが		5 A	_			
			の名の他 「理由:	一年中心くこ	3.00				
1	○:該当する								
1	<u>ン: 豚コケン</u> ×:該当しない				●判断基準				
	空白:評価対象外						ばらつきで判断可	能	ばらつきで
	工口, IT III / 1   3 / 1						50%以下 80%以下 80%	を超える	判断不可能
	①評価数 (○)		) 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は評価しない。		1 90%以		a a'	b	b
	①対象項目(O、×)		) 対象としない項目を除いた評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評定する。		(無 75%以_			þ,	b'
	②対象項目 (○、^) ③評価値 (①/②)		の対象としない項目を除いた計画項目数を存数として、比率(%)計算の値で許足する。 の評価値(%)=評価数()/評価対象項目数()		(60%以)			С	C
	<b>9.11世 (4.46)</b>	_	の 計画値 ( %) 一計画数 ( ) / 計画対象項目数 ( ) / ) おお、評価対象項目数が 2 項目以下の場合は c 評定とする。		世 60%未済 注 試験結果		b'	C できたけい	C +B △ I + ≅⊽ /Œ
			ジ なわ、計画対象項目数か 4項目以下の場合は C 計正とする。				R数が少なくほりつきの判断が、 だけで判断する。	19.91	物合は計画
	④評定		ばとっとTity 「」」「」。 証何と hort と W A 証 ウ		/対象・担日(計	一回に	CI) C 十四月 9 る。	1	
	<b>坐</b> 并 上		-ばらつき及び「d」「e」評価を加味した総合評定						

[記入方法] 評価する項目に〇、評価しない項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする)。

考查項目	工種	評価	a	a'	b	b'	С	d
与 狂 垻 日	上 作	計"川川	優れている	bより優れている。	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び	08 基礎工事及び地盤		「評価対象項目」		•			
出来ばえ	改良工事		①土工関係の仕上げが良	い。			●判断基準	
			②通りが良い。				評価値が80%超	• • • • • a
Ⅲ. 出来ばえ			③端部及び天端の仕上げ	が良い。				以下・・・・・・ a'
			④はく離やクラック等が	ない。				以下・・・・・ b
			⑤施工管理記録などから	不可視部分の出来ばえの	良さが伺える。		評価値が25%超45%	以下・・・・・ b'
			地盤改良工事である(※地				評価値が10%超25%	以下・・・・・・c
								· · · · · · · d
	○:該当する							
	×:該当しない							
	空白:評価対象外							
	①評価数(○)							
	②対象項目(〇、×)							
	③評価値(①/②)							
	④評定							

[記人万法」評	価する項目に∪、評価	しなし	N項目に×を記入する(評価対象外の項目は空日とする)。					( 検査員 )
考 査 項 目	工 種		a a' b b' c	評価	d		評価	е
3. 出来形及び 出来ばえ	09 海岸工事	評価	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況 (評価値) から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。					
Ⅱ. 品質			「評価対象項目」		_1	-		
			<ul><li>①コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</li></ul>	0	品質関係の測定 測定値が不適切	であった	測知	質関係の測定方法又は 定値が不適切であった
			②運搬、打設、締め固めが、気象条件に適しており、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。		ため、監督員が			め、検査員が修補指示
			③圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。		示を行い改善さ	れた。	조1	行った。
			④コンクリートブロックの転置及び仮置にあたって、強度確認を行っている。					
			⑤転倒や崩壊等が無いようコンクリートブロックの仮置を行っていることが確認できる。	. 10 %	No. of the State o			
			⑥捨石基礎の均し面を平坦に仕上げていることが確認できる。 ②工事期間中、1月1月日は親佐知測な実施して記録していることが確認できる。	はら	つきの評価 Turk o たぶFowl	VI -		
			⑦工事期間中、1日1回は潮位観測を実施して記録していることが確認できる。 ③台風などの異常気象に備えて施工前に避難場所の確保及び退避設備の対策を講じていることが確認できる。		ばらつきが50%」 ばらつきが80%」			
			②日風などの英市以家に囲んで旭上的に避無物所の確保及の返避故圃の対象を時じていることが確認できる。 ③その他 「理由:		ばらつきが80%			
			© CVIE (AEM.		ばらつきで判断			
			1		10000000	1 1100		
	<ul><li>○:該当する</li></ul>		- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
	×:該当しない		●判断基:	準	1#2-	きで判断可能	2 1	ばらつきで
	空白:評価対象外				50%以下 80			
			an 90%J	以上	а а	10	b	b
	①評価数 (○)			以上90%未		-	b'	b'
	②対象項目(〇、×)		② 対象としない項目を除いた評価項目数をは数として、比率 (%) 計算の値で評定する。	<u>以上75%未</u> ****	:満 b		С	C
	③評価値 (①/②)		③ 評価値 ( %) =評価数 ( ) /評価対象項目数 ( ) 注 計論		<u> </u>		C きたし、担ろ	C >1+≣亚儒
					だけで判断する。	3 47 445) M. C.	C. O. V. 1. App C	1.0 OT IM
	<ul><li>④評定</li></ul>		ー ←ばらつき及び「d」「e」評価を加味した総合評定					
	世計化		ではりつき及い「4」「6」計画を加外した総百計だ					

[記入方法] 評価する項目に〇、評価しない項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする)

考查項目	工種	評価	a	a'	b	b'	С	d
与鱼领日	上、性	計"川川	優れている	bより優れている。	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	劣っている
	09 海岸工事		「評価対象項目」					
出来ばえ			①コンクリート構造物の	表面状態が良い。			●判断基準	
			②コンクリート構造物の	通りが良い。			評価値が80%超	· · · · · · a
Ⅲ. 出来ばえ			③天端仕上げ、端部仕上	げ等が良い。			評価値が65%超80%	以下・・・・・・ a'
			④クラックがない。				評価値が45%超65%	以下・・・・・b
			⑤漏水がない。				評価値が25%超45%	以下・・・・・ b'
			⑥全体的な美観が良い。				評価値が10%超25%	以下・・・・・ c
			⑦検査時の清掃がいきと	どいている。			評価値が10%以下・	• • • • • • d
	○:該当する							
	×:該当しない							
	空白:評価対象外							
	①評価数 (○)							
	②対象項目(○、×)							
	③評価値 (①/②)							
	<ul><li>④評定</li></ul>							

[記入方法] 評価する項目に〇、評価しない項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする)。 (検査員)

記入方法」計	4価する項目に○、評価	しなり	N項目に×を記入する(評価タ	引家外の項目は全日と	うる)。							( 検査員 )
考 査 項 目	工 種		a	a'	b	b'	С	評	価 d		評価	е
	10 コンクリート橋上	<b>⋾</b> 7.43	品質関係の試験結果のばら	つきと評価対象項目の	履行状況(評価値)から	5判断する。<判断基準	<b></b>					
	部工事(PC及びR	рТПЩ	▋ᡶ関理基準、土不丄事施丄管	宮埋基準、その他設計	・図書に定められた試験]							
	Cを対象)		※ばらつきの判断は別紙-4	1 参照。								
Ⅱ.品質			「評価対象項目」									
			①コンクリートの配合試験及		「おり、コンクリートの占	品質(強度、w/c、最大骨	材粒径、塩化物総	量、単位	品質関係の測定方			質関係の測定方法又は
			水量、アルカリ骨材反応抑制						測定値が不適切で			定値が不適切であった
			②コンクリート受け入れ時に				が確認できる。		ため、監督員が文			め、検査員が修補指示
			③圧縮強度試験に使用したこ						示を行い改善され	た。	を	行った。
			④施工条件や気象条件に適し	」た運搬時間、打設時	Fの投入高さ及び締固め力	方法が、定められた条件を	を満足していること	とが確認				
			できる(寒中及び暑中コンク									
			⑤コンクリートの圧縮強度を			5保工の取り外しを行って	いることが確認で	きる。				
			⑥鉄筋及びPC鋼材の品質な	1 10-71-77 - 77-70-								
			⑦鉄筋の引張強度及び曲げ張	魚度の試験値が、設計	・図書の仕様を満足してレ	いることが確認できる。		ばり	らつきの評価			
			⑧コンクリート打設までにる	さび、どろ、油等の有	「害物が鉄筋に付着しない	いよう管理していることだ	が確認できる。		ばらつきが50%以丁	₹		
			⑨圧接作業にあたり、作業員	員の技量確認を行って	いることが確認できる。				ばらつきが80%以丁	₹		
			⑩鉄筋の組立及び加工が、記	公計図書の仕様を満足	していることが確認でき	きる。			ばらつきが80%を起	呈える		
			⑪コンクリートの養生が、記	设計図書の仕様を満足 ではまる。	していることが確認でき	きる。			ばらつきで判断不	可能		
			⑫スペーサーの品質及び個数	数が、設計図書に定め	られた条件を満足してレ	いることが確認できる。						
			③プレビーム桁のプレフリク	ウション管理が、設計	・図書の仕様を満足してレ	いることが確認できる。						
			④使用する装置及び機器の3	<b>キャリブレーションを</b>	事前に実施していること	が確認できる。						
			⑤PC鋼材の緊張力及びグラ	ラウト品質管理値が、	設計図書の仕様を満足し	していることが確認できる	5.					
			⑥プレストレッシング時のこ									
			(アロンクリート圧縮強度の確認)	在認は、構造物と同様	な養生条件におかれた側	共試体を用いていることだ	が確認できる。					
			®有害なクラックがない。				7-7					
			③その他 「理由:									
			<u> </u>									
	○:該当する		1									
	×:該当しない						•	判断基準				
	空白:評価対象外		1							で判断可		ばらつきで
	①評価数 (○)		① 当該「評価対象項目」の	うち 対象レーかい	百日け延備し かい			o ow ly L	50%以下 80%		<u>%を超える</u>	
	②対象項目(〇、×)		<ul><li>① 対象としない項目を除い</li></ul>			の値で証定する		評 90%以上 75%以上90		a' b	b b'	b b'
	②			数()/評価対象		*/ILCITAE ) 'Jo		GOVINI LZE		o'	C	C
	③計Ⅲ旭 (U/G)		0 10 110 110 1 10 10 10 10					値 60%未満	175.00	6	G	6
			④ なお、評価対象項目数が	<u> 4 垻日以下の場合は</u>	C 計化とする。		<b>-</b>		打点数が少なくばらつき			
	() =# c+		) 12 A = 3. T 48 [ 1	=== /m + +==+ 1 + ^^ ^=	::: <del></del>		茅	対象項目(評価	値)だけで判断する。			
	④評定		←ばらつき及び「d」「e」	評価を加味した総合	<b>泮</b> 正							

[記入方法] 評価する項目に〇、評価しない項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする)

考查項目	工種	評価	a	a'	b	b'	c	d
7 且 仅 口	上 1里	рт ІЩ	優れている	bより優れている。	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	劣っている
	10 コンクリート橋上		「評価対象項目」					
出来ばえ	部工事(PC及びR		①コンクリート構造物の	表面状態が良い。			●判断基準	
	Cを対象)		②コンクリート構造物の	通りが良い。			評価値が80%超	• • • • • • a
Ⅲ. 出来ばえ			③天端及び端部の仕上げ	が良い。			評価値が65%超80%以	以下・・・・・・ a'
			④支承部の仕上げが良い	0			評価値が45%超65%以	以下・・・・・・ b
			⑤クラックがない。				評価値が25%超45%以	以下・・・・・・ b'
			⑥全体的な美観が良い。				評価値が10%超25%以	以下・・・・・・ c
			⑦検査時の清掃がいきと	どいている。			評価値が10%以下・	· · · · · · · · d
	○:該当する							
	×:該当しない							
	空白:評価対象外							
	①評価数 (○)							
	②対象項目(○、×)							
	③評価値(①/②)							
	④評定							

( 松木昌 )

記入方法」評	?価する頃目に○、評価	しない	項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする)。					( 検査員 )
考 査 項 目 3. 出来形及び 出来ばえ	工 種 11 塗装工事(工場塗 装を除く)	評価	a a' b b' B' B' B' B' B' B' B' B' B' B' B' B' B'	С	評価	d fi	評価	е
Ⅱ. 品質			※ばらつきの判断は別紙-4参照。 「評価対象項目」 ①塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 ②ケレンを入念に実施していることが確認できる。 ③天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。 ④塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。 ⑤鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。 ⑥塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。			□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督員が文書で指 示を行い改善された。	測 た	品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった とめ、検査員が修補指示 シ行った。
	 ○:該当する		①塗り残し、ながれ、しわ等がなく塗装されていることが確認できる。 ⑥溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。 ⑥塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 ⑩その他 〔理由:		ばら	つきの評価 ばらつきが50%以下 ばらつきが80%以下 ばらつきが80%を超える ばらつきで判断不可能		
	×:該当しない 空白:評価対象外 ①評価数(○) ②対象項目(○、×) ③評価値(①/②)		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は評価しない。 ② 対象としない項目を除いた評価項目数を母数として、比率 (%) 計算の値で評定する。 ③ 評価値 ( %) =評価数 ( ) /評価対象項目数 ( ) ④ なお、評価対象項目数が 2 項目以下の場合は c 評定とする。	評価値	新基準 90%以上 75%以上90%: 60%以上75%: 60%未満 #職経業界の打		(を <u>超</u> える b b' c	с р,
	<b>④</b> 評定		←ばらつき及び「d」「e」評価を加味した総合評定			無数が ションにも シンピック 中間が )だけで判断する。		20 C 1 C 1 I IIII

[記入方法] 評価する項目に○、評価しない項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする)。

考查項目	工種	評価	a	a'	b	b'	С	d
与且项目	上 性	<del>БТ-</del> /ІЩ	優れている	bより優れている。	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	劣っている
	11 塗装工事(工場塗		「評価対象項目」					
出来ばえ	装を除く)		<ul><li>①塗装の均一性が良い。</li></ul>				●判断基準	
			②細部まできめ細かな施	工がされている。			評価値が80%超	• • • • • • a
Ⅲ. 出来ばえ			③補修箇所が無い。				評価値が65%超80%	以下・・・・・・ a'
			④ケレンの施工状況が良	好である。			評価値が45%超65%	以下・・・・・ b
			⑤全体的な美観が良い。				評価値が25%超45%	以下・・・・・ b'
			⑥検査時の清掃がいきと	どいている。				以下・・・・・・c
							評価値が10%以下・	• • • • • • d
	○:該当する							
	×:該当しない							
	空白:評価対象外							
	①評価数 (○)							
	②対象項目(○、×)							
	③評価値 (①/②)							
	④評定							

( 桧本昌 )

記人万法」評	∵価する項目に○、評価	しなり	・項目に×を記入する(評価対象外の項目は空日とする)。								( 検査貝 )
考 査 項 目	工 種		a a' b b' c			評価		d	評価	価	е
3. 出来形及び	12 植栽工事	評価	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照>								
出来ばえ		10.1	[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]								
** H 66			※ばらつきの判断は別紙-4参照。								
Ⅱ.品質			「評価対象項目」								
			①活着が促されるよう管理していることが確認できる。				質関係の				関係の測定方法又は
			②土壌試験(PH)を実施していることが確認できる。				定値が不記				値が不適切であった
			③樹木等に損傷やはちくずれ等がないよう保護養生を適切に行っていることが確認できる。				め、監督員				、検査員が修補指示
			④樹木等の生育に害のある害虫等がいないことが確認できる。			亦	を行い改き	善された,	)	を行	った。
			⑤余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。								
			⑥肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。			ばらつき	の評価				
			⑦植生する樹木に応じて、植穴、埋戻しが適正であることが確認できる。			ば	<b>ごらつきが</b> 5	50%以下			
			⑧添木をぐらつきがないよう設置している。			ば	らつきが8	80%以下			
			⑨高木植栽において支柱が堅固に取り付けられている。			ば	らつきが8	80%を超え	: る		
			⑩樹名板を視認しやすい場所に据え付けている。			ば	(らつきで)	削断不可	能		
			①その他 〔理由:								
	<ul><li>○:該当する</li></ul>										
	×:該当しない		<b>●</b> ‡	判断	基準						
	空白:評価対象外							らつきで半			らつきで
							50%以下	80%以下	80%を超	える判	断不可能
	①評価数 (○)		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は評価しない。		0%以上		а	a'	b		b
	②対象項目(〇、×)		② 対象としない項目を除いた評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評定する。	ii 75		90%未満		b	b'		p,
	③評価値 (①/②)		③ 評価値 ( %) =評価数 ( ) /評価対象項目数 ( ) 値		0%以上 0%未満	75%未満	b	b	С		<u> </u>
	0		④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評定とする。				」 <u>り</u> が少なくばら		C  断ができた	a vterei	C + i亚 (本
							からはてはた		ININ: COG	o. v. ¹-∜on 🗀 l	о пт тш
	<ul><li>④評定</li></ul>		←ばらつき及び「d」「e」評価を加味した総合評定	-94-7A		m ie/ /ci/	C 11-/19 W	0			
	Jc		2 2 2 1 m = 2 2 2 1 m = 2 2 2 2 1 m = 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2								
		•									

[記入方法] 評価する項目に〇、評価しない項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする)

考查項目	工種	評価	a	a'	b	b'	С	d
与且项目	上、性	計刊Щ	優れている	bより優れている。	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	劣っている
	12 植栽工事		「評価対象項目」		•			
出来ばえ			①樹木の活着状況が良い	0			●判断基準	
			②支柱の取り付けがきめ	細かく施工されている。			評価値が80%超	a
Ⅲ. 出来ばえ			③支柱の取り付けが堅固	である。			評価値が65%超80%	以下・・・・・・ a'
			④芝工、グラウンドカバ	ーの仕上げがよい。			評価値が45%超65%	以下・・・・・ b
			⑤全体的な美観が良い。				評価値が25%超45%	以下・・・・・ b'
			⑥検査時の清掃がいきと	どいている。				以下・・・・・・ c
							評価値が10%以下・	• • • • • • d
	○:該当する							
	×:該当しない							
	空白:評価対象外							
	①評価数 (○)							
	②対象項目(○、×)							
	③評価値(①/②)							
	④評定							

**連用衣** (検査員)

考 杳 項 目	T. 種		現日に<を記入りる(計	a'	h	h'	С	評価	d	評価	e e
	13 公園施設工事	=₩/III	品質関係の試験結果のは	でいきと評価対象項目の	履行状況(評価値)から	)判断する。<判断基準参照	[[ ]	F. 1 11-11	- u		
出来ばえ		計川川		11上官埋基準、その他設計	図書に定められた試験]						
т пее			※ばらつきの判断は別組	H-4参照。							
Ⅱ.品質			「評価対象項目」						1		
				棚・照明・Con製品等据付					品質関係の測定方法又は	品	質関係の測定方法又は
				なり付けが適正であること					測定値が不適切であった		定値が不適切であった
				で、膜厚が均等であるこ					ため、監督員が文書で指		め、検査員が修補指示
			0 111 - 111 1 - 1111 1	りつけが適切に行われて	いる。				示を行い改善された。	を行	行った。
			④遊戯施設の安全性が十	-分催認でさる。 Ы、騒音がなく、動きもス	). ずる終入的お機能は	シ原わ ブレッス		7ギ と /	っその部位	╡	
			⑤ 遊 風 旭 設 は 異 吊 な 振 男 ⑥ 建 具 の 取 り 付 け 、 作 重		ムースで総合的な機能が	*俊和しいる。		はり、	oきの評価 ばらつきが50%以下		
				Jか良い。 。等が入念に施工されてい	スァレが加切できる				はらつさか50%以下 ばらつきが80%以下		
			®その他 「理由:	守が八心に旭上されてい	ることが惟恥てきる。				ばらつきが80%を超える		
			【排水施設工事】						ばらつきで判断不可能		
				こ下がないことが確認でき	X				はりつきて刊例不り比	4	
			⑩連結部(管口)の目地		.00						
				が良く、また滞水もない	_						
				#造物周辺に沈下がみられ	0						
			(3)その他 〔理由:	7.C [A7.7.C.   DE   17.7. ]	00						
			【コンクリート構造物コ	事】							
			(4)コンクリート供試体が	当該現場の供試体である	ことが確認できる。						
			⑤コンクリート強度が通	重正に管理されていること	が確認できる。						
				間、打設高さ及び養生が		ことが確認できる。					
			⑰スペーサーの材質が通	証正であり、適切な配置で	鉄筋のかぶりを確保して	ていることが確認できる。					
			⑧その他 〔理由:								
	○:該当する										
	×:該当しない						\$100 months and the second			l	
	空白:評価対象外						●判断基	基準			
									ばらつきで判断		ばらつきで
	①評価数 (○)			」のうち、対象としない項		tti mediti kina		w Is I I	50%以下 80%以下	80%を超える	
	②対象項目(○、×)			除いた評価項目数を母数と		の値で評定する。		<u>%以上</u>	a a'	b	b
	③評価値 (①/②)			評価数 ( ) /評価対象			100 60	<u>%以上90%未</u> %以上75%未		p,	b'
			<ul><li>(4) なお、評価対象項目</li></ul>	数が2項目以下の場合はの	: 評正とする。			<u>M以上/5%才</u> X未満	R満 b b′ b′ b′ b′ c	C	C
	<b>○</b> ≉⇔	<b> </b>	123 - 3 T 48 F 1	「 . ===/n= → +n=n+ 1 → ^^ ^ =	Ti						場合は評価
	④評定		←はらつき及び 「d」	「e」評価を加味した総合語	<b>ド</b> 正				だけで判断する。	10 CC 01	
							[6187-H]		-12 5 17-71 2 00 0	1	

考查項目	工種	評価	a	a'	ь	b'	С	d						
与且项目	上、性	百十-71111	優れている	bより優れている。	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	劣っている						
	13 公園施設工事		「評価対象項目」											
出来ばえ			①構造物の肌、通り、収ま	り等仕上げの状態が良い。			●判断基準							
			②舗装の平坦性が良い。				評価値が80%超	• • • • • • a						
Ⅲ. 出来ばえ			③遊具等の作動が安全で	かつ良好に作動する。			評価値が65%超80%以下・・・・・ a'							
			④維持管理等の配慮が良	い。			評価値が45%超65%以下・・・・・ b							
			⑤全体的な修景が良い。				評価値が25%超45%	以下・・・・・・ b'						
			⑥検査時の清掃がいきと	どいている。				以下・・・・・・ c						
							評価値が10%以下・	• • • • • • • d						
	○:該当する													
	×:該当しない													
	空白:評価対象外													
	①評価数 (○)													
	②対象項目(○、×)													
	③評価値(①/②)													
	<ul><li>④評定</li></ul>													

[記人万法] 評	価する項目に○、評価	しない	項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする)。						( 検査員 )
考 査 項 目	工 種			2	評価	Ċ		評価	е
	14 防護柵(網)工事	評価	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照>						
出来ばえ		H I IIII	[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]						
Ⅱ. 品質			※ばらつきの判断は別紙-4参照。						
11. 印貝			「評価対象項目」			1 H 55 HB # ~ No	<del></del>		SCHEE A WICH LAND
			①防護柵設置要綱等の規定を満足していることが確認できる。			■品質関係の測測定値が不適			」質関係の測定方法又は  定値が不適切であった
			②防護柵等の床掘りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。			側を他が不適 ため、監督員			上他の不適切であるため、検査員が修補指示
			③防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。			示を行い改善			· 行った。
			④防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響がないよう施工していることが確認できる。			71.5 II 4 6V E	C 407Co		11 > 100
			⑤基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。						
			⑥防護柵の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。						
			⑦ガードケーブルを支柱に取り付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えていることが確認できる。	an - 2 w	0.12.5	- 2 A 37 /m		=	
			⑧ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認	認できる	)。 はり	つきの評価	0/ DI ==		
			⑨使用する材料が、設計図書の仕様を満足している。			ばらつきが50			
			⑩その他 〔理由:			ばらつきが80			
						ばらつきが80			
						ばらつきで判	<u> </u>	4	
l l	O =+W.+-7								
	<ul><li>○:該当する</li></ul>			formanion and an area					
	×:該当しない			●判断:	基準				1.72
	空白:評価対象外						うつきで判断		ばらつきで    判断不可能
<u> </u>	T=#/m*4- (○)		(A) Was [Stirle Levil 1	000	%以上	5U%JZ, r	a, 90%17 L 9	UWで <u>Fio</u> える	中町 小町 前6
	①評価数 (O)		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は評価しない。	ā# 75	<u>が以上</u> 90%さ		h	p,	p,
	②対象項目(○、×)		② 対象としない項目を除いた評価項目数を母数として、比率 (%) 計算の値で評定する。	100	%以上75%5		h,	6	C
	③評価値 (①/②)		③ 評価値( %)=評価数( )/評価対象項目数( )		%未満	p,	c	G	C
					,	点数が少なくばら		ができないま	場合は評価
	0.51.ch		15 - 2 17 c8 [ 1 . [ . 35 (17 2 to 18 1 ) 2 60 A 35 C5	対象項	目(評価値)	)だけで判断する	•		
	④評定		←ばらつき及び「d」「e」評価を加味した総合評定						

考查項目	工種	評価	a	a'	ь	b'	С	d					
5 11 項 日	上 俚	Б1-1μц	優れている	bより優れている。	やや優れている	c より優れている	他の評価に該当しない	劣っている					
	14 防護柵(網)工事		「評価対象項目」										
出来ばえ			①通りが良い。				●判断基準						
			②端部処理が良い。				評価値が80%超	• • • • • a					
Ⅲ. 出来ばえ			③部材表面に傷及び錆が	ない。			評価値が65%超80%以下・・・・・ a'						
			④既設構造物等とのすり	つけが良い。			評価値が45%超65%以下・・・・・ b						
			⑤きめ細やかに施工され	ている。			評価値が25%超45%	以下・・・・・ b'					
			⑥全体的な美観が良い。				評価値が10%超25%	以下・・・・・ c					
			⑦検査時の清掃がいきと	どいている。			評価値が10%以下・・・・・・・ d						
	<ul><li>○:該当する</li></ul>												
	×:該当しない												
	空白:評価対象外												
	①評価数 (○)												
	②対象項目(○、×)												
	③評価値(①/②)												
	<ul><li>④評定</li></ul>												

「記入方法」評価する項目に○、評価しない項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする) (検査員) 評価 評価 考 査 項 目 工種 d С 3. 出来形及び 15 標識工事 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 出来ばえ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 Ⅱ.品質 「評価対象項目」 ①視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。 品質関係の測定方法又は 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ②床掘りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。 測定値が不適切であった ため、監督員が文書で指 ため、検査員が修補指示 ③基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。 示を行い改善された。 を行った。 ④支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響がないよう施工していることが確認できる。 ⑤基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。 ⑥使用する材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ⑦その他 〔理由: ばらつきの評価 ばらつきが50%以下 ばらつきが80%以下 ばらつきが80%を超える ばらつきで判断不可能 ○:該当する × : 該当しない ●判断基準 空白:評価対象外 ばらつきで判断可能 ばらつきで 50%以下 80%以下 80%を超える 判断不可能 ①評価数(○) ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は評価しない。 90%以上 a' b ②対象項目(○、×) ② 対象としない項目を除いた評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評定する。 75%以上90%未満 b b′ a' b ③評価値 (①/②) ③ 評価値( %)=評価数( )/評価対象項目数( ) 価 60%以上75%未満 b b C C ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評定とする。 値 60%未満 b

注 試験結果の打点数が少なくばらつきの判断ができない場合は評価

対象項目(評価値)だけで判断する。

[記入方法] 評価する項目に〇、評価しない項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする)。

←ばらつき及び「d」「e」評価を加味した総合評定

4)評定

考查項目	工種	評価	a	a'	b	b'	С	d					
与重项日	上 俚	計"川川	優れている	bより優れている。	やや優れている	c より優れている	他の評価に該当しない	劣っている					
3. 出来形及び	15 標識工事		「評価対象項目」										
出来ばえ			①設置位置に配慮がある	0			●判断基準						
			②標識板の向き及び角度	並びにその支柱の通りが	良い。		評価値が80%超 ・・・・・ a						
Ⅲ. 出来ばえ			③標識板の支柱に変色が	ない。			評価値が65%超80%以下・・・・・ a'						
			④支柱基礎が入念に埋め	戻されている。			評価値が45%超65%	以下・・・・・b					
			⑤全体的な美観が良い。				評価値が25%超45%	以下・・・・・ b'					
			⑥検査時の清掃がいきと	どいている。			評価値が10%超25%以下・・・・・ c						
							評価値が10%以下・	· · · · · · · d					
	<ul><li>○:該当する</li></ul>												
	×:該当しない												
	空白:評価対象外												
	①評価数 (○)												
	②対象項目(○、×)												
	③評価値(①/②)												
	<ul><li>④評定</li></ul>												

考查項目別運用表

別衣一 3 側	<b>年上2項目は○ 著</b> 年	与 <b>运快中</b> 加速用水						/ <u>t</u> \_ <del>+</del> =	
考 査 項 目	<u>価する項目に○、評価</u> 工 種 16 区画線設置工事	ない項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする)。	認でき	品測た示 ではばばばばばばばばばばばばばばばばばばばばばばばばばばばばばばばばばばばば	d 関係の測定方 直が不適切で文 監督員が文 い改善され P価 つきが80%以 つきが80%と つきが80%を で判断不	があった 書で た。 下 下 昭 え る	測定ため	(検査員) e	
	<ul><li>○:該当する</li><li>×:該当しない</li><li>空白:評価対象外</li><li>①評価数(○)</li><li>②対象項目(○、×)</li><li>③評価値(①/②)</li><li>④評定</li></ul>	① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は評価しない。 ② 対象としない項目を除いた評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評定する。 ③ 評価値(%)=評価数()/評価対象項目数() ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評定とする。	到断基準 90%以上 75%以上90 60%以上75 60%未満 E 試験結果の 対象項目(評価の	%未満 %未満 打点数が	50%以下 80 a a' b b' 少なくばらつる	a' b b'	80%を超える b b' c c	ばらつきで   判断不可能   b   b   c   c   c   場合は評価	

考查項目	工種	評価	a	a'	b	b'	С	d					
与鱼坝日	上 性	計刊Щ	優れている	bより優れている。	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	劣っている					
3. 出来形及び	16 区画線設置工事		「評価対象項目」										
出来ばえ			①塗料の塗布が均一であ	る。			●判断基準						
			②視認性が良い。				評価値が80%超	• • • • • • a					
Ⅲ. 出来ばえ			③接着状態が良い。				評価値が65%超80%以下・・・・・ a'						
			④施工前の清掃が入念に	実施されている。			評価値が45%超65%	以下・・・・・ b					
			⑤全体的な美観が良い。				評価値が25%超45%	以下・・・・・ b'					
			⑥検査時の清掃がいきと	どいている。			評価値が10%超25%	以下・・・・・・ c					
								d					
	○:該当する												
	×:該当しない		1										
	空白:評価対象外		1										
	①評価数 (○)												
	②対象項目(○、×)												
	③評価値 (①/②)												
	④評定		1										

別表 - 3 (21) **考査項目別運用表** 「記入方法」評価する項目に〇、評価しない項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする)

	評価する項目に○、評価	しない	)項目に×を記入する (評	価対象外の項目は空白る	とする)。							( 検査員 )
考 査 項 目	工種		a	a'	b	b'	С	評価	Б	d	評価	е
	17 電線共同溝工事	1			の履行状況(評価値)から	判断する。<判断基準参	:照>					
出来ばえ		н і Іші			十図書に定められた試験]							
TT DEF			※ばらつきの判断は別組	t-4 参照。								
Ⅱ.品質			「評価対象項目」							a		a comment of the state of the s
			①指定材料の規格が、品						品質関係の温			品質関係の測定方法又は
					全箇所が導通していること				測定値が不過			別定値が不適切であった
			③プラント出荷時、現場	到着時、舗設時等におり	いて、アスファルト混合物	の温度管理を記録してい	ることが確認でき	る。	ため、監督員			め、検査員が修補指示
			④特殊部の施工基面の支	持力が、均等となるよ	うにかつ不陸がないように	仕上げていることが確認	!できる。		示を行い改訂	与された。	2	行った。
			⑤特殊部等の施工におい	て、隣接する各ブロック	に目違いによる段差及び蛇	行等がないよう敷設してレ	いることが確認でき	る。				
			⑥埋戻しにおいて、設計	・図書の仕様を満足してい	いることが確認できる。			ばら	っつきの評価			
			⑦舗装の復旧等が適時行	われ、路面の沈下や不同	<b>並がなく平坦性を確保して</b>	いることが確認できる。			ばらつきが5	60%以下		
			⑧管枕及び埋設シートの	)設置及び土被りが、設調	†図書の仕様を満足してい	ることが確認できる。			ばらつきが8	80%以下		
			⑨管設置において、それ	ぞれの管の最小曲げ半行	圣を満足していることが確	認できる。			ばらつきが8	80%を超える	る	
			⑩その他 〔理由:						ばらつきで	判断不可能	i i	
	0 3404 ) 4											
	<ul><li>○:該当する</li></ul>						\$100,000				_ L	
	×:該当しない	<b>—</b>					<u>● 3</u>	判断基準			100-5	1.75
	空白:評価対象外									ようつきで判して		ばらつきで
	0 37 MW (0)		C year Far brill to all to	- > 11/2 ) ) )	er man for her and		_	90%以上	50%12.1	- 80%DL	80%を超える	判断个可能
	①評価数 (〇)		<ol> <li>当該「評価対象項目」</li> </ol>			- Ada - 200 da 3 au	評	75%以上90%	* <del>*</del>	h	- B	b'
	②対象項目(〇、×)				として、比率 (%) 計算の	り値で評定する。	1 1 1 1 1 1	60%以上75%		h'	C	C
	③評価値 (①/②)			評価数 ( ) /評価対			10	60%未満	p,	c	С	C
			<ul><li>④ なお、評価対象項目</li></ul>	数が2項目以下の場合は	c評定とする。		注		「点数が少なくば	らつきの判	断ができない:	場合は評価
	074	ļ	, **	= == t== 1 (n A	5		対論	象項目(評価値	i)だけで判断する	5.		
	④評定		←ばらつき及び「d」 「	e」評価を加味した総合	評定							

考查項目	工種	評価	a	a'	b	b'	С	d
与且项目	上、性	計"川川	優れている	bより優れている。	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	劣っている
	17 電線共同溝工事		「評価対象項目」					
出来ばえ			①歩道及び車道の舗装(含	、仮復旧舗装) の勾配が適	<b>値切で、有害な段差がなく</b> 平	坦性が確保されている。	●判断基準	
			②プレキャストコンクリ	ートブロックの蓋に、が	たつきや不要な隙間が生し	じていない。	評価値が80%超	• • • • • • a
Ⅲ. 出来ばえ			③施工管理記録などから	、不可視部分の出来ばえ	の良さが伺える。		評価値が65%超80%	以下・・・・・・ a'
			④全体的な美観が良い。				評価値が45%超65%	以下・・・・・・ b
			⑤検査時の清掃がいきと	どいている。			評価値が25%超45%	以下・・・・・・ b'
							評価値が10%超25%	以下・・・・・・ c
							評価値が10%以下・	· · · · · · · · d
	○:該当する							
	×:該当しない							
	空白:評価対象外							
	①評価数 (○)							
	②対象項目(○、×)							
	③評価値 (①/②)							
	<ul><li>④評定</li></ul>							

別表 - 3 (22) **考査項目別運用表** [記入方法] 評価する項目に○、評価しない項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする)。

[記入方法]言	評価する項目に○、評価	iしない	項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする)。							( 柞	検査員 )
考 査 項 目	工種		a a' b b'	С		評価	d		評価	e	
3. 出来形及び 出来ばえ	18 除草工(伐木含 む)	評価	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況 (評価値) から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。								
Ⅱ.品質			「評価対象項目」								
			①作業員の配置等、安全な状態で施工していることが写真等で確認できる。			品信	質関係の測	定方法又能	i E	品質関係の測定プ	方法又は
			②巨木の場合、枝落とし・小切り・除根など各段階の施工が写真で十分確認できる。				定値が不適			側定値が不適切で	であった
			③除根後の凹部を同等の材料で補修していることが写真等で確認できる。				め、監督員			こめ、検査員が値	修補指示
			④集草を適切に実施していることが写真で確認できる。			示	を行い改善	された。	t	と行った。	
			⑤場外への飛散流出の防止に対する配慮が確認できる。								
			⑥その他 〔理由:		V	ばらつき					
			⑦その他 〔理由:				らつきが50				
			⑧その他 〔理由:				らつきが80				
							らつきが80				
	O 3+1// 1-7				<u> </u>	は	らつきで判	断不可能			
	<ul><li>○:該当する</li></ul>			A No	UNIC THE SEE						
	×:該当しない 空白:評価対象外	<del>                                     </del>		<b>*</b>	断基準		1-6	らつきで判し	折可能	ばらつきで	
	全日: 計価対象外									判断不可能	
	①評価数 (○)		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は評価しない。	<b>≡</b> π7	90%以上		а	a'	b	b	
	②対象項目(〇、×)		② 対象としない項目を除いた評価項目数を母数として、比率 (%) 計算の値で評定する。	価		90%未満		b	b'	b'	
	③評価値 (①/②)		③ 評価値 ( %) =評価数 ( ) /評価対象項目数 ( )	値		75%未満		þ,	С	С	
			④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は、評定とする。	34	60%未港			C N	C らができたい。	<u></u> <u>c</u> 場合は評価	
							からはてはて		IN. CO. R.	物口は計画	
	④評定		←ばらつき及び「d」「e」評価を加味した総合評定	(6)4,690		10077-17	- 11-91 2 0	•			

考查項目	工種	評価	a	a'	b	b'	С	d					
5 里 垻 日	上 俚	計刊Щ	優れている	bより優れている。	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	劣っている					
	18 除草工(伐木含		「評価対象項目」										
出来ばえ	む)		<ul><li>①きめ細かな施工がなさ</li></ul>	れている。			●判断基準						
			②全体的な美観が良い。				評価値が80%超	· · · · · · a					
Ⅲ. 出来ばえ			③検査時の清掃が行き届	いている。			評価値が65%超80%以下・・・・・ a'						
			④その他 〔理由:				評価値が45%超65%	以下・・・・・b					
							評価値が25%超45%	以下・・・・・ b'					
							評価値が10%超25%	以下・・・・・ c					
							評価値が10%以下・	• • • • • • d					
	<ul><li>○:該当する</li></ul>												
	×:該当しない												
	空白:評価対象外												
	①評価数 (○)												
	②対象項目(○、×)												
	③評価値 (①/②)												
	④評定												

[記入方法] 評価する項目に〇、評価しない項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする)。

[記入方法] 評	評価する項目に○、評価	しない	N項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする)。						( 検査員	員 )
考 査 項 目	工 種		a a' b b' c		評価	d		評価	е	
3. 出来形及び 出来ばえ	19 維持工事(清掃 工、付属物工、除 雪、応急処理等)	評価	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。							
Ⅱ. 品質	百、心忌処理寺/		「評価対象項目							
			①使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認で	<b>ごきる。</b>	品品	質関係の測	定方法又	は品	質関係の測定方法又	又は
			②構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。			定値が不適			定値が不適切であっ	
			③監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んで が確認できる。	ごいること		め、監督員 を行い改善			め、検査員が修補指 行った。	旨示
			④緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。							
			⑤その他 〔理由:							
			⑥その他 〔理由:		ばらつき					
			⑦その他 〔理由:			らつきが509				
			⑧その他 〔理由:		ばらつきが80%以下					
						らつきが809				
	0 3414 ) 4				は	らつきで判	断不可能			
	<ul><li>○:該当する</li></ul>									
	×:該当しない 空白:評価対象外	_	● #	制断基準					1000007 100 2	
	空日: 評価対象外						つきで判題		ばらつきで	
	①評価数 (○)		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は評価しない。			50%以下 8	0%以下	80%を超える	判断不可能	
	②対象項目(〇、×)		② 対象としない項目を除いた評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評定する。	90%以上	- 93	а	a′	b	b	
	③評価値 (①/②)		③ 評価値 ( %) =評価数 ( ) /評価対象項目数 ( )	75%以上90		a'	b	b'	b'	
			④ なお、評価対象項目数が 2 項目以下の場合は c 評定とする。	60%以上75	5%未満	b	p,	С	C	
				60%未満	1 4- LV	b'	C Jaine	G C LV -∞ -∞ +∞ + √ . ±F	G	
	<b>④評定</b>			試験結果の は項目(評価			さい判断	折ができない場 ┃	寿台は計1曲	

考查項目	工種	評価	a	a'	b	b'	С	d
与鱼项目	上 俚	<del>БТ-</del> /ІЩ	優れている	bより優れている。	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	劣っている
	19 維持工事(清掃		「評価対象項目」					
	工、付属物工、除		①小構造物等にも注意が	払われている。			●判断基準	
	雪、応急処理等)		②きめ細かな施工がなさ	れている。			評価値が80%超	• • • • • • a
Ⅲ. 出来ばえ			③既設構造物とのすりつ	けが良い。			評価値が65%超80%	以下・・・・・・ a'
			④全体的な美観が良い。				評価値が45%超65%	以下・・・・・ b
			⑤検査時の清掃が行き届	いている。			評価値が25%超45%	以下・・・・・ b'
								以下・・・・・・c
							評価値が10%以下・	• • • • • • • d
	<ul><li>○:該当する</li></ul>							
	×:該当しない							
	空白:評価対象外							
	①評価数(○)							
	②対象項目(○、×)							
	③評価値 (①/②)							
	④評定							

「記入方法」評価する項目に〇、評価しない項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする) ( 檢查員 ) 3. 出来形及び 20 修繕工事(橋脚補 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 評価 出来ばえ 強、耐震補強、橋梁 「関連基準、十木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] 補修、落橋防止等) ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 Ⅱ.品質 「評価対象項目」 【共通】 品質関係の測定方法又は 品質関係の測定方法又は ①使用材料が設計図に示されている要求性能を満足することが確認できる(炭素繊維シート、コンクリート、ひび割れ注入 測定値が不適切であった 測定値が不適切であった ため、監督員が文書で指 ため、検査員が修補指示 材、髙欄、伸縮継手、途装什様等) 示を行い改善された。 を行った。 ②使用材料(硬化剤、助剤含む)の品質証明書が提出されている。 ③構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 ④着工前に現地調査を十分に行い、実態にあった補修・補強方法を監督員と協議した上で施工したことが確認できる。 5現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 ⑤コンクリート表面の含水率を高周波水分計で計測し、規定値以下での施工を行っていることが確認できる。 ①温度管理が必要な工程において、必要温度を確保したうえで施工していることが確認できる。 8)施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。 90その他 「理由・ ばらつきの評価 【橋梁補強工事(炭素繊維シート工)】 ばらつきが50%以下 ⑩下地処理が適切に行われていることが確認できる。 ばらつきが80%以下 ①飛散防止処置が適切に行われていることが確認できる。 ばらつきが80%を超える ⑩補強材(炭素繊維シート)にふくれ、剥離、端部のめくれ等がないことが確認できる。 ばらつきで判断不可能 ③継手部は所定の継手長が確保されていることが確認できる。 ④継手位置が適切に配置されていることが確認できる。 ⑥付着強度試験、貼付状態試験が適切に行われていることが確認できる。 ⑩使用材料(硬化剤、助剤含む)の入荷状況及び空袋で使用量の管理が適切に行われていることが確認できる。 の積層部について、層ごとに適切に写真管理が行われていることが確認できる。 18その他 〔理由: 【橋梁耐震補強工事(RC巻立工)】 ⑩アンカー工の削孔深さが全本数管理されており、十分確認できる。 ②下地処理が適切に行われていることが確認できる。 21アンカー工は引き抜き試験により、許容する引張強度が確保できていることを確認している。 22全体的に増厚幅を確認している。 23打設直後の初期ひび割れがない。 24その他 「理由: 【橋梁補修工事(コンクリート橋補修工)】 25クラック・剥離状況等の事前調査をしたことが資料で十分確認できる。 26各工種の施工手順が写真で確認できる。 27足場・支保工が適切に設置されていることが写真等で確認できる。 28ひび割れ注入材の注入量が確認できるような適切な管理が行われた 29全本数管理(削孔深さ)されていることが確認できる。 30伸縮装置が適切に施工されていることが確認できる。 31橋面防水が適切に施工されていることが確認できる。 32落橋防止施設が適切に施工されていることが確認できる 33使用材料(硬化剤、助剤含む)の入荷状況及び空袋で使用量の管理が適切に行われていることが確認できる。 34断面修復の際、鉄筋の錆を確実に落とし、鉄筋の裏面まで防錆剤による処置が施されていることが確認できる。 35その他 〔理由: 【橋梁補修工事(鋼橋補修工)】 36塗装に含まれる成分を把握するとともに、環境省令で定められる判定基準に対し、有害(PCB、鉛、六価クロム)と判断さ れた場合、適切に剥ぎ取り方法が選定されていることが確認できる。 37塗装に含まれる成分に応じ、剥ぎ取った塗装は適切に廃棄手続きが行われていることが確認できる。 38飛散防止処置が適切に行われていることが確認できる。 39その他 〔理由: ○:該当する ×:<u>該当しない</u> ●判断基準 空白:評価対象外 ばらつきで判断可能 ばらつきで 50%以下 80%以下 80%を超える 判断不可能 ①評価数 (〇) 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は評価しない。 90%LJF b a' ②対象項目(○) ② 対象としない項目を除いた評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評定する。 75%以上90%未満 a h b b 価 ③評価値 (①/②) 評価値(%)=評価数()/評価対象項目数( 60%以上75%未満 b b' C C なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評定とする。 60%未満 注 試験結果の打点数が少なくばらつきの判断ができない場合は評価 対象項目(評価値)だけで判断する。 4)評定 ←ばらつき及び「d」「e」評価を加味した総合評定

別表-3(24)-2

## 考查項目別運用表

[記八刀伝]司	一個する項目にし、計画	レルリ	負目に<を記入りる(計	個対象外の項目は空日と	90).			
考查項目	工種	評価	a	a'	b	b'	С	d
7 且 仅 日	工 1里	рт. ІШ	優れている	bより優れている。	やや優れている	c より優れている	他の評価に該当しない	劣っている
	20 修繕工事(橋脚補		「評価対象項目」					
出来ばえ	強、耐震補強、橋梁		<ul><li>①小構造物等にも注意が</li></ul>	払われている。			●判断基準	
	補修、落橋防止等)		②きめ細かな施工がなさ	れている。			評価値が80%超	• • • • • • a
Ⅲ. 出来ばえ			③既設構造物とのすりつ	けが良い。			評価値が65%超80%	以下・・・・・・ a'
			④全体的な美観が良い。				評価値が45%超65%	以下・・・・・・b
			⑤検査時の清掃がいきと	どいている。			評価値が25%超45%	以下・・・・・ b'
							評価値が10%超25%	以下・・・・・・c
								· · · · · · · d
	○:該当する							
	×:該当しない							
	空白:評価対象外							
	①評価数 (○)							
	②対象項目(〇、×)							
	③評価値 (①/②)							
	④評定							
	<u> </u>							

[記入方法] 評	評価する項目に○、評価	しなり	・項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする)。					( 検査員 )
考 査 項 目	工種		a a' b b' c	評価		d	評価	e
	21 ため池工事	評価	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]					
出来ばえ			【関連基準、工不工事施工官理基準、て切他設計図書に足められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙−4参照。					
Ⅱ. 品質			「評価対象項目」		1			
			①仕様書等で定められている品質管理が実施されていることが確認できる。		品質関係の	則定方法又は	ı	品質関係の測定方法又は
			②材料の品質規定証明書が整備されている。		測定値が不	適切であった		則定値が不適切であった
			③基礎処理施工要領及び盛立要領書に示された規定に従い適切に実施されていることが確認できる。		ため、監督			ため、検査員が修補指示
			④盛土・埋戻しが適切に実施されていることが確認できる。		示を行い改	喜された。	7	を行った。
			⑤施工基面及び法面が平滑に仕上げられていることが確認できる。					
			⑥法面保護工が適切に施工されていることが確認できる(張ブロック、芝、表面遮水)。					
			⑦雨水による崩壊が起こらないように排水対策を実施していることが確認できる。					
			⑧気象条件を考慮した施工が確認できる。					
			⑨鉄筋の組立、継手部、かぶりは工事図面に示されたとおりに施工していることが確認できる。					
			⑩コンクリートの供試体が当該現場のものであることが確認できる。					
			<b>⑪その他 〔理由:</b>	ばら・	つきの評価			
					ばらつきが!			
					ばらつきが			
					ばらつきが			
					ばらつきで	刊断个可能	4	
	○ : 該当する							
	○:該ヨ9る ×:該当しない		◆判断基準					
	空白:評価対象外					ばらつきで判断		ばらつきで
	工口,肝臓//水/				50%以		30%を超える	5 判断不可能
	①評価数 (○)		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は評価しない。		未満 a'	a'	b	b b
	②対象項目 (〇、×)		Tan   Tan	<u>上</u> 90%: 上75%:		b b'	p,	C C
	③評価値 (①/②)		(3) 評価値 ( %) = 評価数 ( ) / 評価対象項目数 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (		p,	C	G	C
			④ かお 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評定とする。 注 試験結:		点数が少なくは		ができない	場合は評価
			対象項目(計	平価値	)だけで判断す	る。	ı	
	<ul><li>④評定</li></ul>		←ばらつき及び「d」「e」評価を加味した総合評定					
							1	

考查項目	工種	評価	a	a'	b	b'	С	d
与且项目	上、性	5十二川川	優れている	bより優れている。	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び	21 ため池工事		「評価対象項目」					
出来ばえ			<ul><li>①土工の仕上げがよい。</li></ul>				●判断基準	
			②土工の構造物へのすり	つけがよい。			評価値が80%超	• • • • • • a
Ⅲ. 出来ばえ			③コンクリート構造物の	肌がよい。			評価値が65%超80%」	以下・・・・・・ a'
			④コンクリート構造物の	通りがよい。				以下・・・・・・ b
			⑤天端仕上げ、端部仕上	げ等がよい。			評価値が25%超45%」	以下・・・・・・ b'
			⑥漏水がない。				評価値が10%超25%」	以下・・・・・・ c
			⑦全体的な美観が良い。				評価値が10%以下・	• • • • • • • d
			⑧検査時の清掃がいきと	どいている。				
							_	
	<ul><li>○:該当する</li></ul>							
	×:該当しない							
	空白:評価対象外							
	①評価数 (○)							
	②対象項目(○、×)							
	③評価値 (①/②)							
	<ul><li>④評定</li></ul>							

考查項目別運用表

「記入方法」評価する項目に○ 評価したい項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする) ( 檢查員 ) 考 杳 項 3. 出来形及び 22 ほ場整備工事 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 出来ばえ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 Ⅱ.品質 「評価対象項目」 品質関係の測定方法又は ①仕様書等で定められている品質管理が実施されていることが確認できる。 品質関係の測定方法又は ②材料の品質規定証明書が整備されていることが確認できる。 測定値が不適切であった 測定値が不適切であった ため、検査員が修補指示 ため、監督員が文書で指 ③地区内の地表水及び地下水を排除してドライな状態で施工していることが確認できる。 示を行い改善された。 を行った。 ④濁り等の防止に十分留意して施工していることが確認できる。 ⑤石礫、根株等の除去は仕様書に定めたとおり実施していることが確認できる。 ⑥表土剥ぎ取り、基盤切盛、畦畔築立、基盤整地、表土整地は仕様書及び設計図書により施工されていることが確認できる。 ⑦進入路について工作に支障がないように施工されていることが確認できる。 ⑧暗渠排水工は仕様書及び設計図書により施工されていることが確認できる。 ⑨用・排水路の縦断勾配等について、ほ場面標高等を考慮して施工されていることが確認できる。 ⑩用・排水路の施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 ⑪用・排水路の法面の通りがよい。 ⑫構造物側面の埋め戻しについては、仕様書に示す条件により締め固めが実施されていることが確認できる。 ③護岸等の根入れが図面どおり実施されていることが確認できる。 ④二次製品との取り付け部コンクリート構造物にきめ細かな施工がうかがえる。 ⑤二次製品の吊り込み、据付けの際に常に十分な注意を払っていることが確認できる。 ばらつきの評価 16その他 〔理由: ばらつきが50%以下 ばらつきが80%以下 ばらつきが80%を超える ばらつきで判断不可能 ○:該当する ●判断基準 ×:該当しない ばらつきで判断可能 ばらつきで 空白:評価対象外 50%以下 80%以下 80%を招える 判断不可能 90%以上 a' h ①評価数 (〇) ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は評価しない。 75%以上90%未満 b b h ②対象項目 (〇、×) ② 対象としない項目を除いた評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評定する。 60%以上75%未満 b b C C 値 部評価値 (①/②) 評価値(%)=評価数()/評価対象項目数() 60%未満 ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評定とする。 注 試験結果の打点数が少なくばらつきの判断ができない場合は評価 対象項目(評価値)だけで判断する。 4)評定 ←ばらつき及び「d」「e」評価を加味した総合評定

考查項目	工種	評価	a	a'	b	b'	С	d
5 里 垻 日	上、作里	5十二川川	優れている	bより優れている。	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	劣っている
	22 ほ場整備工事		「評価対象項目」					
出来ばえ			①均平度がよい。				●判断基準	
			②土工の仕上げがよい。				評価値が80%超	• • • • • • a
Ⅲ. 出来ばえ			③土工の通りがよい。				評価値が65%超80%以	以下・・・・・・ a'
			④土工の構造物等へのす	りつけがよい。			評価値が45%超65%以	以下・・・・・ b
			⑤用・排水路の通りがよ	い。			評価値が25%超45%以	以下・・・・・ b'
			⑥コンクリート構造物の	通りがよい。			評価値が10%超25%以	以下・・・・・・ c
			⑦全体的な取扱いがしや	すい。			評価値が10%以下・	• • • • • • d
			⑧検査時の清掃がいきと	どいている。				
							_	
	○:該当する							
	×:該当しない							
	空白:評価対象外							
	①評価数 (○)							
	②対象項目(○、×)							
	③評価値(①/②)							
	<ul><li>④評定</li></ul>							

「記入方法」評価する項目に〇、評価しない項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする)。 (検査員)

	一個りる項目にし、計画	10/4/	「現日に×を記入する (評価対象外の項目は空日とする)。					( 快宜貝 )
考 査 項 目	工 種		a a' b b' c	;	評価	d	評価	е
	23 農地造成工事	評価	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照>					
出来ばえ		пт- Іші	[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]					
			※ばらつきの判断は別紙-4参照。					
Ⅱ. 品質			「評価対象項目」			_		
			①仕様書等で定められている品質管理が実施されていることが確認できる。			品質関係の測定方法又は		品質関係の測定方法又は
			②材料の品質規定証明書が整備されている。			測定値が不適切であった		則定値が不適切であった
			③地区内の地表水及び地下水を排除してドライな状態で施工していることが確認できる。			ため、監督員が文書で指		とめ、検査員が修補指示
			④防災施設を施工計画のとおり施工していることが確認できる。			示を行い改善された。	a a	と行った。
			⑤抜根、排根は仕様書及び設計図書により施工されていることが確認できる。					
			⑥代開物処理は、関係法令により施工していることが確認できる。					
			⑦基盤造成、法面植生、雑物及び石礫除去、耕起は仕様書及び設計図書により施工されていることが確認できる。					
			⑧土壌改良資材の撒布は仕様書及び設計図書により施工されていることが確認できる。					
			⑨砕石は適切な耕土の水分状態の時に行い、土壌改良資材との効率的な混合が図られていることが確認できる。		ばらつ	つきの評価	1	
			⑩その他 〔理由:			ばらつきが50%以下		
						ばらつきが80%以下		
						ばらつきが80%を超える		
						ばらつきで判断不可能		
				Į.			1	
	○:該当する							
	×:該当しない			●判断基準			1	
	空白:評価対象外			<b>●</b> 1991 <b>至</b> =		ばらつきで判断で	T能	ばらつきで
						50%以下 80%以下 80	%を超える	判断不可能
	①評価数 (○)		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は評価しない。	90%以」		a a'	b	b
	②対象項目(〇、×)		② 対象としない項目を除いた評価項目数を母数として、比率 (%) 計算の値で評定する。	(冊 75%以)_			b'	b'
	③評価値 (①/②)		③ 評価値( %) =評価数( ) /評価対象項目数( )	值 60%以			С	С
			② ロールに アール ロール ロール ロール・ステム アール ロール・ステム アール ロール・ステム アール・ステム ア	60%未济		b' c	C	C
						数が少なくばらつきの 判断か	できないま	場合は評価
	<ul><li>④評定</li></ul>		←ばらつき及び「d」「e」評価を加味した総合評定	列家-共日(計	10010//	だけで判断する。	1	
	WIT AL		- 14976次0.141161 肝風で加水で心心口肝化					
		1					1	

考查項目	工種	評価	a	a'	b	b'	С	d
与且项目	上 俚	5十二川川	優れている	bより優れている。	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び	23 農地造成工事		「評価対象項目」		•			
出来ばえ			<ul><li>①勾配がよい。</li></ul>				●判断基準	
			②土工の仕上げがよい。				評価値が80%超	a
Ⅲ. 出来ばえ			③切土・盛土法面のとお	りがよい。			評価値が65%超80%	以下・・・・・ a'
			④雨水処理がよい。					以下・・・・・b
			⑤排水路の通りがよい。				評価値が25%超45%	以下・・・・・ b'
			⑥全体的な美観が良い。				評価値が10%超25%	以下・・・・・・c
			⑦検査時の清掃がいきと	どいている。			評価値が10%以下・	d
	<ul><li>○:該当する</li></ul>							
	×:該当しない							
	空白:評価対象外							
	①評価数 (○)							
	②対象項目(○、×)							
	③評価値 (①/②)							
	④評定							

**加達/13な** ( 検査員 )

[ 記八万伝] 計	∵恤りる垻日に∪、許恤	しなり	ほに×を記入する(評価対象外の項目は空日とする)。						<b>検査員</b> )
考 査 項 目	工 種		a a' b b' c	評信	Б	d	評	画 e	
	24 クリーク防災工	<b>⋾</b> む/ボ	は関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照>						
	事・農業用集落排水		[						
	工事		らばらつきの判断は別紙-4参照。						
Ⅱ.品質			「評価対象項目」		<u></u>				
			)事前に工事測量が実施され、報告されている。			の測定方法		品質関係の測定	方法又は
			)土量配分計画が適切に実施されていることが確認できる。			不適切であ		測定値が不適切	
			)土工が適切に施工されていることが確認できる。			<b>腎員が文書</b>		ため、検査員が	修補指示
			)二次製品が適切に布設されている。		示を行い	<b>改善された</b>	)	を行った。	
			)施工基面の施工が良好であることが写真等で確認できる。						
			)吸い出し防止シートの敷設が適正なことが写真等で確認できる。						
			)ブロックマット等の固定方法が適切であることが確認できる(固定ピン、連結具等)。						
			)勾配がきちんと保たれている。						
			)木杭が適切に施工されていることが写真や現地で確認できる。						
			排水パイプの流末先は適切に配置されており、法面を浸食する構造となっていない。	ばら	つきの評価				
			0復旧が適切に施工されている。		ばらつきた	が50%以下			
			連盤改良の深さや範囲が施工状況写真や施工記録等で確認できる。		ばらつきれ	が80%以下			
			砂良材の使用量が投入写真・空袋検収等で確認できる。		ばらつきれ	が80%を超え	: る		
			<ul><li>十分な改良効果があったことが試験結果や現地で確認できる。</li></ul>			で判断不可			
			のその他 〔理由:			.,			
	○:該当する								
	×:該当しない		●判断基準	隼				10 V00007 NO 2	
	空白:評価対象外				la la	ばらつきで半	断可能	ばらつきで	
					50%以7	F 80%以下	80%を超	える 判断不可能	
	①評価数 (○)		) 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は評価しない。	以上	а	a'	b	b	
	②対象項目(〇、×)		)対象としない項目を除いた評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評定する。	以上90%未	高 a'	b	b'	b'	
	③評価値 (①/②)			以上75%未		b'	С	С	
			)かお、評価対象項目数が2項目以下の場合は、評定とする		p,	С	С	С	
			注:試験結				断ができた	よい場合は評価	
	<ul><li>④評定</li></ul>	1	-ばらつき及び「d」「e」評価を加味した総合評定 対象項目(	(評価値)た	けで判断する	る。			
	THINL	1							
		1							

考查項目	工種	評価	a	a'	b	b'	С	d
5 且 仅 日	上 1里	рТ ПЩ	優れている	bより優れている。	やや優れている	c より優れている	他の評価に該当しない	劣っている
	24 クリーク防災工		「評価対象項目」	•				
出来ばえ	事・農業用集落排水		①土工の仕上げがよい。				●判断基準	
	工事		②土工の構造物へのすり	つけがよい。			評価値が80%超	• • • • • a
Ⅲ. 出来ばえ			③コンクリート構造物の	肌がよい。			評価値が65%超80%.	以下・・・・・・ a'
			④コンクリート構造物の	通りがよい。			評価値が45%超65%.	以下・・・・・・ b
			⑤天端仕上げ、端部仕上	げ等がよい。			評価値が25%超45%.	以下・・・・・ b'
			⑥全体的な美観が良い。				評価値が10%超25%.	以下・・・・・・ c
			⑦検査時の清掃がいきと	どいている。			評価値が10%以下・	• • • • • • d
	○:該当する							
	×:該当しない							
	空白:評価対象外							
	①評価数 (○)							
	②対象項目(○、×)							
	③評価値(①/②)							
	④評定							

[記入方法] 評価する項目に〇、評価しない項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする)。												
考 査 項 目 3. 出来形及び 出来ばえ	工 種 25 管水路工事	6千1川	a 品質関係の試験結果のば [関連基準、土木工事施 ※ばらつきの判断は別紙	工管理基準、その他設計		│ b' ○判断する。<判断基準参	c \$照>	部	価	d	評価	e
Ⅱ.品質			「評価対象項目」 ①仕様書等で定められた ②材料の品質規定証明書 ③中心線の通りがよい。 ④仕様書等で示す条件に ⑤管の両側面が均等にप ⑥地盤面、基礎面に不付け ⑥コンクリート構造物に <b>③その他</b> 〔理由:	が整備されている。 より締固めが実施されて め戻されていることが確 が生じていないことが確 の際に常に十分な注意を	いる確認できる。 認できる。 認できる。 払っていることが確認で	<b>できる</b> 。		I F	測定値がため、監	系の測定方法又は 3不適切であった 全督員が文書で指 改善された。	測た	質関係の測定方法又は 定値が不適切であった め、検査員が修補指示 行った。
	<ul><li>○:該当する</li><li>×:該当しない</li><li>空白:評価対象外</li></ul>							●判断基準	ばらつき ばらつき ばらつき	が50%以下 : が80%以下 : が80%を超える : で判断不可能     ばらつきで判断		よらつきで
	①評価数(○) ②対象項目(○、×) ③評価値(①/②) ④評定		② 対象としない項目を限 ③ 評価値 ( %) = 言 ④ なお、評価対象項目数	のうち、対象としない事 ないた評価項目数を母数と 呼価数 ( ) /評価対象 なが 2 項目以下の場合は c e」評価を加味した総合記	さして、比率(%)計算 身項目数( ) : 評定とする。	の値で評定する。		評 90%以上 75%以上2 60%以上7 60%未満 注 試験結果の 対象項目(評価	10%未満 15%未満 17点数が少		c b b	b b' c

考查項目	工種	評価	a	a'	b	b'	С	d
7 且 仅 日	上 1里	рт-ІЩ	優れている	bより優れている。	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	劣っている
	25 管水路工事		「評価対象項目」					
出来ばえ			①管の通りがよい。				●判断基準	
			②付帯コンクリート構造	物の肌がよい。			評価値が80%超	• • • • • • a
Ⅲ. 出来ばえ			③付帯コンクリート構造	物の通りがよい。			評価値が65%超80%	以下・・・・・・ a'
			④付帯コンクリート構造	物にクラックがない。			評価値が45%超65%	以下・・・・・ b
			⑤全体的な美観が良い。				評価値が25%超45%	以下・・・・・ b'
			⑥検査時の清掃がいきと	どいている。			評価値が10%超25%	以下・・・・・・ c
							評価値が10%以下・	· · · · · · · d
	<ul><li>○:該当する</li></ul>							
	×:該当しない							
	空白:評価対象外							
	①評価数 (○)							
	②対象項目(〇、×)							
	③評価値 (①/②)							
	④評定							

別表-3(30)			考査項目別運用表		_				
		fiしない	項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする)。						( 検査員 )
考 査 項 目	工 種		a a' b b'	С	評価	Ī	d	評価	e
	26 堰・水門等工事	評価	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照>						
出来ばえ	(工場製作含む)	а†-1 Щ	[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]						
			※ばらつきの判断は別紙-4参照。						
Ⅱ.品質			「評価対象項目」			_			
			①鋼材の員数照合がミルシート等(現物照合含む)で確認されている。			品質関係の	測定方法ス	(は 品	質関係の測定方法又は
			②主要部材の板取は、主たる応力の圧延方向と一致しており資料も整備されている。			測定値が不	適切であっ	った <u></u> 測	定値が不適切であった
			③主要部材の切断は自動ガス切断で行っている。また、切断面の品質が規定を満足している。			ため、監督	員が文書で	が指 た	め、検査員が修補指示
			④鋼材の表面粗さが規定値以下である。			示を行い改	善された。	を	行った。
			⑤主要部材の自由縁が規定通り面取されている。						
			⑥主要部材の曲げ加工が規定どおり行われている。						
			⑦材片組合せ精度が規定値内である。						
			⑧塗装する面が乾燥状態であることが確認できる(重ね塗りの場合も含む)。						
			⑨素地調整の場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を行っていることが確認できる。		ばら	つきの評価			
			⑩塗料の空缶管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。			ばらつきが			
			⑪その他 〔理由:			ばらつきが			
						ばらつきが			
						ばらつきで	判断不可能	g c	
	<ul><li>○:該当する</li></ul>			♠ Mall	断基準				
	×:該当しない			<b>●</b> +1	<u> </u>	158	Company and a second public	Nr Ar	ばらつきで
	空白:評価対象外						らつきで判		
						50%以下	80%1X L	80%を超える	判断个可能
	①評価数 (○)		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は評価しない。	評	90%以上	а	a′	b	b
	②対象項目(○、×)		② 対象としない項目を除いた評価項目数を母数として、比率 (%) 計算の値で評定する。	価	75%以上90%未入	茜 a′	b	b'	b'
	③評価値 (①/②)		③ 評価値 ( %) =評価数 ( ) /評価対象項目数 ( )	値	60%以上75%未2	茜 b	b'	С	С
			④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は c 評定とする。	10	60%未満	p,	С	G	G
				注 [	試験結果の打点	数が少なくばら	つきの判	折ができない場	場合は評価
	<ul><li>④評定</li></ul>		←ばらつき及び「d」「e」評価を加味した総合評定		項目(評価値)だ				
				1008.585	ALD VOLUME TEXT		Ψ.	1	Secretary and recommendation and

考查項目	工種	評価	a	a′	b	b'	С	d
7 且 仅 日	上 性	рт- Ірц	優れている	bより優れている。	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び	26 堰・水門等工事		「評価対象項目」				<u> </u>	
出来ばえ	(工場製作含む)		①表面に補修箇所がない	10			●判断基準	
, ,,,,,,			②部材表面に傷、錆がな				評価値が80%超	a
Ⅲ. 出来ばえ			③溶接に均一性がある。				評価値が65%超80%以	
ш. шуктоле			④塗装に均一性がある。				評価値が45%超65%以	
			⑤全体的な美観が良い。					辽下・・・・・・ b'
			⑥検査時の清掃がいきと	どいている。				以下・・・・・ c
			0 100000 1 1111111111111111111111111111				評価値が10%以下・・	· · · · · · · d
	○:該当する							
	×:該当しない							
	空白:評価対象外							
	①評価数 (○)							
	②対象項目(〇、×)							
	③評価値 (①/②)							
	④評定							
	J , –							

別表 — 3 (31) —1 

		しない	ハ項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする)。				( 検査員 )
考 査 項 目			a a' b b' c	評価	fi d	評価	e
	27-1 港湾工事(海岸	評価	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照>				
出来ばえ	築造工事)	н г трад	`  L関連基準、土木上事施上管埋基準、その他設計凶諅に定められた試験」				
			※ばらつきの判断は別紙-4参照。				]
Ⅱ.品質			「評価対象項目」				1
			【共通】		品質関係の測定方法又は		品質関係の測定方法又は
			①濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。		測定値が不適切であった		測定値が不適切であった
			②既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。		ため、監督員が文書で指		ため、検査員が修補指示
			③航行船舶に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。		示を行い改善された。		を行った。
			④材料等の品質に異常値が想定されている場合、品質確認に必要な試験等が行われていることが確認できる。				
			⑤気象・海象を十分調査して施工されていることが確認できる。 ⑥一般船に十分注意して施工していることが確認できる。	22.5	ったの証価	ł	
			①一板桁に十分往息して施工していることが確認できる。   ⑦作業船が十分管理下におかれ、統率されていることが確認できる。	125	つきの評価   ばらつきが50%以下		
			(例) その他 「理由:		ばらつきが80%以下		
			【後漢:斥掘関係】		ばらつきが80%を超える		
			<ul><li>(例) + 砂砂分における運搬途中で漏出がないように施工していることが確認できる。</li></ul>	-	ばらつきで判断不可能		
			● 土地を力における世域と下で側面がないようた施工していることが確認できる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-	はりっとく刊例不可能	4	
			□潮位及び潮流、波浪等の状況を十分担握して施工されていることが確認できる。				
			⑩土質改良を適切に行っていることが記録で確認できる。				
			③上投場大量に制約がある場合、適切な土量で、許容範囲に精度よく平坦に仕上がっていることが確認できる。				
			(単土指場)に制約がなく、深掘しても周辺構造物に影響がない場合、今後の理没も考慮し、深く平坦に仕上がっていることがi	確認て	きる。	1	
			「15後課・床掘時に濁り防止に十分注意して、漏出がないように施工していることが確認できる。		0	1	
			⑥浚渫工又は床掘工において、作業現場の土質条件、海象条件、周辺海域の利用状況を考慮して、効果的作業が可能な作業経過	船を選	定していることが確認でき	る。	
			⑪土砂運搬において、施工の効率、周辺海域の利用状況を考慮して、土砂の運搬経路を決定していることが確認できる。	1		Ī	
			◎床掘工において、底面、法面の施工で出来形の許容範囲を超えた場合、置換材と同等以上の材料で埋戻しを行っているこ	とが確	[認できる。		
			⑩置換材の規格・品質が試験成績表等(現物照合を含む)で確認できる。				
			⑩砲弾等の爆発物が発見された場合、関係機関への報告が速やかになされていることが確認できる。				
			21その他 〔理由:				
			【地盤改良関係】				
			22改良材料の品質管理を適切に行っていることが記録で確認できる。				
			23浮泥を巻き込まないよう置換材を投入していることが確認できる。				
			24サンドドレーン・砕石ドレーン・サンドコンパクションパイル及びロッドコンパクションが連続した一様な形状・品質に				
			25ペーパードレーンが計画深度まで破損なく正常に形成されていることが打込記録等により確認できるとともに、打設を完	了した	_ペーパードレーンの頭部が	保護さ	れ、排水効果が維持され
			ていることが確認できる。				
			26深層混合処理の打込記録等から、仕様書に定められている事項が確認できる。				
			27前記以外の改良方法について、記録から仕様書に定められている事項が確認できる。				
			28盛上り土の状況確認及び管理を適切に行っていることが記録で確認できる。				
			29捨石、被覆石等の石材は、扁平細長ではなく、風化倒壊の恐れがないものが使用されていることが確認できる。				
			30施工面から浮泥の品質の害となるものを除去してから施工されていることが確認できる。				
			31マットの施工が平滑に仕上げられていることが記録により確認できる。				
			32捨石、被覆及び根固め石の施工が平滑に仕上げられていることが記録により確認できる。				
			33その他 〔理由:				
			【マット、捨石及び均し関係】				
			34捨石、被覆石など材料の規格・品質が試験成績表等(現物照合を含む)で確認できる。				
			35マットが破損なく所定の幅で重ね合わせられていることが写真記録等により確認できる。				
			36捨石、被覆及び根固め石がゆるみのないよう堅固に施工され、記録により確認できる。				
		-	37裏込めが既設構造物及び砂防目地板の破損なく施工され、記録により確認できる。 38その他 〔理由:				
		-					
			【本体:杭及び矢板、控工関係】 39鋼材の規格・数量がミルシート等(現物照合を含む)で確認できる。				
		-	39納材の保管にあたり、変形及び塗覆装面に損傷を与えないよう、適切に処置されていることが確認できる。	-			
			41杭及び矢板に損傷及び補修痕がなく施工されていることが確認できる。 41杭及び矢板に損傷及び補修痕がなく施工されていることが確認できる。	-			
			11代及び大阪には勝及び中間を扱かな、地上でなくといることが理論といる。 12代及び大板の打止めの施工管理力法が整備され、かつ記録が確認できる。				
			43腹起し材を全長にわたり規定の水平高さに取り付け、ボルトで十分締め付け矢板壁に密着させていることが確認できる。				
			お成態とのままれたが死との水下向とに取りかい、パッションのは、アース	1			
			45タイワイヤーは隅角部等特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されていることが確認できる。				
			130 1 7 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	+			
			10位版及の沙剛の印真自在に対して山水香にためられた事気が確認してきる。 47その他 「理由:				
			Take: ケーソン据付、ブロック据付関係				
			18ケーソン仮置に先立ち仮置場を調査し、仮置作業が所定の位置に異常なく行われていることが確認できる。				
			1957 フン 灰色に先立ち、気象・海象等を十分調査し、振行作業が所定の精度で行われていることが確認できる。	_			
			50ケーソン据付等及び中話においてケーソンのでは、近くでは、近くでは、近くでは、近くでは、近くでは、近くでは、近くでは、近く				
			51コンクリートプロック据付に先立ち、気象・海象等を十分調査し、据付作業が所定の精度で行われていることが確認でき	る。			
			52プロック据付等においてプロック及び既設構造物等の破損がなく施工されていることが確認できる。	Ĩ			
			53ケーソンえい航行に発立ち、気象・海象を十分調査し、適切な時期を選定していることが確認できる。				
			54ケーソンえい航に先立ち、上蓋、安全ネットスは吊り足場等を設置し、墜落防止の措置を講じていることが確認できる。				
			55ケーソン注水時の隔室の水頭差が1m以内になるように管理されていることが確認できる。	Ì			

○:該当する×:該当しない空白:評価対象外

①評定 ←ばらつき及び「d」「e」評価を加味した総合評定

●判断基準 ばらつきで判断可能 ばらつきで 50%以下 80%以下 80%を超える 判断不可能 90%以上 a b 75%以上90%未満 b' a' b b' 価 60%以上75%未満 b b C C 60%未満 b'

注 試験結果の打点数が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。

考查項目	<b></b> 查項目 工種		a	a'	b	b'	С	d	
与且识日	上1里	評価	優れている	bより優れている。	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	
. 出来形及び	27-1 港湾築造工事		「評価対象項目」						
出来ばえ	(海岸築造工事)		①構造物の通りが良い。		●判断基準				
			②施工管理記録から不可	- 評価値が80%超 · · · · · · a					
[. 出来ばえ			③構造物の表面及び端部				評価値が65%超80%	以下・・・・・・ a'	
			④きめ細やかな施工がな					以下・・・・・ b	
			⑤全体的な美観が良い。	_ · · · _ ·				以下・・・・・ b'	
			⑥クラックがない (コン	クリート工事が含まれる	場合)。			以下・・・・・・ c	
			⑦検査時の清掃がいきと		評価値が10%以下・	• • • • • • d			
	○:該当する			-					
	×:該当しない								
	空白:評価対象外								
	①評価数 (〇)								
	②対象項目(〇、×)								
	③評価値 (①/②)								
	④評定								
	<u> </u>								

別表 - 3 (32) **考望** 「記入方法」評価する項目に〇、評価しない項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする) ( 烩杏昌 )

L 記入 <i>万</i> 法」	価する項目に∪、評価	1しなり	頁目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする)。								( 検査員 )
考 査 項 目	工 種		a a' b	b'		c 評	価	d	音	平価	е
	27-2 港湾工事(浚渫	1亚/田	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況 (評価値) から判	川断する。<判断基準参照	照>						
出来ばえ	工事)	рТ ПЩ	[関連基準、土木上事施上管埋基準、その他設計図書に定められた試験]								
			※ばらつきの判断は別紙-4参照。								
Ⅱ. 品質			「評価対象項目」								
			【共通】					関係の測定に			の測定方法又は
			D濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。					直が不適切で			不適切であった
			②既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認でき	る。				監督員がご			査員が修補指示
			B航行船舶に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる	, ) <sub>o</sub>			示を行	<b>うい改善さ</b> ね	れた。	を行った	0
			D材料等の品質に異常値が想定されている場合、品質確認に必要な試験等が	ぶ行われていることが確認	忍できる。						
			⑤気象・海象を十分調査して施工されていることが確認できる。								
			①一般船に十分注意して施工していることが確認できる。			ば	らつきの	評価			
			⑦作業船が十分管理下におかれ、統率されていることが確認できる。				ばらっ	つきが50%以	下		
			③その他 〔理由:				ばらっ	つきが80%以	下		
			【浚渫・床掘関係】				ばらっ	つきが80%を	·超える		
			①土砂処分における運搬途中で漏出がないように施工していることが確認で	<i>で</i> きる。			ばらっ	つきで判断ろ	不可能		
			⑥浚渫工又は床掘工について仕様書に定められた施工上の注意事項が守られ	いていることが確認できる	5.						
			D潮位及び潮流、波浪等の状況を十分把握して施工されていることが確認で	<b>ごきる。</b>							
			②土質改良を適切に行っていることが記録で確認できる。								
			③土捨場土量に制約がある場合、適切な土量で許容範囲に精度よく平坦に仕	上上がっていることが確認	忍できる。						
			<ul><li>①土捨場に制約がなく、深掘しても周辺構造物に影響がない場合、今後の埋</li></ul>	担没も考慮し、深く平坦に	こ仕上がっ	っていることが確認	できる。				
			⑤浚渫・床掘時に濁り防止に十分注意して、漏出がないように施工している								
			⑥浚渫工又は床掘工において、作業現場の土質条件、海象条件、周辺海域の	利用状況を考慮して、外	効果的作業	ぎが可能な作業船を	選定して	いることが	確認できる。		
			①土砂運搬において、施工の効率、周辺海域の利用状況を考慮して、土砂の	運搬経路を決定している	ることが確	筆認できる。					
			8床掘工において、底面、法面の施工で出来形の許容範囲を超えた場合、置	置換材と同等以上の材料で	で埋戻しを	行っていることが	確認でき	る。			
			9置換材の規格・品質が試験成績表等(現物照合を含む)で確認できる。								
			⑩砲弾等の爆発物が発見された場合、関係機関への報告が速やかになされて	いることが確認できる。							
			11その他 〔理由:								
	<ul><li>○:該当する</li></ul>				fram						-
	×:該当しない				<b>●</b> 2	判断基準					
	空白:評価対象外							ばらつきで半		ばらつきで	
	①評価数(○)		D 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は評価しない。		1		50%以	下 80%以下	80%を超え	る 判断不可能	8
	②対象項目(〇、×)		② 対象としない項目を除いた評価項目数を母数として、比率 (%) 計算の	値で評定する。	評	90%以上	а	a′	b	b	
	③評価値(①/②)		③ 評価値( %)=評価数( ) /評価対象項目数( )	· · · · ·	価		a'	b	b'	Ь,	1
			① なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評定とする。		値		b	b'	С	С	
				-	- 1世	60%未満	b'	С	С	С	
	<ul><li>④評定</li></ul>		-ばらつき及び「d」「e」評価を加味した総合評定		注	試験結果の打点数	が少なくは	がつきの 判		り場合は評価	
					1000000	東項目(評価値)だけ	기가 인트라인스 보급 시설 (10년	1990			§

		U121		一個対象が必須日は上口と	7 2/ 0			
考査項目	工種	評価	a	a'	b	b'	С	d
71 1 1 1 1 1	上1里	пт Іші	優れている	bより優れている。	やや優れている	c より優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている
3. 出来形及び	27-2 港湾工事 (浚渫		「評価対象項目」					
出来ばえ	工事)		①規定された水深・勾配	又は改良深度等が確保さ	れている。		●判断基準	
			②施工管理記録等から不	可視部分の出来ばえの良	さがうかがえる。		評価値が80%超	a
Ⅲ. 出来ばえ			③施工後の表面及び底面	等の全体的な仕上げがよ	い。		評価値が65%超80%	以下・・・・・・ a'
			④浚渫及び盛上り等の土	砂が適切に処理されてい	る。		評価値が45%超65%	以下・・・・・ b
	<ul><li>○:該当する</li></ul>						評価値が25%超45%	以下・・・・・ b'
	×:該当しない						評価値が10%超25%	以下・・・・・ c
	空白:評価対象外	/					評価値が10%以下・	• • • • • • d
	①評価数 (○)							
	②対象項目(○、×)							
	③評価値(①/②)							
	<ul><li>④評定</li></ul>							

## 別表 - 3 (33) **考査項目別運用表** 「記入方法」評価する項目に〇、評価しない項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする)

別表 - 3 (33)	5年上又至日12〇 至年	1 200	(塔口)マンチ デュートター/ギ	5/元山各州 6/57 口以南方1	<b>与</b> 宜頃日別運用衣						( <del>                                     </del>
考 査 項 目		評価	<u>、頃日に×を記入する(計</u> a	『価対象外の項目は空白と ┃    a'	(する) 。   b	b'	С	評価	d	評価	( 検査員 ) e
3. 出来形及び	28 建築工事	評価	特に優れている	優れている	特に良好である	良好である	適切である		やや不適切である		不適切である
出来ばえ			「評価対象項目」								
					、設計図書を満足している				品質の管理に関して、監		品質が不適切であったた
Ⅱ. 品質					方法が、適切であることだ	が確認できる。			督員から文書で指示を行		め、佐賀市建設工事請負
				内容が、適切であること					い改善された。		契約約款第31条に基づ
				かりやすく整理されてい							く修補指示を検査員が 行った。
				り、設計図書を満足して			1 1074571-2 + 7				11 つ た。
					方法が適切であり、記録の内 より確認でき、良好である		いることが確認できる。				
					- より唯祕でさ、良好である !録等により確認でき、良好		ζ.				
					る施工の品質が、施工記録等						
				工事写真、施工記録によ		TOS TREBUTOS AND CO.		_			
					の品質が、継続して確認っ	できる。					
			⑫元請として、自社の管	・理基準やチェックリスト	等により適切に品質管理し	していることが確認できる	5.				
			⑬撤去部分に係る資材を	別・処理方法が適切に行	われたことが書面で確認っ	できる。	-				
			④騒音・振動・粉塵等対	対策を適切に行い、施工さ	れたことが写真等で確認で	できる。					
			⑤その他 〔理由:								
	a district						1		La th Mr.		
	○:該当する			」のうち、対象としない」		(4, -37 + ) -		●判			
	×:該当しない				として、比率(%)計算の	値で評定する。			, he have a second		· · · · a
	空白:評価対象外			評価数( )/評価対象					評価値が80%以上90%未満		
	①評価数 (○)		<ul><li>④ なね、評価対象項目</li><li>⑤ 建築工事には、解体</li></ul>	数が2項目以下の場合は	C評定とする。				評価値が70%以上80%未満 評価値が60%以上70%未満		
	①対象項目 (O、×)		⑥ 目的物の品質の水準						平価値が50%以上60%未満		
	③評価値 (①/②)				了したもの(システムを含	まり」があり、丁事目					· · · · d
	ORTHAID (O/O/				計図書を対比することに。				T Ind Inc. 10 O O O O O Telled		
			j.								
							<u>u</u>				
	<ul><li>④評定</li></ul>		←「d」及び「e」評価	を加味した総合評定							

考查項目	工種		a	a´	b	b′	С	d					
<b>与</b> 且保日	上7里	評価	優れている	bより優れている。	やや優れている	c より優れている	他の評価に該当しない	劣っている					
3. 出来形及び	28 建築工事		「評価対象項目」										
出来ばえ			<ul><li>①きめ細かな施工がなさ</li></ul>	れ、取り合いの納まりや	() <sub>o</sub>	●判断基準							
					れ、調和が良い仕上がり		評価値が90%以上	· · · · · · a					
Ⅲ. 出来ばえ			③使い勝手や使用者の安					%未満・・・・・・ a'					
			④仕上がりの状態が良好					%未満・・・・・ b					
			⑤色調が均一であり、色					%未満・・・・・ b'					
			⑥材料・製品の割付や通					%未満・・・・・ c					
			⑦保全に配慮した施工が		2,7,7, 2 3 3 3			· · · · · d					
			⑧取り壊し後の整地等の		良好である。		M.1. (1994) (1994) 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.						
			⑨工事の影響による周辺			届いている。	=						
			⑩地中部分の撤去状況が				7						
			①その他 〔理由:	~ , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	3413 47 10 10 10								
			0 0 1 1 0 1 1 1				_						
	○:該当する		<ul><li>① 当該「評価対象項目」</li></ul>	のうち、対象としない項	<b>負目は評価しない。</b>								
	×:該当しない		② 対象としない項目を図			値で評定する。							
	空白:評価対象外			平価数 ( ) /評価対象		III - FF / 2 / 3 /							
			<ul><li>④ なお、評価対象項目数</li></ul>										
	①評価数 (○)		⑤ 建築工事には、解体]		, HI / C C / W								
	②対象項目(〇、×)		⑥ 全体的な仕上がり状態										
	③評価値 (①/②)				※状、配置及び関連工事と	の調和、目的物としての	O機能などについて、観察、	計測等により技術的な評価を					
	④評定		行う。	2,, 3.,			, page 5. 2. 2. 4. 1983.	ALEGA ALEGA STATE OF THE CONTRACT OF THE CONTR					

別表 - 3 (34) **考査** 「記入方法」評価する項目に〇、評価しない項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする) ( 給杏昌 )

L <ul><li>L <ul><l><li>L <ul><li>L li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></l></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul>	価する項目に∪、評価	U/\$V	項目に×を記入する(評	個対象外の項目は空日と	(1) (2)								( 検査員 )
考 査 項 目	工種	١	a	a'	b	b'		С	評価	d	評価	e	
	29 下水道工事	■ 並 布	品質関係の試験結果のば	らつきと評価対象項目の	)履行状況(評価値)から	判断する。<判断基準参	照>						
出来ばえ	i			.上官埋基準、その他設計	図書に定められた試験]								
	1	<u>'</u>	※ばらつきの判断は別紙	:-4参照。									
Ⅱ.品質	i	<u>ا</u>	「評価対象項目」	<u> </u>	·	·						•	
	Í	<u> </u>	①材料の品質、形状が設	計図書との適切性が確認	2でき、証明書が整理され	ている。				係の測定方法		品質関係の測	
	1		②設計図書に基づくコン	クリートの配合試験及び	<b>ヾ試験練りが行われており</b>	、適切なコンクリートの		きる。		が不適切でる		測定値が不適	
	Í					『、空気量等の測定結果が	確認できる。			監督員が文書		ため、検査員	が修補指示
	1		④コンクリート供試体が						示を行	い改善された	- o	を行った。	
	1	·				]、打設時の投入高さ、締[	固め時のバイ	ブレータの					
	i	۱ <u> </u>	機種、養生方法等につい										
	Í	١ -	⑥締固めを適切な条件で										
	i					ぎで整理されていることがで	確認できる。						
	1				た施工が行われたことが	び確認できる。 -							
	i		⑨常に切羽及び地表面の										
	Í		⑩鋼材の員数照合がミル										
	i		⑩溶接作業に当たり、作										
	Í			時に、レイタンス除去の	ため十分な水洗清掃を行	「っていることが確認できん	る。						
	i		⑩その他 〔理由:					ľ	<u>ばらつ</u> きの評				
	Í	<u> </u>								きが50%以下			
	i	<u>ا</u>								きが80%以下			
	Í	<u> </u>								きが80%を超			
	i	<u>'</u>							ばらつ	きで判断不可	可能		
								Γ					
	○:該当する	1					\$10000000000	Janes de la constante de la co					
	×:該当しない						●判	断基準					
	空白:評価対象外	$\geq$								ばらつきで判		ばらつきで	
] [									50%以	下 80%以下	80%を超える	判断不可能	
	①評価数 (○)		<ol> <li>当該「評価対象項目」</li> </ol>				==	90%以上	а	a'	b	b	
	②対象項目(〇、×)	<u> </u>			として、比率 (%) 計算(	の値で評定する。	評	75%以上90%才		h	b,	P.	
Ī	③評価値 (①/②)	<u> </u>	③ 評価値 (%)==				155	60%以上75%才		b'	G	6	
			④ なお、評価対象項目数	数が2項目以下の場合は	c 評定とする。		値	60%未満	Na P.	, D	G	6	
Ţ		,						100%不満 試験結果の打:		<u> </u>			
Į t	<ul><li>④評定</li></ul>	ι –	←ばらつき及び「d」「	e」評価を加味した総合語	評定		100000000000000000000000000000000000000			CIDAC.	副からない	あ日14計1四	
j j		Η		H			对家	項目(評価値)	にけぐ判断す	් වං			

考查項目	工種	評価	a	a'	b	b'	С	d
V 7 1111	,	рт іш	愛れている	bより優れている。	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている
	29 下水道工事		「評価対象項目」					
出来ばえ			<ul><li>①通りがよい。</li></ul>				●判断基準	
			②漏水がない。				評価値が80%超	• • • • • • a
Ⅲ. 出来ばえ			③クラックがない。				評価値が65%超80%以	下・・・・・・ a'
			④マンホール天端と路面	のすりつけがよい。			評価値が45%超65%以	下・・・・・ b
			⑤インバートの仕上げが	良い。			評価値が25%超45%以	下・・・・・ b'
			⑥管口の仕上げが良い。				評価値が10%超25%以	
			⑦全体的な美観が良い。				評価値が10%以下・・	• • • • • • d
							-	
	○:該当する							
	×:該当しない							
	空白:評価対象外							
	①評価数 (○)							
	②対象項目(〇、×)							
	③評価値 (①/②)							
	<ul><li>④評定</li></ul>							

別表 - 3 (35) **考査項目別運用表** 「記入方法」評価する項目に〇、評価しかい項目に×を記入する(誕価対象外の項目は空口レオス) ( <del>|</del>| | |

	∵‴りる垻日に∪、計‴	しなり	項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする)。					( 検査員
考 査 項 目	工種		o b b'	評価	d		評価	е
	30 コンクリート二次	<b>⋾</b> び/田	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照>					
出来ばえ	製品	рТПЩ	[					
			※ばらつきの判断は別紙-4参照。					
Ⅱ.品質			「評価対象項目」					
			【共通】		品質関係の測定方			品質関係の測定方法又に
			①材料の品質が証明書又は試験成績書で確認できる。		測定値が不適切で			定値が不適切であった
			②設計図書で定められた条件が満足されていることが、書類で確認できる。 ③施工基面が平滑に仕上げられ、構造物の基礎材料の材質及び締固め等が適切であることが確認できる。		ため、監督員が文			とめ、検査員が修補指表
			回肥工		示を行い改善され	/C <sub>0</sub>	2	と行った。
			●なりに (産品・) 【水路等据付工】					
			小田寺地口 - 1       ⑤継目部の施工にあたって、付着、水密性を保ち段差がないことが確認できる。					
			個選素、グレーチング等の付替機造物がゆるみなく固定されている。	_				
			( ) で ( )					
			【擁壁据付工】					
			⑧支持地盤の地耐力が平板載荷試験等で確認されていることが確認できる。					
			⑨目地施工が設計図書に適合し、接合面の付着・水密性が確保されていることが確認できる。					
			⑩調整コンクリートの材質及び施工方法が適切であることが確認できる。					
			⑪その他 〔理由:					
			【(大型)ブロック積(張)、石積(張)工】					
			⑫支持地盤の地耐力が平板載荷試験等で確認されていることが確認できる。	ばら	つきの評価	_		
			⑬裏込材、胴込めコンクリートの充填又は締固めが十分で、空隙が生じていないことが確認できる。	_	ばらつきが50%以			
			毎日地の処理及び施工間隔、また、水抜きパイプの配置及び吸出し防止対策が適切に施工されていることが確認できる。		ばらつきが80%以			
			<u> </u>	_	ばらつきが80%を ばらつきで判断不			
					はらづきで判断小	り肥		
			<ul><li>⑩設計図書で定められたタイバー、ストリップ等の補強材料の設置位置、延長等が資料により確認できる。</li><li>⑪盛土材料の土質試験を行い、締固めを適切な条件で行っていることが確認できる。</li></ul>	_				
			<ul><li>● 監上材料の上負款練を行い、細菌のを適切な条件で行うといることが確認できる。</li><li>● 設計図書で定められた暗渠排水管等の排水施設の設置位置、断面、延長等が、資料により確認できる。</li></ul>					
			受政司(以言) ためつないに哺未済が自身で好か施設の返復に進、所聞、姓及守が、真代により確認してる。 「9壁面に接するフィルター材(倖石等)の品質、施工幅及び締固め方法が適切であることが確認できる。					
			②主面に以てのプライン が(iPrin ft)の面質、施工THEXの面面の方法が過剰であることが include できる。 ②その他 「理由:					
	○:該当する		8 C 7 E CAM .					
	×:該当しない		●判断基準					100,007 100 0
	空白:評価対象外				ばらつきて	判断可能		ばらつきで
					50%以下 80%以	下 80%を	超える	判断不可能
	①評価数 (○)		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は評価しない。		a a'		b	b
	②対象項目(〇、×)		② 対象としない項目を除いた評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評定する。	90%未温	a' b		b'	b'
	③評価値(①/②)		③ 評価値( %)=評価数( )/評価対象項目数( )				C	C
	-		④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評定とする。	- 14-1-/	b c		G	G
			注 試験結果の	)打点数	が少なくばらつきの			
	<ul><li>④評定</li></ul>		←ばらつき及び「d」「e」評価を加味した総合評定 対象項目(評イ			>11.0		
			\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		7 × 1,10/1 2 0/0			

考查項目	工種	評価	a	a'	b	b'	С	d
<b>与且</b> 供日	二.1里	рТ ТЩ	優れている	bより優れている。	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている
3. 出来形及び	30 コンクリート二次		「評価対象項目」					
出来ばえ	製品		①構造物に有害なひび割	れや欠損等がない。			●判断基準	
			②構造物の通りがよい。				評価値が80%超	• • • • • a
Ⅲ. 出来ばえ			③天端仕上げ、端部仕上	げ等がよい。			評価値が65%超80%	以下・・・・・ a'
			④既設構造物とのすりつ	けがよい。				以下・・・・・ b
			⑤全体的な美観が良い。					以下・・・・・ b'
			⑥検査時の清掃がいきと	どいている。				以下・・・・・・ c
							評価値が10%以下・	• • • • • • d
	○:該当する							
	×:該当しない							
	空白:評価対象外							
	①評価数 (○)							
	②対象項目(○、×)							
	③評価値(①/②)							
	④評定							

考查項目別運用表 別表-3(36) [記入方法] 評価する項目に○、評価しない項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする) ( 檢查員 ) 考 査 項 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況 (評価値) から判断する。 <判断基準参照> 3. 出来形及び 31 浚渫工事 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] 出来ばえ ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 Ⅱ.品質 「評価対象項目」 D仕様書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。 品質関係の測定方法又は 品質関係の測定方法又は ②濁り防止等環境保全に配慮して施工していることが確認できる。 ③既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 測定値が不適切であった 測定値が不適切であった ため、監督員が文書で指 ため、検査員が修補指示 ①土砂砂分における運搬途中で漏出がないよう、必要に応じて土質改良を適切に行っていることが確認できる。⑤作業現場の条件等を考慮して、効果的作業が可能な機械を選定していることが確認できる。 示を行い改善された。 を行った。 ⑥土砂運搬において、施工の効率、周辺の交通状況等を考慮して運搬経路を決定していることが確認できる。 〔理由: ばらつきの評価

 ③ きの他 「理由:

 ③ : 該当する

 ※: 該当しない

 空白: 評価対象外

 ①評価数(○)

 ②対象項目(○, ×)

 ②対象項目(○, ×)

 ③評価値(①/②)

 ③評価値(0)/②)

 ④評価値(①/②)

 ④評定

 ←ばらつき及び「d」「e」評価を加味した総合評定

●判					
		l f	ばらつきで		
		50%以下	80%以下	80%を超える	判断不可能
<b>≣</b> 577	90%以上	а	a'	b	b
評価	75%以上90%未満	a'	b	þ'	þ,
値	60%以上75%未満	b	b'	С	С
旧	60%未満	b'	С	С	С
注	試験結果の打点数な	が少なくばら	つきの判	断ができない場	場合は評価

ばらつきが50%以下 ばらつきが80%以下 ばらつきが80%を超える ばらつきで判断不可能

対象項目(評価値)だけで判断する。

考査項目	工種	評価	a	a'	b	b'	С	d
747日	工1里	рт іші	優れている	bより優れている。	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている
3. 出来形及び	31 浚渫工事		「評価対象項目」					
出来ばえ			①細心の注意が払われて	施工している。			●判断基準	
			<ul><li>②きめ細かな施工がなさ</li></ul>	れている。			評価値が80%超	• • • • • • a
Ⅲ. 出来ばえ			③現河床とのすりつけが	良い。			評価値が65%超80%	以下・・・・・・ a'
			④全体的な美観が良い。				評価値が45%超65%	以下・・・・・・b
								以下・・・・・・ b'
							評価値が10%超25%	以下・・・・・・ c
							評価値が10%以下・	· · · · · · · d
	<ul><li>○:該当する</li></ul>							
	<ul><li>X:該当しない</li></ul>							
	空白:評価対象外							
	<ul><li>①評価数(○)</li></ul>							
	②対象項目(○、×)							
	③評価値 (①/②)							
	<ul><li>④評定</li></ul>							

別表 - 3 (37)					与宜均日则理用衣								
		しない	\項目に×を記入する(評	西対象外の項目は空白と	する)。			1			( 検査員 )		
考 査 項 目	工_種	評価	a	a′	b	b′	С	評価		評価			
	32 機械設備工事	н і Іші	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		やや劣っている		劣っている		
出来ばえ			「評価対象項目」						<b>7</b>		<b>- -</b>		
Ⅱ.品質			①材料、部品の品質照合						品質関係の測定方法又は		品質関係の測定方法又は		
11. 印貝			②設備の機能及び性能が						測定値が不適切であった		測定値が不適切であった		
			③設計図書の仕様を踏ま			ることが確認できる。			ため、監督員が文書で指示を行い改善された。		ため、検査員が修補指示 を行った。		
			④機器の機能及び性能に		,, , , , , , , , , , , , , , , , ,				かを11い以書された。		を11つた。		
			⑤溶接管理基準の品質管:										
			⑥塗装管理基準の品質管										
			⑦操作制御設備について										
			⑧操作制御整備の安全装				質の確認ができる。						
			⑨小配管、電気配線、配			きる。							
			⑩設備の取扱説明書を工										
			⑪完成図書(取扱説明書)			いることが確認できる。							
			⑫機器の配置が点検しや										
			③設備の構造や機器の配				ことが確認できる。						
			⑭コンクリートの配合試!										
			⑤バルブ類の平時の状態	,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	ことが確認できる。			,				
			⑥計器類に運転時の適用										
			⑩回転部や高温部等の危			- 0							
			®構造物の劣化状況をよ	11-1-1									
			⑩現地状況を勘案し、施				きる。						
			②機材の支持方法等につ	いて、適切な耐震対策を	施していることが確認で	きる。							
			21その他 〔理由:							1			
						<del>a</del>							
			●判断基準										
	○:該当する												
	×:該当しない			90%未満・・・・・・									
	空白:評価対象外			80%未満・・・・・・									
				7 0 %未満・・・・・・									
			評価値が60%未満		• c	<u>]</u>							
]							ត						
1	①評価数 (○)		① 当該「評価対象項目」			A for a street of the Asian							
	②対象項目 (○、×)		<ul><li>② 対象としない項目を除</li></ul>			)値で評定する。							
1	③評価値(①/②)		③ 評価値 (%)=割										
	④評定		<ul><li>④ なお、評価対象項目数</li></ul>	が2項目以下の場合はc	評定とする。								

考查項目	工種	評価	a	a'	b	b'	С	d					
7117月日	上小里	рТ- ТЩ	優れている	bより優れている。	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	劣っている					
	32 機械設備工事		「評価対象項目」		•								
出来ばえ			①きめ細かな施工がなさ	れ、全体的な美観が良い	0		●判断基準						
			②関連工事(工種)又は	既存部分との調整がなさ	れ、調和が良い仕上がりつ	である。	評価値が80%超	• • • • • a					
Ⅲ. 出来ばえ			③機器又はシステムとし	機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。 評価値が65%超80%以下・・・・・ a'									
			④環境負荷低減に配慮し	た施工がなされている。			評価値が45%超65%	以下・・・・・ b					
			⑤運転操作及び保守点検	等の容易さを確保するた	めの配慮がなされている。		評価値が25%超45%	以下・・・・・ b'					
			⑥使い勝手や使用者に対	する安全及び環境への配	慮が適切である。		評価値が10%超25%	以下・・・・・・c					
			⑦その他 〔理由:				評価値が10%以下・・・・・・・ d						
	<ul><li>○:該当する</li></ul>												
	×:該当しない												
	空白:評価対象外												
	①評価数 (○)												
	②対象項目(○、×)												
	③評価値(①/②)												
	<ul><li>④評定</li></ul>												

_ [記入方法] 評	価する項目に○、評価	しない	項目に×を記入する(評	<u>価対象外の項目は空白と</u>	する)。						( 検査員 )_
考 査 項 目	工種	評価	a	a'	b	b'	С	評価	d	評価	e
	33 電気設備工事	ртіщ	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	рт іші	やや劣っている	рт іші	劣っている
出来ばえ			「評価対象項目」						_		_
Ⅱ. 品質			①製作着手前に、品質や						品質関係の測定方法又は		品質関係の測定方法又は
11. 印貝			②材料・部品の品質照合の						測定値が不適切であった		測定値が不適切であった
			③機器の品質、機能及び				5		ため、監督員が文書で指示を行い改善された。		ため、検査員が修補指示 を行った。
			④操作スイッチや表示灯						小を打い以苦された。		を11つた。
			⑤ケーブル及び配管の接				無いことが確認できる。				
			⑥設備の機能及び性能が								
			⑦操作制御関係の機能及び			必要な安全装置及び保護装置	置の作動が確認できる。				
			⑧設備の総合性能が、設								
			⑨現場条件によって機器 (								
			⑩設備全体についての取扱				いることが確認できる。				
			⑪完成図書で定期的な点								
			⑫設備の構造において、				きる。			1	
			⑬機材の支持方法等につ	いて、適切な耐震対策を加	<b>極していることが確認で</b> :	きる。					
			④その他 〔理由:								
						п					
			●判断基準								
	○:該当する										
	×:該当しない			90%未満・・・・・・							
	空白:評価対象外			80%未満・・・・・・							
				70%未満・・・・・・							
			評価値が60%未満		• c						
							<b>-</b>				
	①評価数 (○)		<ol> <li>当該「評価対象項目」</li> </ol>	, - , · , · , · , · , · ,							
	②対象項目(〇、×)		② 対象としない項目を関			値で評定する。					1
	③評価値(①/②)		0 111 11-11-11-11	平価数( )/評価対象							
	④評定		④ なお、評価対象項目数	なが2項目以下の場合は c	<u>評定とする。</u>						1
				·	·	·					

考查項目	工種	評価	a	a'	b	b'	С	d
<b>与</b> 且识日	上小里	рТ- ІІЩ	優れている	bより優れている。	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている
3. 出来形及び	33 電気設備工事		「評価対象項目」					
出来ばえ			<ul><li>①きめ細やかな施工がな</li></ul>	され、全体的な美観が良	V'o		●判断基準	
			②関連工事(工種)又は	既存部分との調整がなさ	れ、調和が良い仕上がりて	である。	評価値が80%超	• • • • • a
Ⅲ. 出来ばえ			③機器又はシステムとし	て、運転状態が正常であ	り、性能が優れている。		評価値が65%超80%	以下・・・・・ a'
			④環境負荷低減に配慮し	た施工がなされている。			評価値が45%超65%	以下・・・・・b
			<ul><li>⑤運転操作及び保守点検</li></ul>	等の容易さを確保するた	めの配慮がなされている。		評価値が25%超45%	以下···· b'
			⑥機器(製品)・配線(	配管)の支持や接続、通	り等が良く、全体的な出	来ばえが良好である。	評価値が10%超25%	以下・・・・・c
			⑦使い勝手や使用者に対	する安全及び環境への配	慮が適切である。		評価値が10%以下・	d
			⑧工事の影響による周辺	又は既存部分への埃、汚	れ等がなく、清掃が行き	届いている。		
			⑨その他 〔理由:					
							_	
	<ul><li>○:該当する</li></ul>		1					
	×:該当しない		1					
	空白:評価対象外		1					
	①評価数 (○)							
	②対象項目(○、×)							
	③評価値 (①/②)							
	④評定		1					

## 考査項目別運用表 別表 - 3 (39) **考査** 「記入方法」評価する項目に〇、評価しない項目に×を記入する(評価対象外の項目は空白とする)

別衣 — 3 (39)					与且仅口则进用权								
		しなり	<u>項目に×を記入する(記</u>	平価対象外の項目は空白と	する)。			_			( 検査員 )		
考 査 項 日	工種	評価	a	a'	b	b'	С	評価	d	評価	е		
	34 通信設備工事・受	рт Іші	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	ртіш	やや劣っている	рт ішц	劣っている		
出来ばえ	変電設備工事		「評価対象項目」								_		
Ⅱ. 品質			①設計図書に定められて	ている品質管理を実施して	いることが確認できる。				品質関係の測定方法又は		品質関係の測定方法又は		
11. 前負			0 14 112 4 1 114774111 111	品質及び形状について、設					測定値が不適切であった		測定値が不適切であった		
				kが、品質保証書等(現物照					ため、監督員が文書で指		ため、検査員が修補指示		
				機能及び性能が、成績等で					示を行い改善された。		を行った。		
			0	接続などの作業が、施工計	, , <u>— , , — , , , , , , , , , , , , , ,</u>		<b>無いことが確認できる。</b>						
				伝性能が所定の能力を満足		- 0							
				<b>殳備の機能及び性能並びに</b>									
			0,4,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	単体品の製造年月日及び製									
			0 12 - 11 12 - 11 12 - 11 12 - 11	こおいて、設計図書に規定		試験記録により確認できる	5.						
			) / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	反扱説明書を工夫している									
			0.700.700.700.700.700	点検や交換を要する部品及									
				点検や消耗品の取替え作	//··· // /·· · · · · · · · · · · · · ·		きる。						
			0 1771	ついて、適切な耐震対策を	施していることが確認で	きる。					1		
			④その他 〔理由:										
						ਜ							
			●判断基準										
	○:該当する		10 t 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 -	E • • • • • • • a									
	×:該当しない	L.,		上90%未満・・・・・・									
	空白:評価対象外			上80%未満・・・・・・									
				上70%未満・・・・・・									
			評価値が60%未済	<u> </u>									
							ส						
	①評価数(○)		0 110 111 11-11 4 14 1 7 1 1 1	」のうち、対象としない「									
	②対象項目(○、×)		O	除いた評価項目数を母数と		)値で評定する。							
	③評価値 (①/②)		0 111 11-11-1	評価数 ( ) /評価対象									
	④評定		<ul><li>④ なお、評価対象項目</li></ul>	数が2項目以下の場合は	: 評定とする。						1		
I				·	·	·		1					

考查項目	工種	評価	a	a'	b	b'	С	d
<b>与</b> 且识日	工7里	рТ-ТЩ	優れている	bより優れている。	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び	34 通信設備工事・受		「評価対象項目」					
出来ばえ	変電設備工事		<ul><li>①きめ細かな施工がなさ</li></ul>	れ、取り合いの納まりや	端部までの仕上がりが良い	<i>(</i> ) <sub>0</sub>	●判断基準	
			②関連工事(工種)又は	既存部分との調整がなさ	れ、調和が良い仕上がり	である。	評価値が80%超	a
Ⅲ. 出来ばえ			③機器又はシステムとし	て、運転状態が正常であ	り、性能が優れている。		評価値が65%超80%	以下・・・・・・ a'
			④環境負荷低減に配慮し	た施工がなされている。			_	以下・・・・・ b
			⑤運転操作及び保守点検	等の容易さを確保するた	めの配慮がなされている。	1	_	以下・・・・・ b'
			<ul><li>⑥機器(製品)・配線(</li></ul>	配管)の支持や接続、通	り等が良く、全体的な出	来ばえが良好である。		以下・・・・・・ c
			⑦使い勝手や使用者に対	する安全及び環境への配	慮が適切である。		評価値が10%以下・	• • • • • • • d
			⑧工事の影響による周辺	又は既存部分への埃、汚	れ等がなく、清掃が行き	届いている。		
			⑨その他 〔理由:					
							_	
	<ul><li>○:該当する</li></ul>							
	×:該当しない							
	空白:評価対象外							
	①評価数 (○)							
	②対象項目(○、×)							
	③評価値(①/②)							
	<ul><li>④評定</li></ul>							